

安全・安心・快適, そして元気に住み続けられるまちづくり  
～コンパクト&ネットワークによる都市の再構築～

---

## 三原市立地適正化計画 《資料編》



## <構成>

資料①	市民意向の把握 (市民アンケート調査, 市民説明会, パブリックコメント)	1
資料②	居住誘導区域	44
資料③	都市機能誘導区域と誘導施設	52
資料④	事業効果の評価指標の設定	61
資料⑤	届出様式	71
資料⑥	検討体制とスケジュール	79
資料⑦	庁内検討会議設置要綱	83



**資料① 市民意向の把握**  
**(市民アンケート調査, 市民説明会, パブリックコメント)**



# 都市計画マスタープラン，立地適正化計画に関する ■市民アンケート調査

## ■アンケート概要

### 1. 調査目的

現行計画策定後における市民ニーズや課題等の変化を把握し，地域別住民の「満足度」「重要度」検証のため，アンケート調査を行う。また，コンパクトなまちづくりに対する市民意識等についても把握する。

アンケート結果の分析に当たって，事務局職員と協働でワークショップ等を実施し，分析を深め，満足度が低い事項に対する解決策等の提案を行う。

### 2. 調査数量

対 象：三原市民

対 象 数：3,000 人（16 歳以上）

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

時 期：平成 27 年 10 月 23 日（金）から 12 月 31 日（木）

調査方法：郵送配布・郵送回収

回 答 数：1,369 通

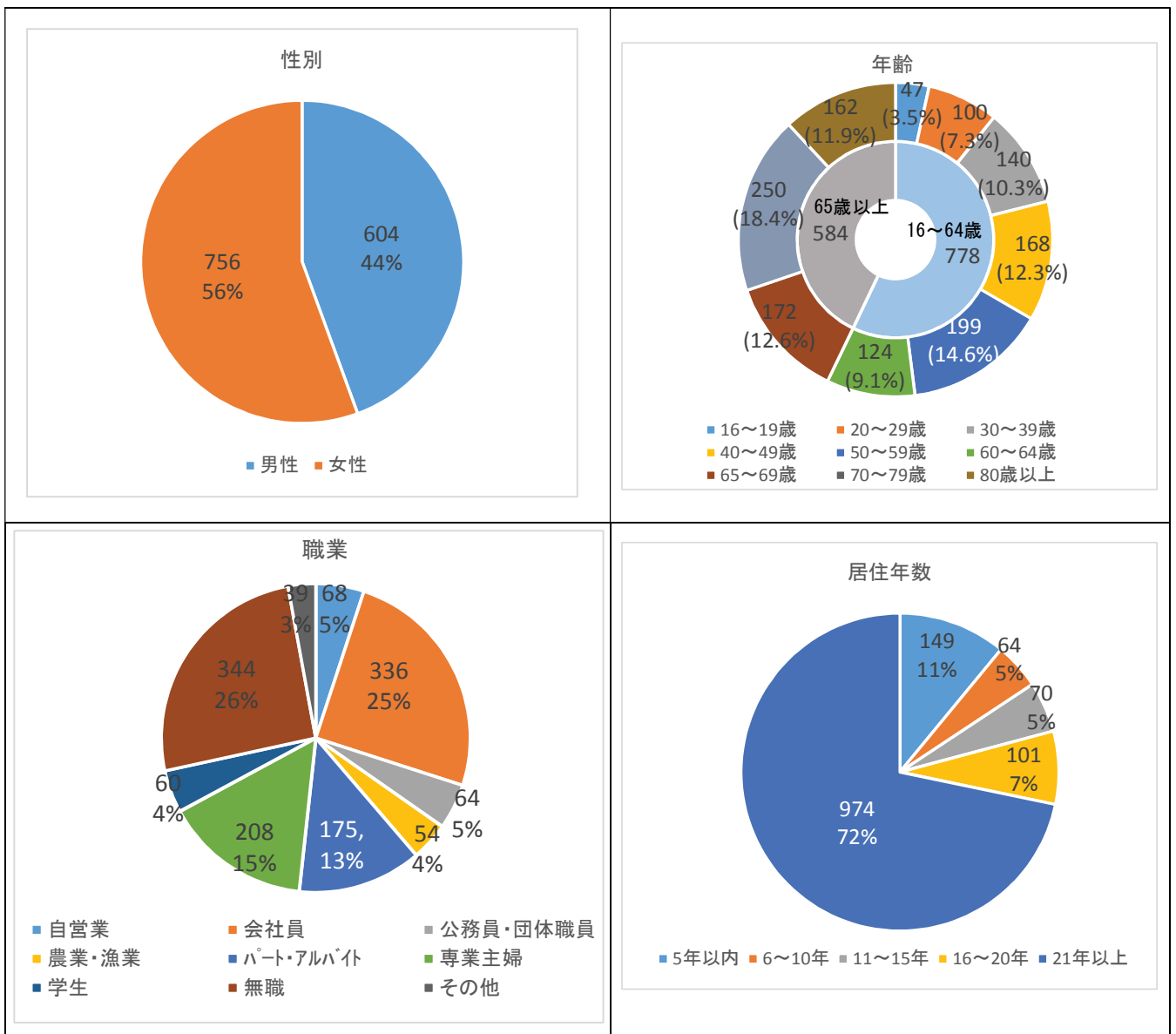
回 収 率：45.6%

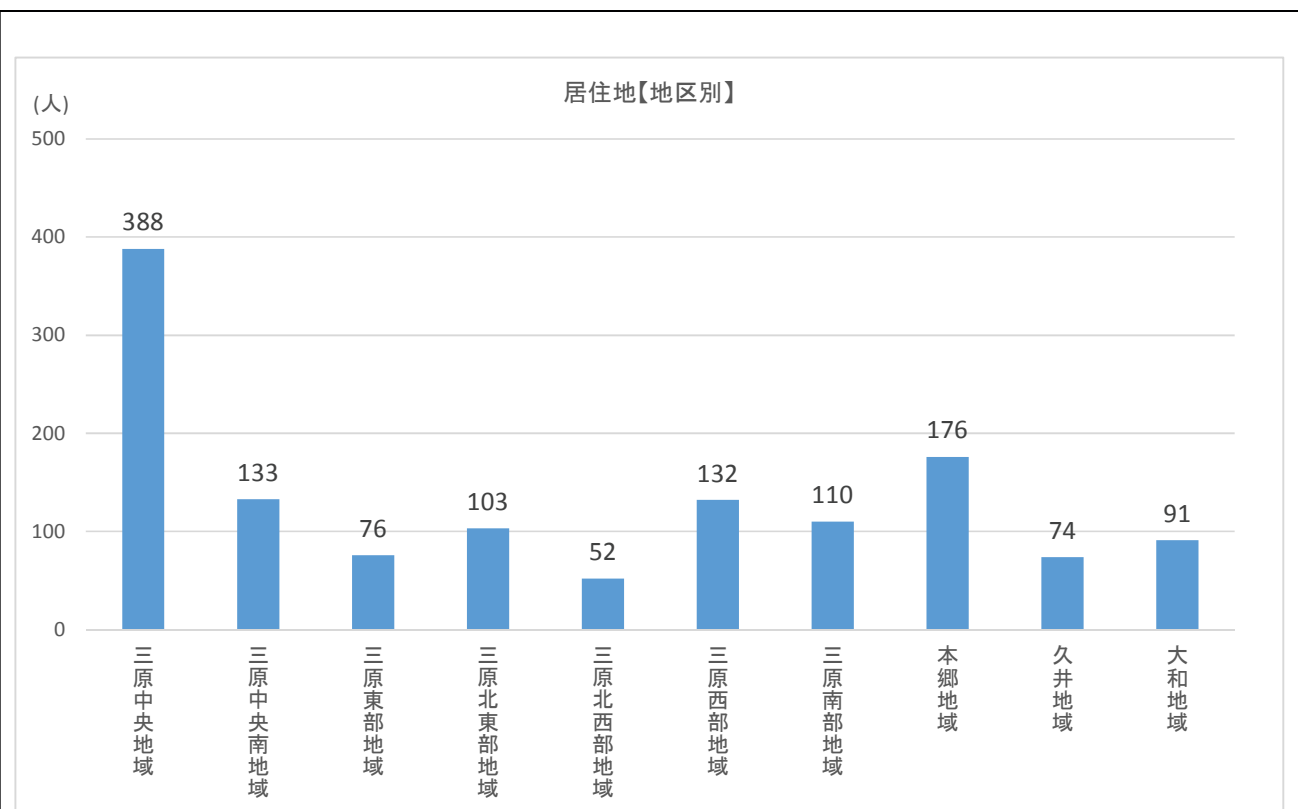
### 3. 設問内容

項目	設問	ねらい・(設問番号)
属性	性別, 年齢, 住まい, 在中期間	- (問 1~問 3)
安全性	建築物の不燃化・耐震性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の満足度と重要度</li> <li>・過去の状況と比較し, 要因分析を行うことで今後のまちづくりの施策の検討を行う</li> <li>・どの地区にどのような生活施設が必要なのか検討材料とする。</li> </ul> (問 4~問 5)
	災害対策	
	広さ, バリアフリー化など歩道の安全性	
	公共施設のバリアフリー化の状況	
	道路の幅や避難路の確保	
利便性	夜間街灯による安全性	
	公共交通機関の利用のしやすさ	
	学校等への行きやすさ	
	買い物のしやすさ	
	公民館や集会所への行きやすさ	
快適性	病院・福祉施設への行きやすさ	
	身近な公園広場	
	身近な住まいのまちなみの美しさ	
	自然や田園風景	
	下水道等の整備状況	
にぎわい	日当たりなどの周辺環境の良さ	
	公害の少なさ	
	娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	
	商業地・商店街の人通りのにぎわい	
	祭り・イベント等のにぎわい	
区域設定	文化財・史跡・文化施設のにぎわい	
	スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	
公共交通のサービス水準	キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	
	諸施設への徒歩アクセスが何分くらいであればよいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸施設や公共交通からの許容距離を整理し, 誘導区域設定の検討材料とする。(問 6~問 9)</li> </ul>
人口減少, 高齢化	公共交通 (JR,バス) の駅などまでにかかる時間はどれくらいまで許容できるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の需要を整理し, 今後の公共交通ネットワークの検討材料とする。(問 10)</li> </ul>
	将来の見込みに対する認知度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクトシティの必要性や問題の共有, 方向性の確認を図る。(問 11, 12, 13)</li> </ul>
	コンパクトシティの必要性の確認	
地域の宝	まちづくりの方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域独自の資源などを把握し, 今後のまちづくりの展開施策 (主にソフト) として整理する。(問 14~16)</li> </ul>
まちづくりへの参加		
自由意見		(問 17)



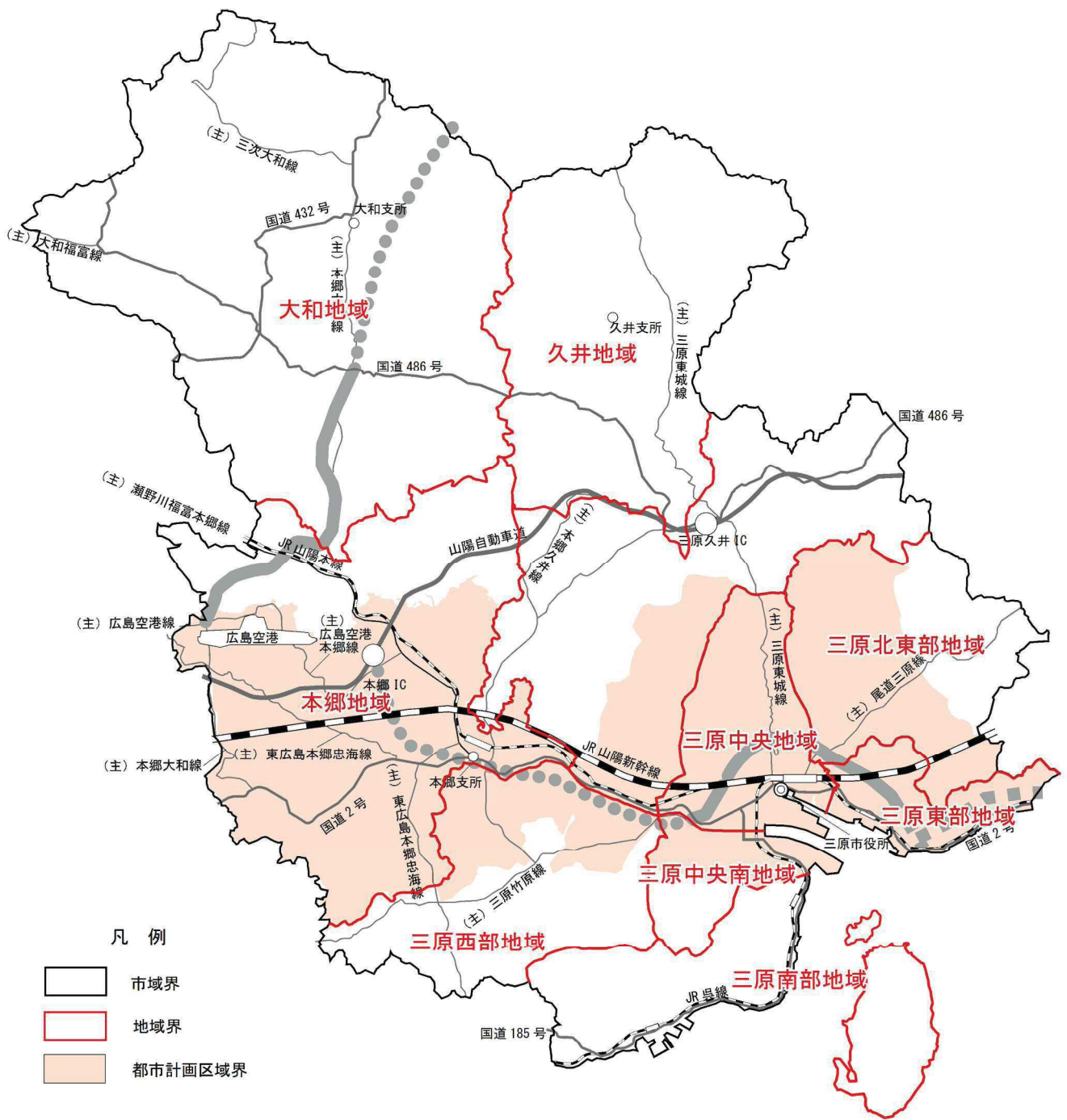
■アンケート結果（問1～問3 属性）





地域名	人口 (人)	面積 (ha)	町名
①三原中央地域	30,347	2,089	西野, 西宮, 頼兼, 宮浦, 新倉, 皆実, 駒ヶ原町, 西町, 本町, 館町, 東町, 港町, 城町, 古浜, 旭町, 宮沖, 円一町, 学園町
②三原中央南地域	10,588	1,067	明神, 田野浦 (田野浦町含む), 宗郷, 和田, 貝野町, 青葉台
③三原東部地域	5,607	1,066	糸崎 (糸崎南含む), 木原
④三原北東部地域	9,262	3,469	深町, 中之町南, 中之町
⑤三原北西部地域	3,980	6,257	八幡町, 高坂町, 小坂町, 沼田, 長谷
⑥三原西部地域	10,005	3,651	沼田東町, 沼田西町, 小泉町
⑦三原南部地域	8,473	2,875	須波(須波町含む), 須波西, 須波ハイツ, 幸崎久和喜, 幸崎渡瀬, 幸崎能地(幸崎町能地含む), 鷺浦町
⑧本郷地域	10,979	8,236	本郷町上北方, 本郷町善入寺, 本郷町船木, 本郷町南方, 本郷南, 本郷北, 下北方, 南方
⑨久井地域	4,727	6,224	久井町
⑩大和地域	6,541	12,188	大和町
合計	100,509	47,122	

(人口は平成 24 年都市計画基礎調査, 面積は図上計測)



#### ■問 4 満足度 問 5 重要度

問 4 では「満足」、「やや満足」、「どちらでもない」、「やや不満」、「不満足」のいずれかを選ぶ設問で以下に関する設問を調査した。

**問 4 あなたがお住まいの地区について、どの程度満足していますか。それぞれの項目ごとに該当する番号を 1 つ選んで○をつけてください。**

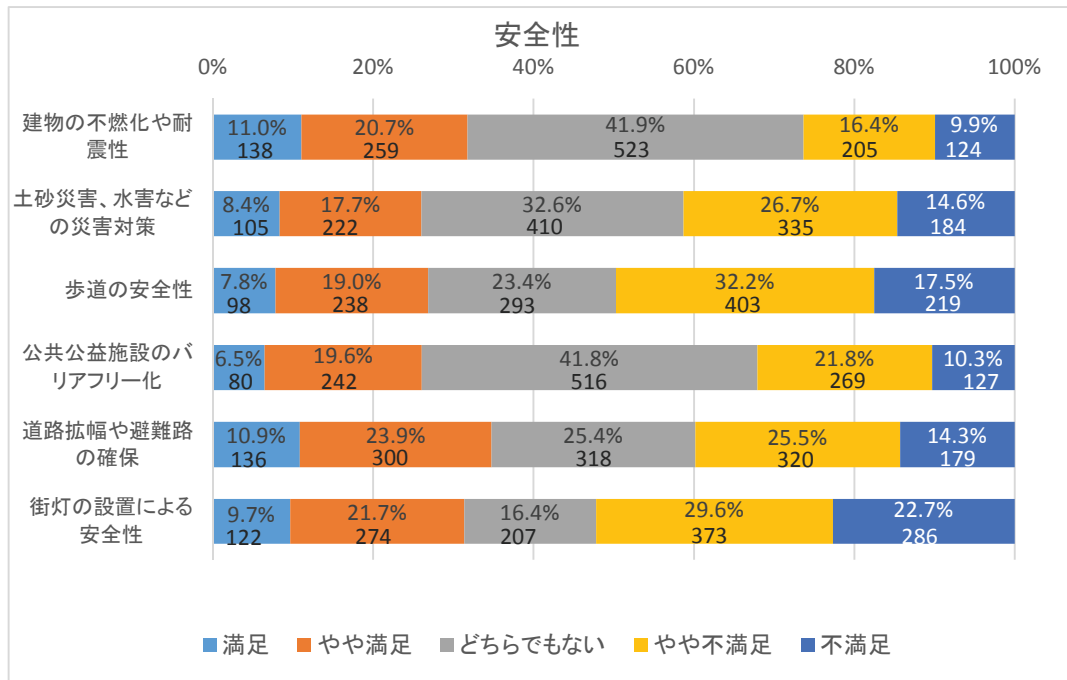
問 5 では「重要」、「やや重要」、「どちらでもない」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」のいずれかを選ぶ設問。満足度と同様の以下の設問を調査した。

**問 5 あなたがお住まいの地区について、今後対策をとるべきものとして重要なものはどれですか。それぞれの項目ごとに該当する番号を 1 つ選んで○をつけてください。**

(安全性)
(1) 周辺の建物（自宅や周辺の家など）の不燃化や耐震性の確保
(2) がけ崩れや土砂災害、水害などへの災害対策
(3) 歩道の広さ、バリアフリー化などの歩道の安全性
(4) 公共施設（図書館、公民館など）のバリアフリー化などの状況
(5) 消防車など車両が入れる幅の道路や避難路の確保
(6) 夜間の街灯の設置による安全性
(利便性)
(1) 鉄道やバスなど公共交通機関の利用のしやすさ
(2) 保育所、幼稚園、小中学校への行きやすさ
(3) スーパーマーケットやコンビニなどへの買い物のしやすさ
(4) 銀行や郵便局など金融機関への行きやすさ
(5) 公民館や集会所などの地域文化施設への行きやすさ
(6) 病院や福祉施設への行きやすさ
(快適性)
(1) 身近な公園や広場
(2) 身近な住まいのまちなみの美しさ
(3) 山・海・川などの自然や田畑などの田園風景
(4) 下水道（排水処理）等の整備状況
(5) 日当たりなどの周辺環境の良さ
(6) 騒音、振動、悪臭等の公害の少なさ
(にぎわい)
(1) 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい
(2) 商業地や商店街の人通りのにぎわい
(3) 祭り・イベント等のにぎわい
(4) 文化財・史跡・文化施設のにぎわい
(5) スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい
(6) キャンプ場や海水浴場などでのにぎわい
(総合評価)
●お住まいの地区の住みやすさ

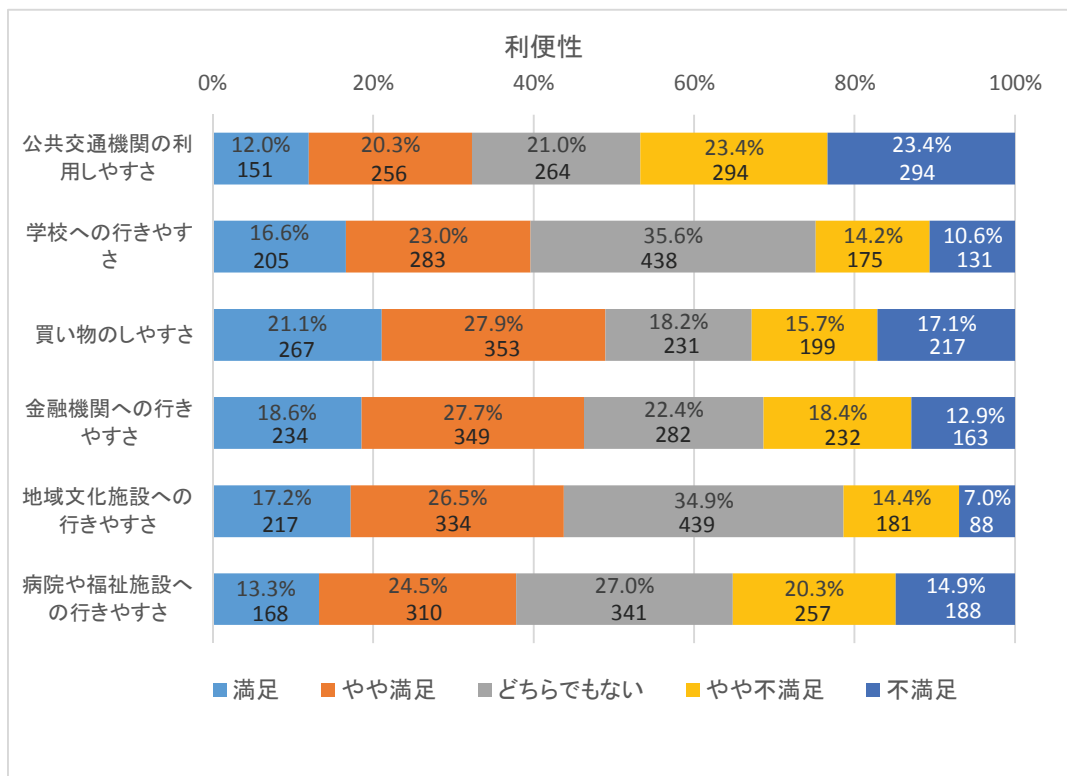
■満足度【安全性】

全体的に低く「満足」、「やや満足」と答えた方は概ね全項目の平均（約 32%）以下となっている。「道路拡幅や避難路の確保」のみ約 35%となっている。



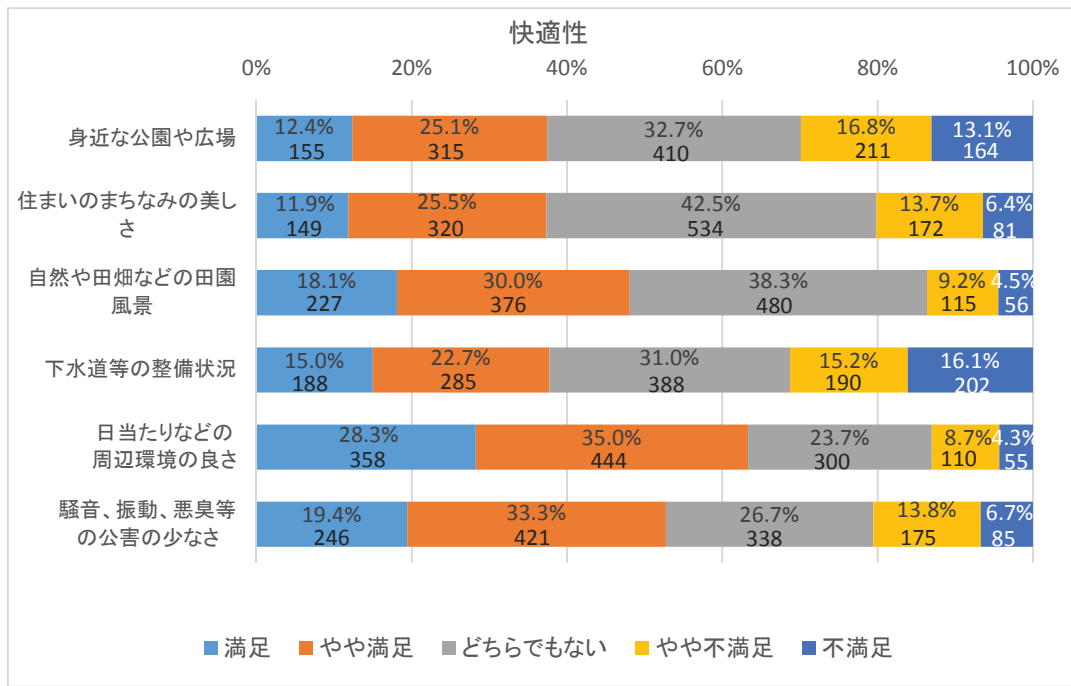
■満足度【利便性】

いずれの項目も全項目の平均（約 32%）以上となっている。当該項目の中では「公共交通機関の利用のしやすさ」が比較的低い。



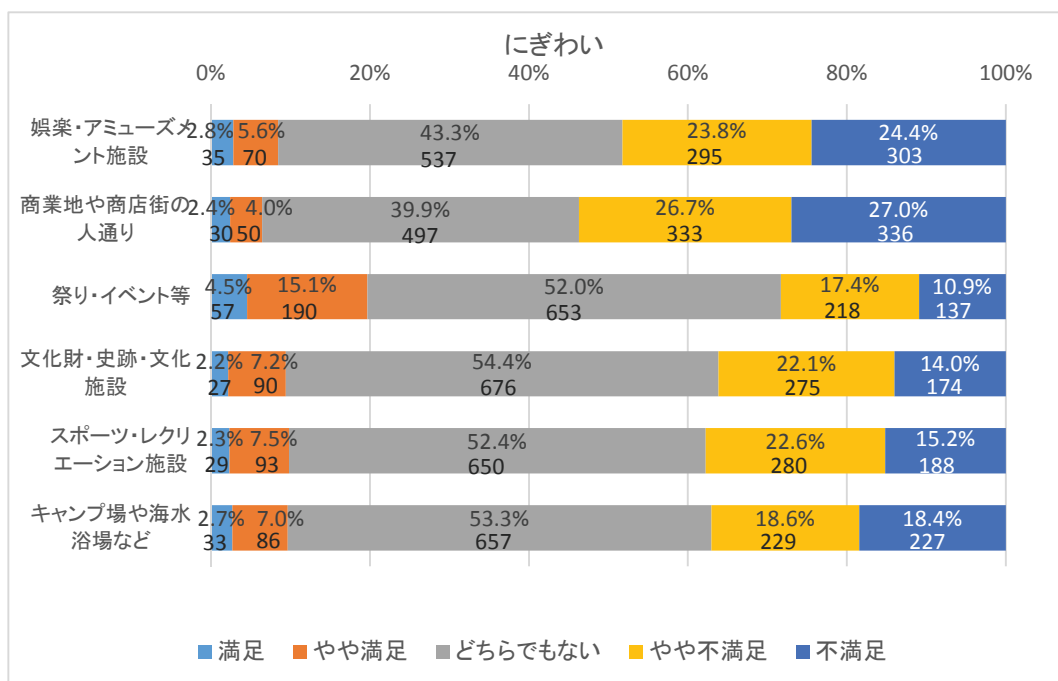
### ■ 満足度【快適性】

いずれの項目も全項目の平均（約 32%）以上となっている。特に「日当たりなどの環境の良さ」については「満足」、「やや満足」と答えた方が 60%以上となっており、全ての項目の中で最も高い。



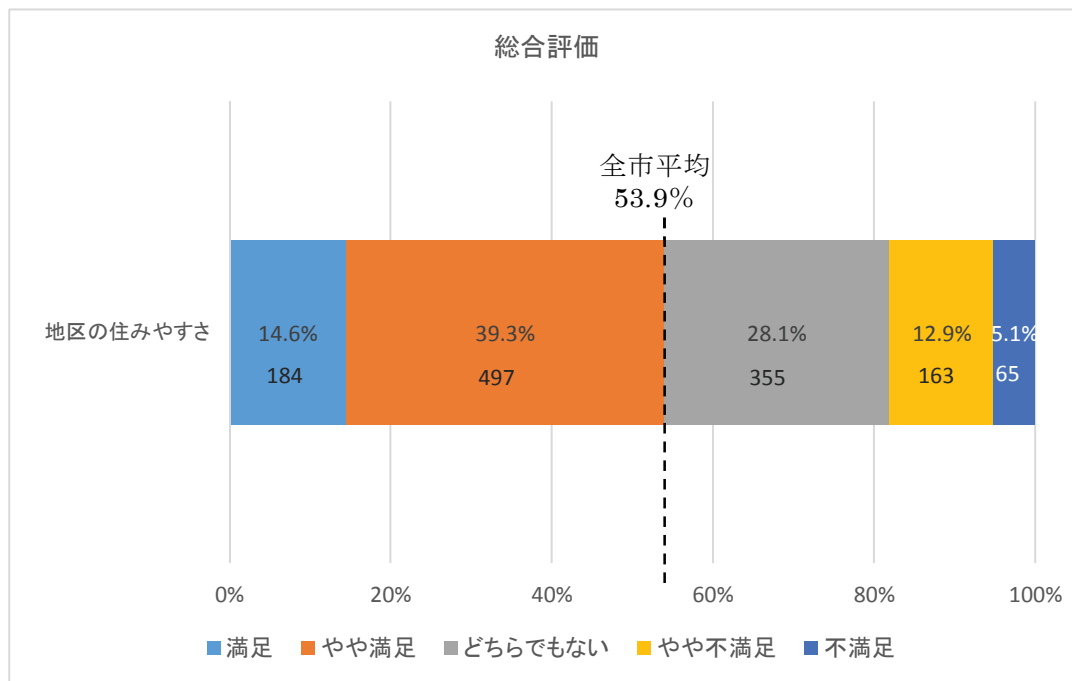
### ■ 満足度【にぎわい】

いずれの項目も全項目の平均（約 32%）以下となっており、「祭り・イベント等のにぎわい」以外の項目については「満足」、「やや満足」と答えた方の割合が 10%以下と非常に低い。



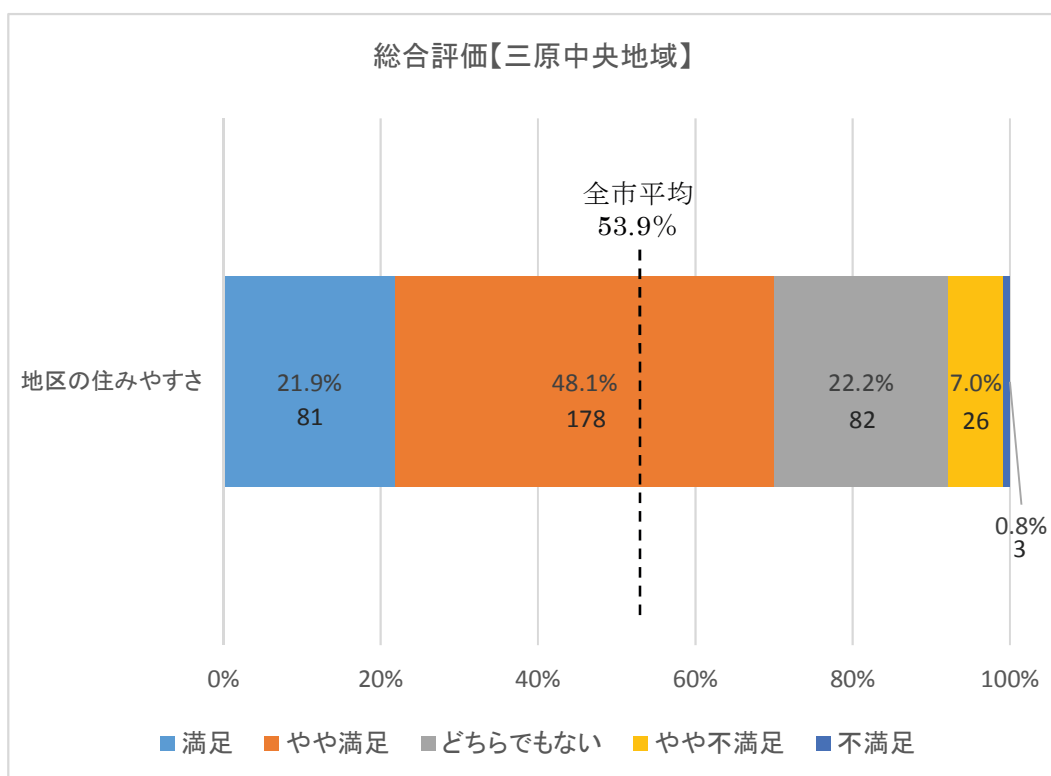
■ 満足度【総合評価】

総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は 50%を超えている。



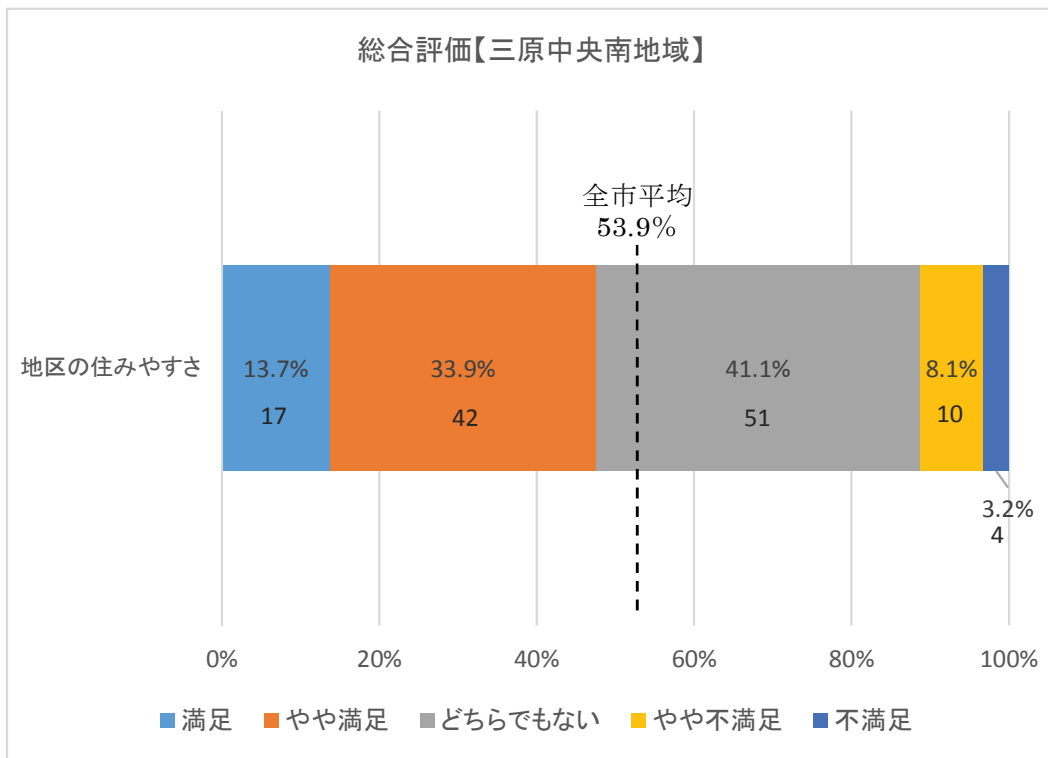
■ 満足度【総合評価】三原北東部地域

総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は全市の 53.9%よりも高くなっている。



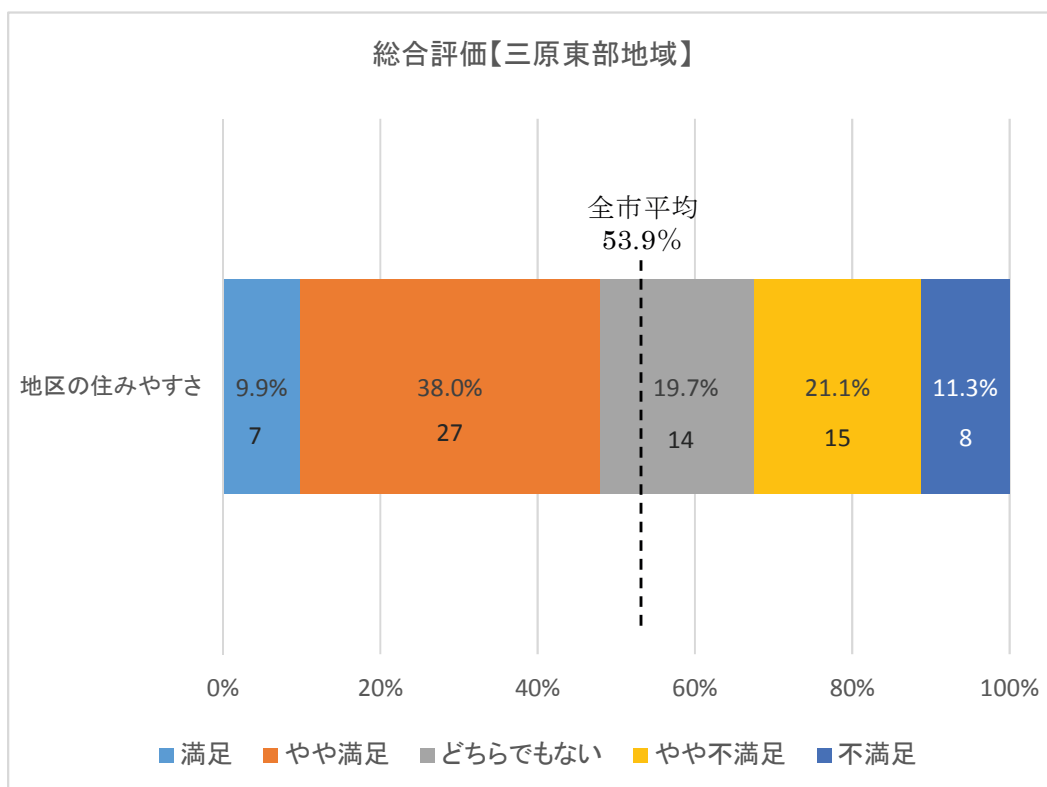
■ 満足度【総合評価】三原中央南地域

総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は全市の 53.9%よりも低くなっている。



■ 満足度【総合評価】三原東部地域

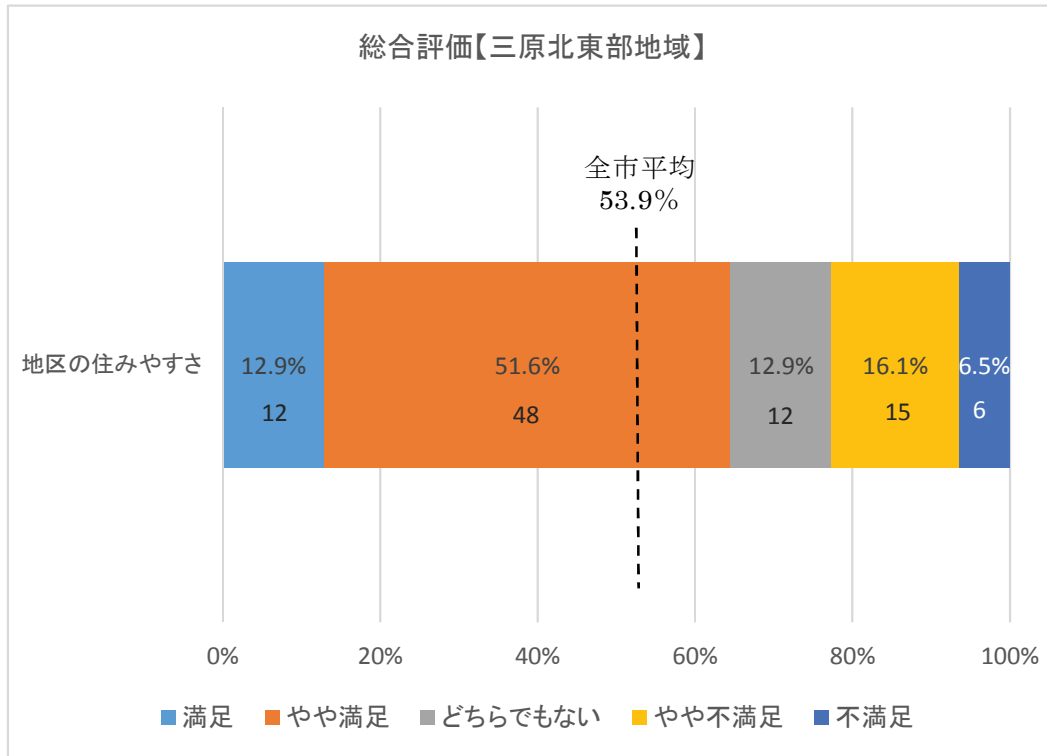
総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は全市の 53.9%よりも低くなっている。





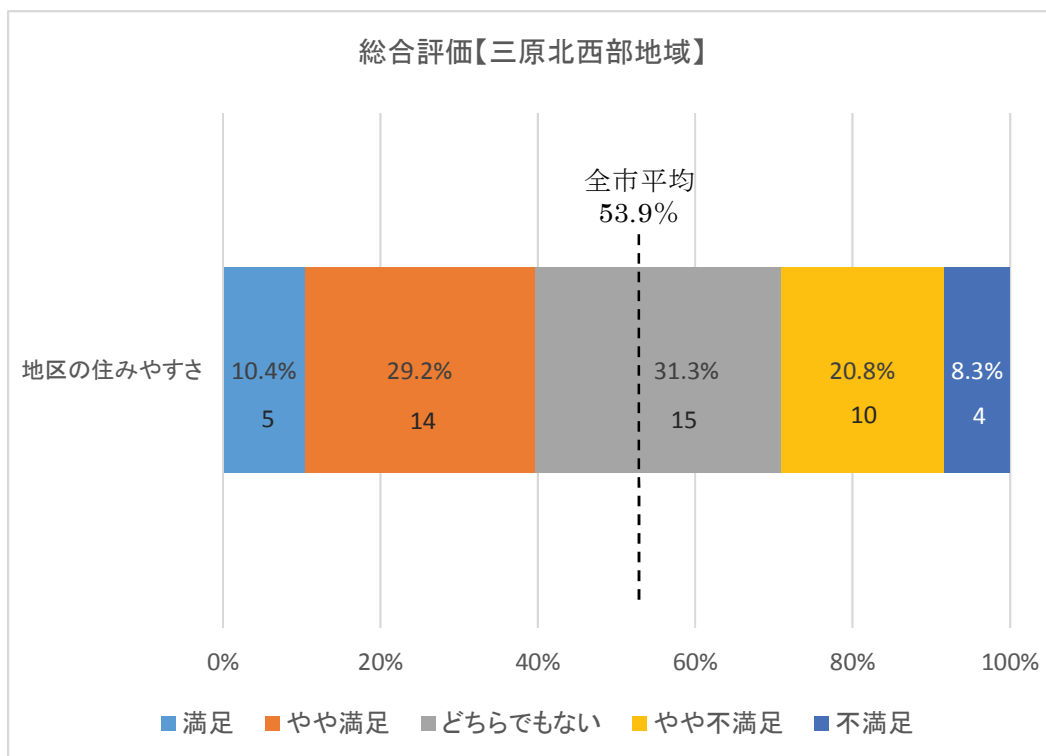
■ 満足度【総合評価】三原北東部地域

総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は全市の 53.9%よりも高くなっている。



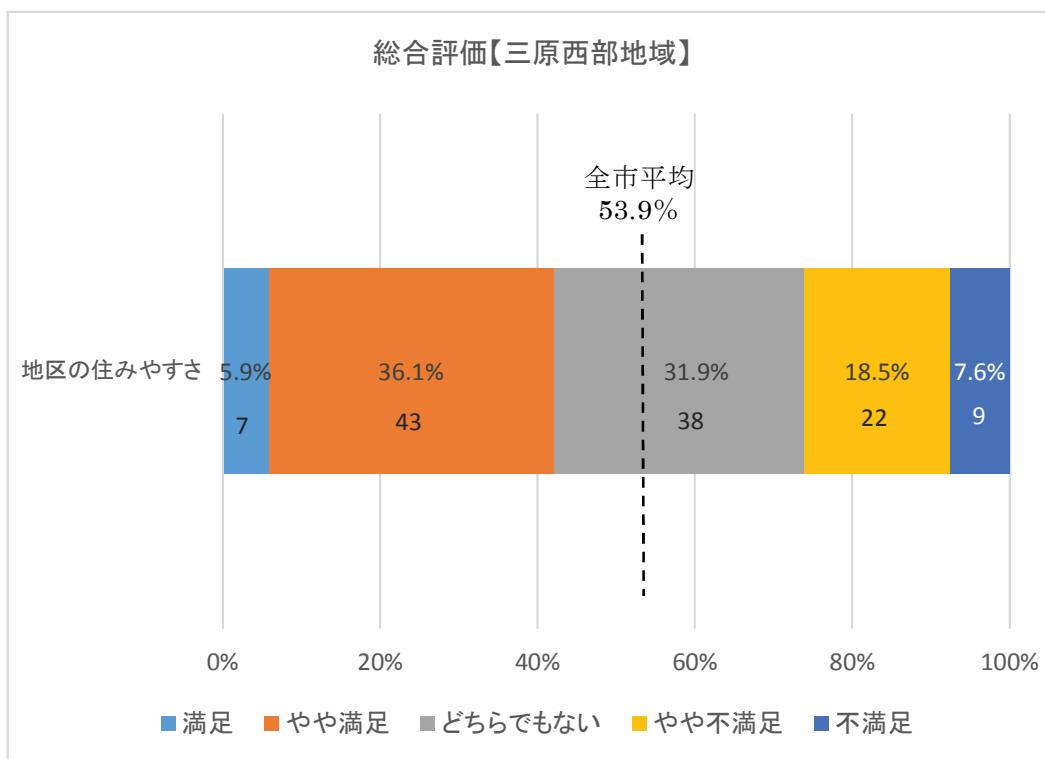
■ 満足度【総合評価】三原北西部地域

総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は全市の 53.9%よりも低くなっている。



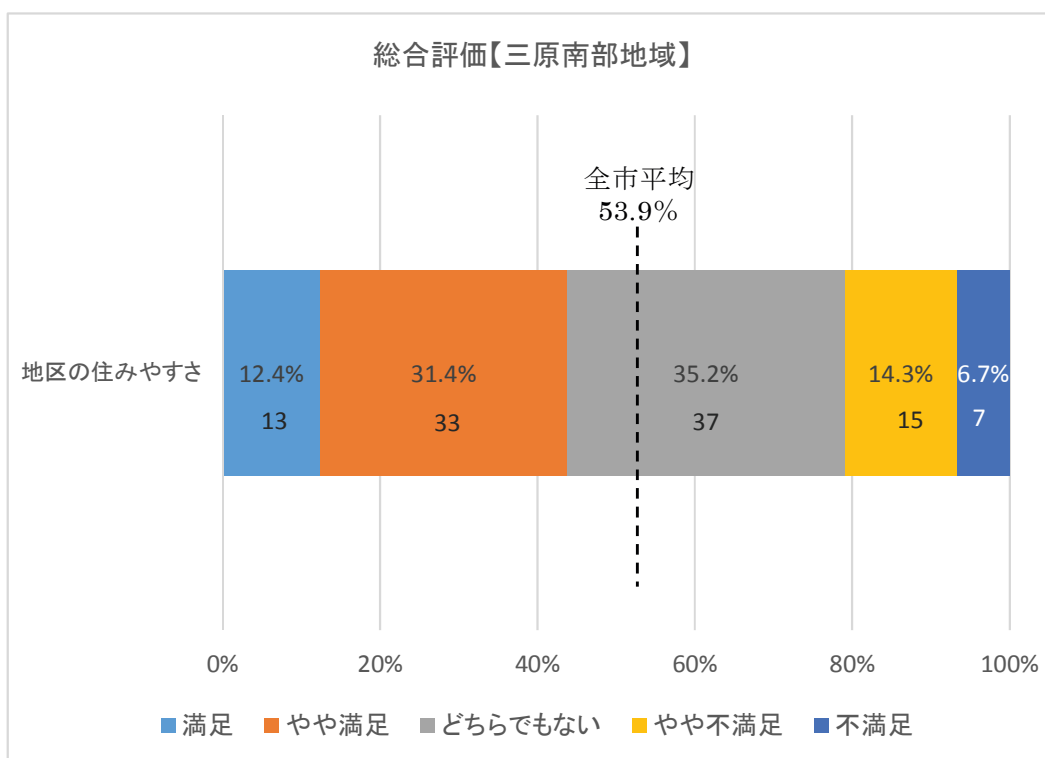
■ 満足度【総合評価】三原西部地域

総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は全市の 53.9%よりも低くなっている。



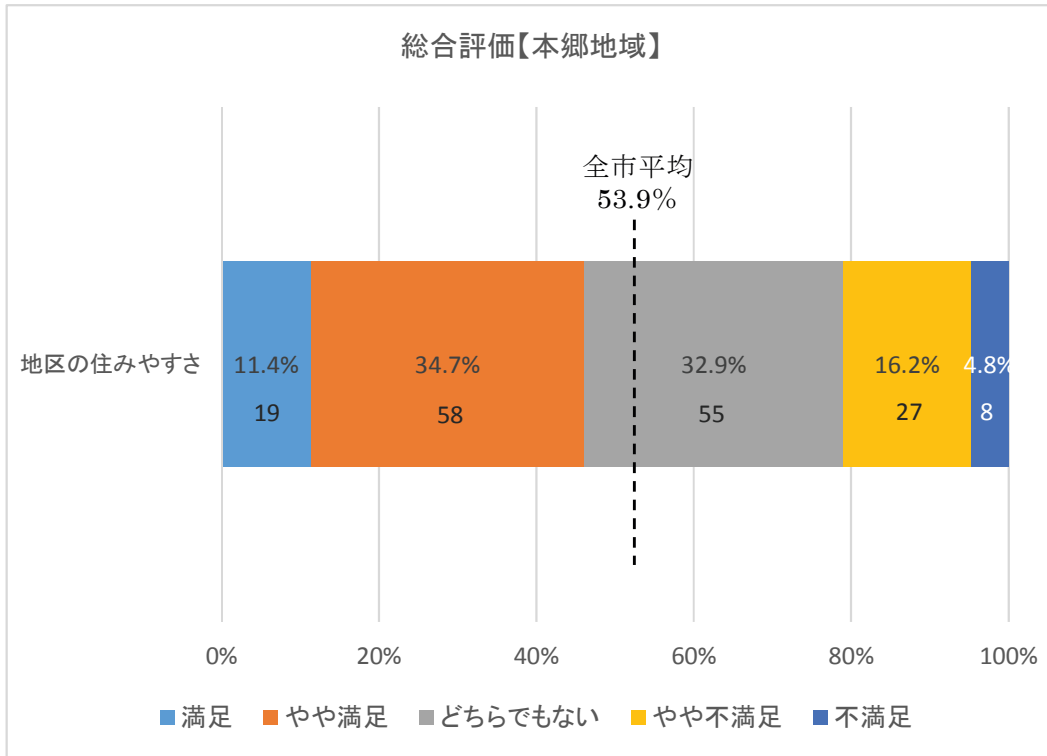
■ 満足度【総合評価】三原南部地域

総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は全市の 53.9%よりも低くなっている。



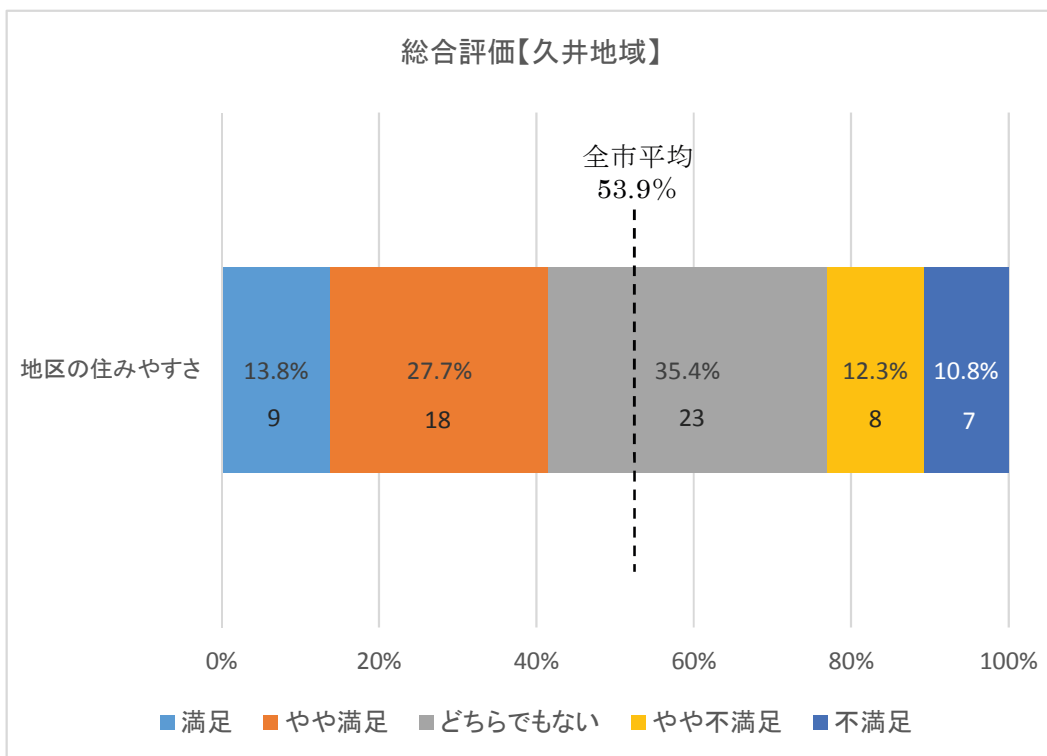
■ 満足度【総合評価】本郷地域

総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は全市の 53.9%よりも低くなっている。



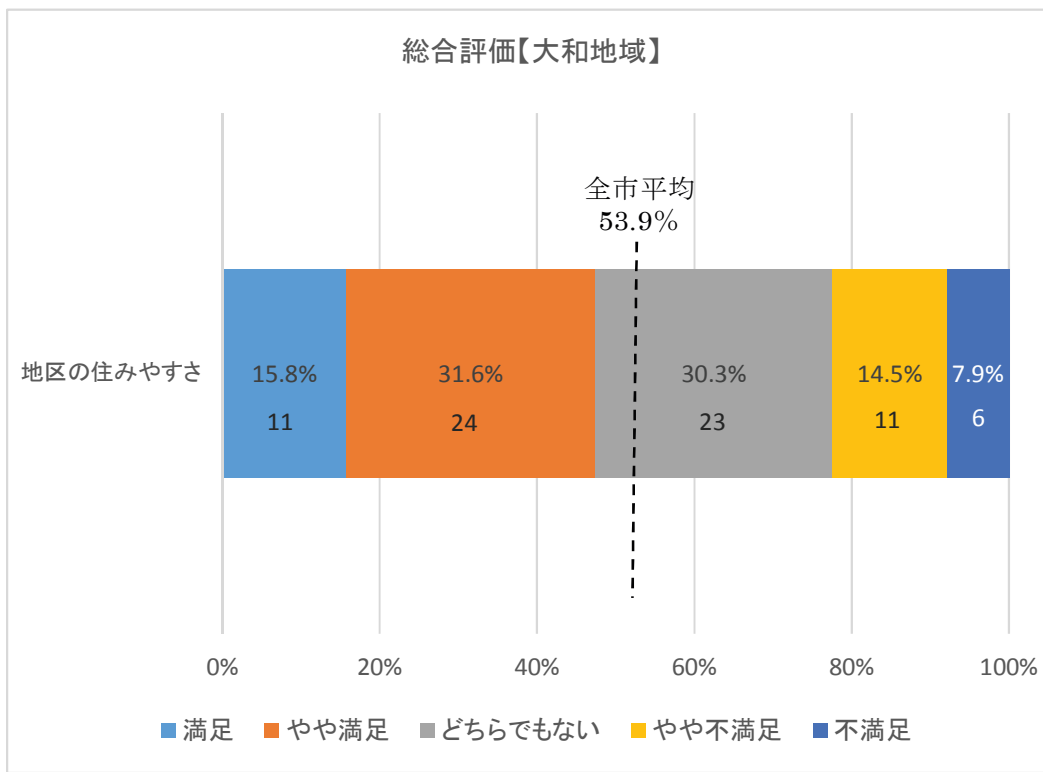
■ 満足度【総合評価】久井地域

総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は全市の 53.9%よりも低くなっている。



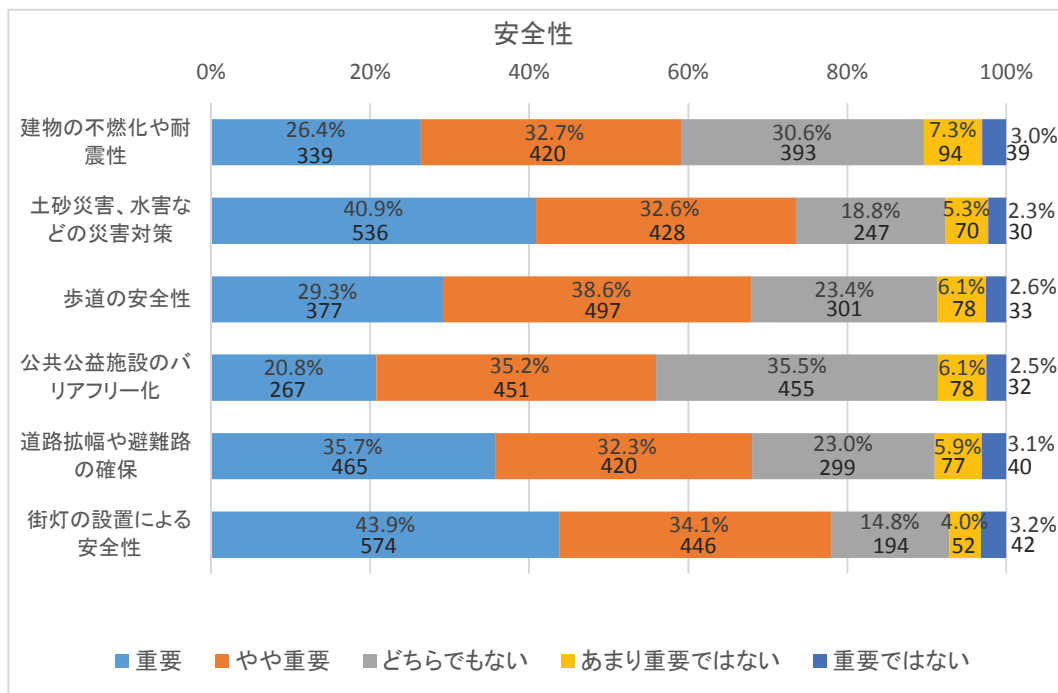
■ 満足度【総合評価】大和地域

総合的な評価は、「満足」、「やや満足」と答えた方は全市の53.9%よりも低くなっている。



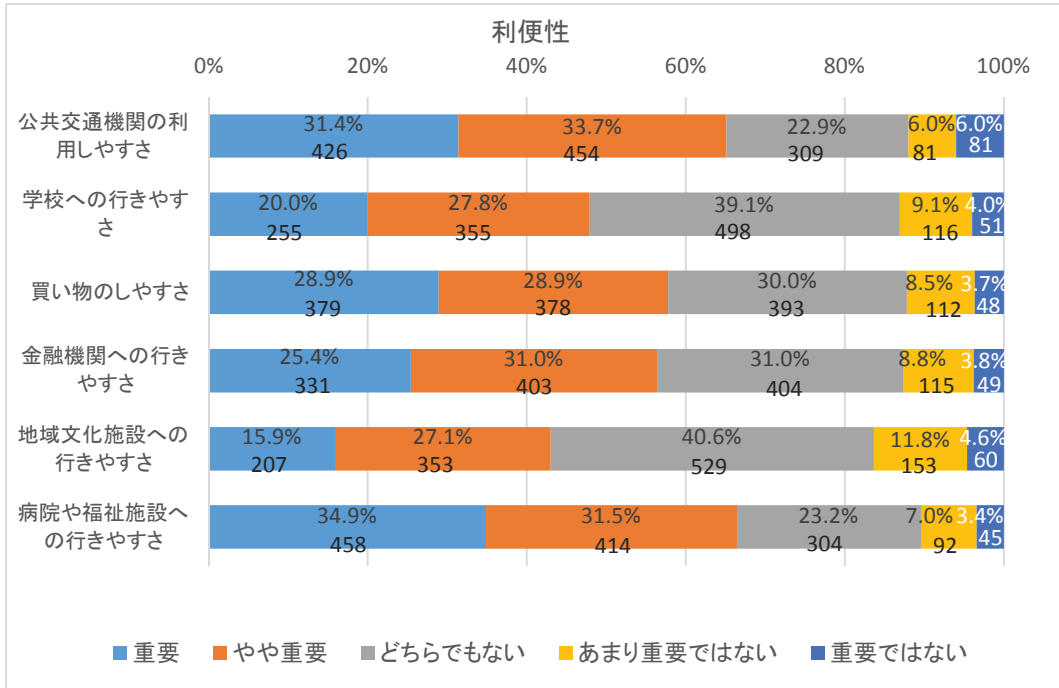
■ 重要度【安全性】

「重要」、「やや重要」と答えた方の割合がいずれの項目も全項目の平均（52.7%）よりも高くなっている。特に「街灯設置による安全性」の項目は全項目の中で最も高い。



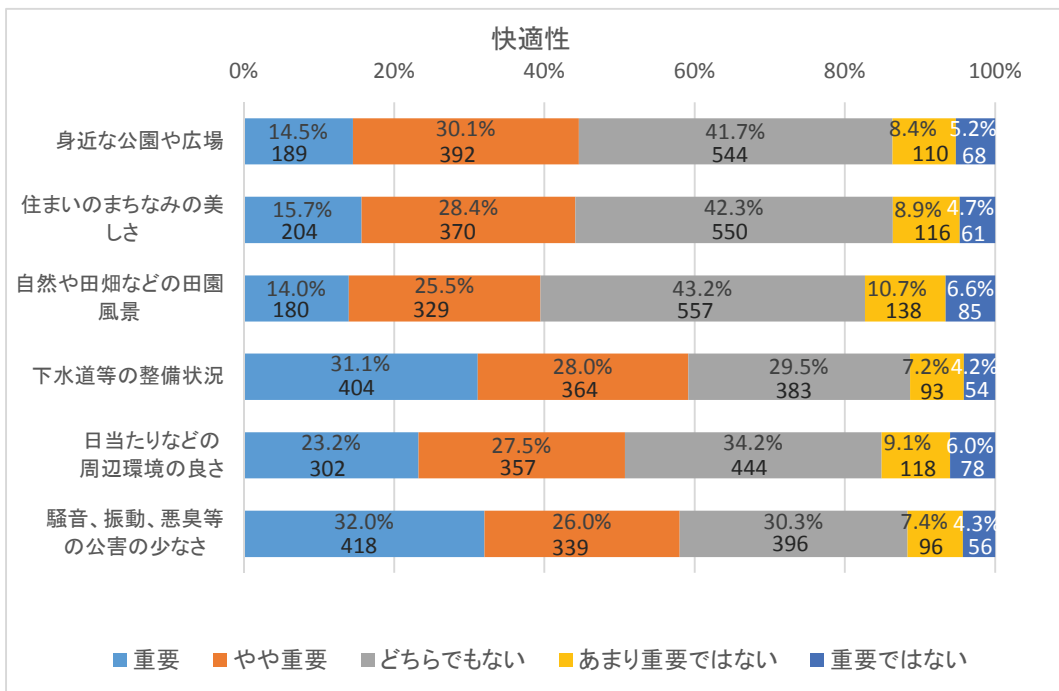
■ 重要度【利便性】

「重要」、「やや重要」と答えた方は全項目の平均（52.7%）よりやや高い比率となっている。「病院・福祉施設への行きやすさ」、「公共交通の利用のしやすさ」の項目が比較的高い。



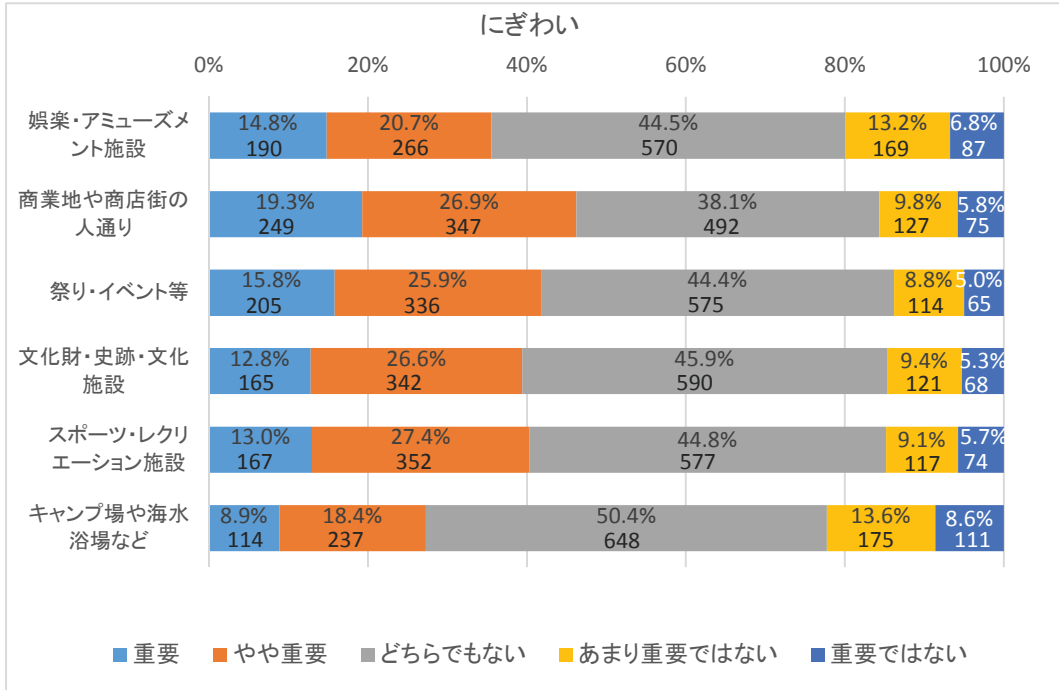
■ 重要度【快適性】

「重要」、「やや重要」と答えた方は全項目の平均（52.7%）よりやや低い比率となっている。「下水道などの整備状況」、「騒音、振動、悪臭等の公害の少なさ」の項目が比較的高い。



■ 重要度【にぎわい】

「重要」、「やや重要」と答えた方の割合がいずれの項目も全項目の平均（52.7%）より低くなっている。当該項目の中では「商業地や商店街の人通りのにぎわい」が比較的高い。





## ■問 7 各施設までの許容時間

問 7 問 6 で回答したような施設を自宅又は駅・バス停などから徒歩や自転車で利用する際、あなたは、その施設までの所要時間はどのくらいまでなら許容できますか。

徒歩の場合、自転車の場合について該当する番号をそれぞれ 1 つ選んで○をつけてください。

(徒歩の場合)

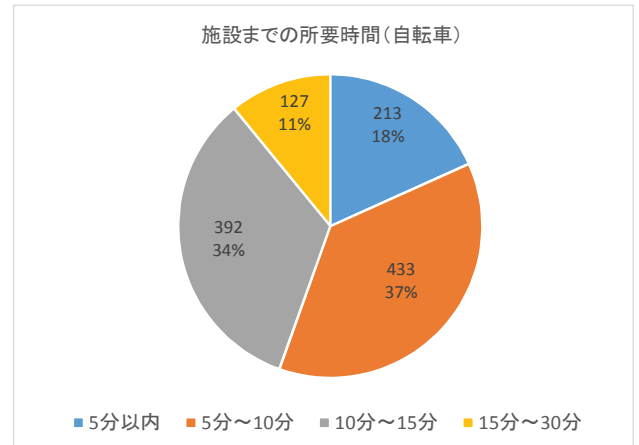
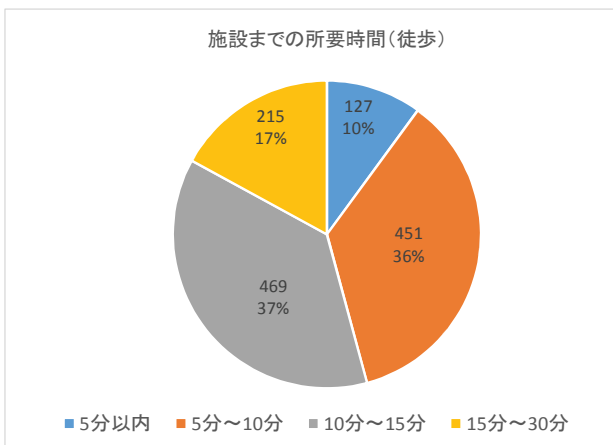
1. 5 分以内      2. 5 分～10 分      3. 10 分～15 分      4. 15 分～30 分

(自転車の場合)

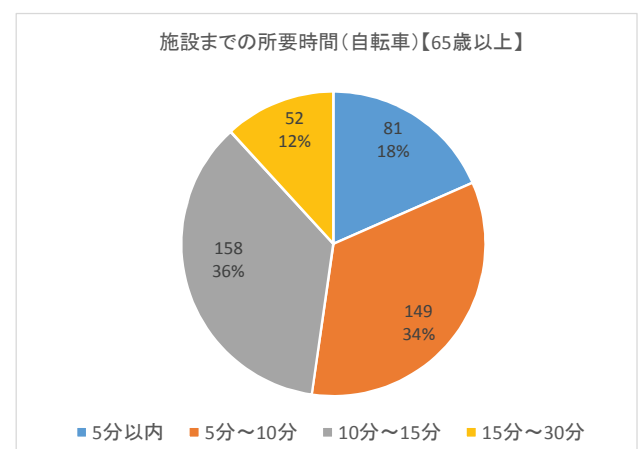
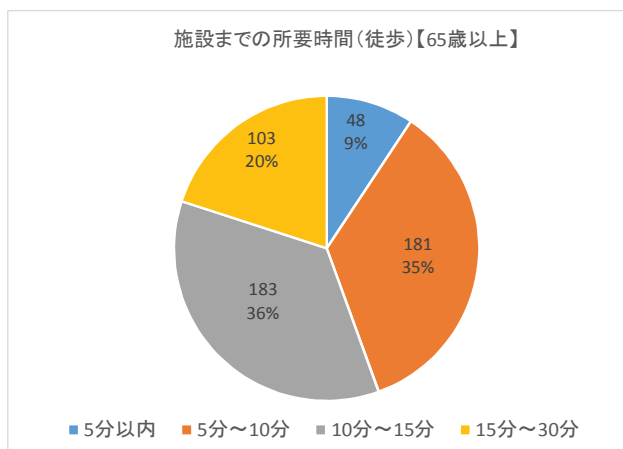
1. 5 分以内      2. 5 分～10 分      3. 10 分～15 分      4. 15 分～30 分

### ■各施設までの許容時間

「10 分」程度なら許容できる方の割合が、徒歩では 9 割、自転車では 8 割以上を占める。65 歳以上の方に限定しても同様の結果となっている。



▲全体集計結果



▲65歳以上のみの集計結果



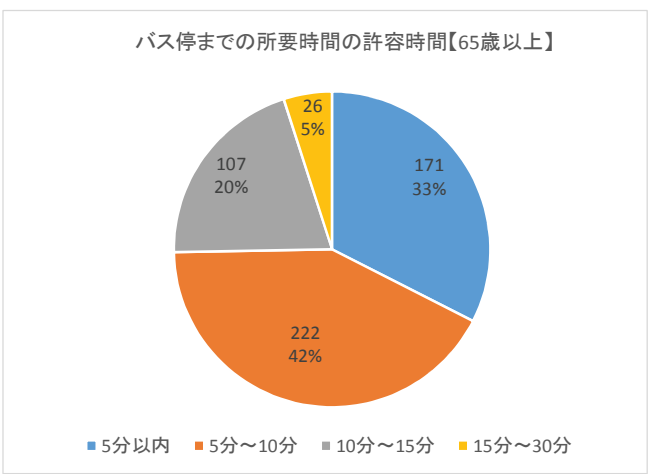
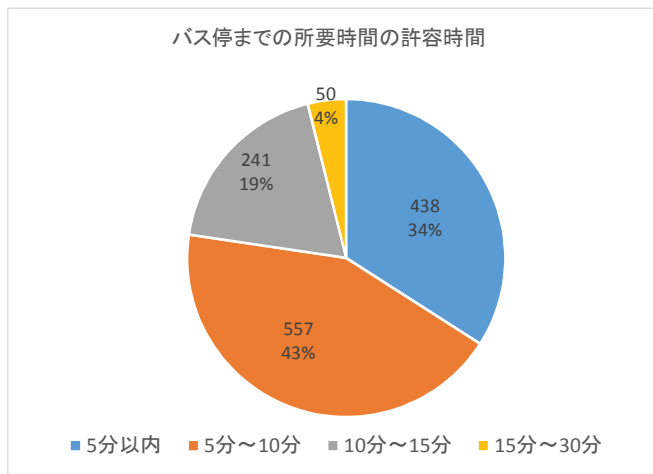
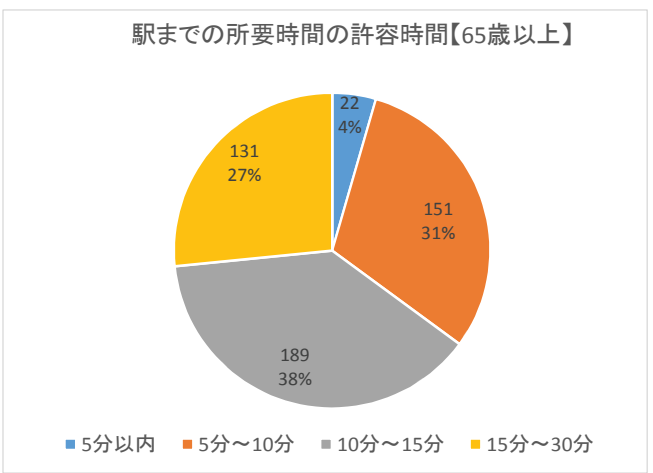
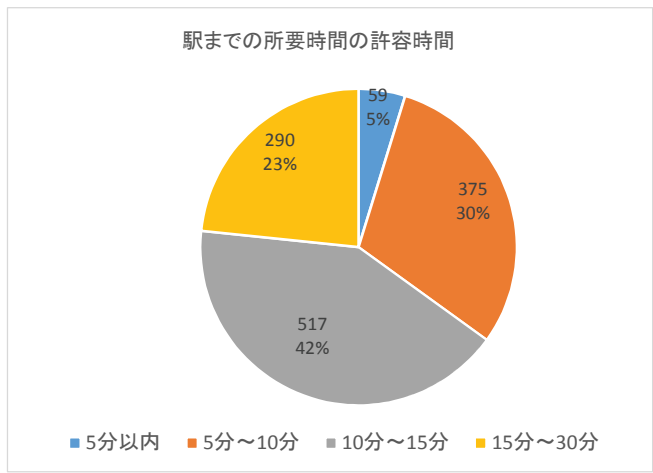
■問 8 問 9 公共交通（駅，バス停）までの許容時間

問 8 あなたが，鉄道（JR）を利用する際，徒歩で自宅から駅までかかる時間は，どれくらいまでなら許容できますか。該当する番号を 1つ選んで Oをつけてください。

問 9 あなたが，バスを利用する際，徒歩で自宅からバス停までかかる時間は，どれくらいまでなら許容できますか。該当する番号を 1つ選んで Oをつけてください。

1. 5分以内      2. 5分～10分      3. 10分～15分      4. 15分～30分

駅まで「10分」程度なら許容できると答えた方の割合が9割以上を占める。  
 バス停まで「10分」程度なら許容できると答え方の割合が6割以上を占める  
 65歳以上の方に限定しても同様の結果となっている。

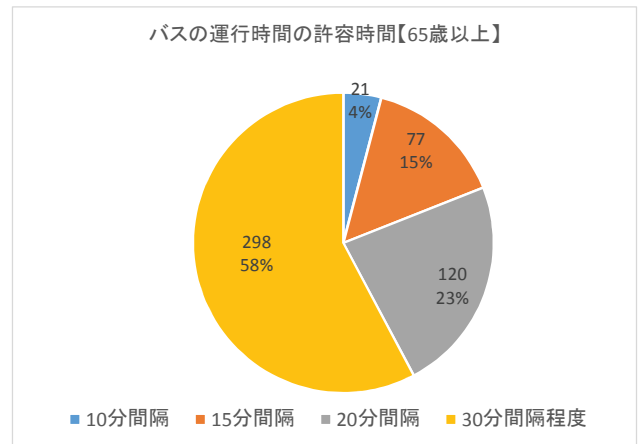
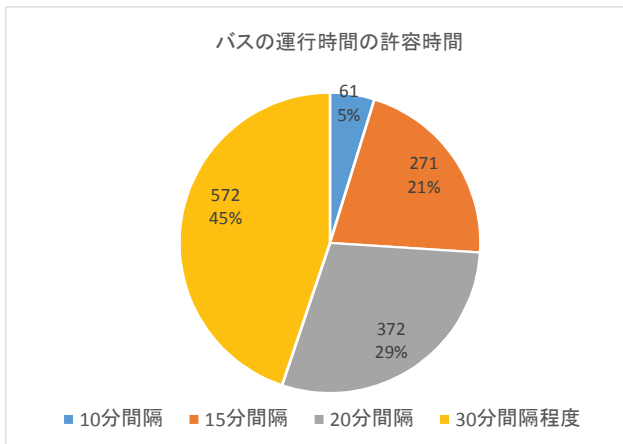


■問 10 バスの運行の許容間隔

問 10 バスの運行間隔として、あなたは、何分間隔までなら許容できますか。該当する番号を 1つ 選んで○をつけてください。

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 10 分間隔 (1 時間に 6 本) | 2. 15 分間隔 (1 時間に 4 本)   |
| 3. 20 分間隔 (1 時間に 3 本) | 4. 30 分間隔程度 (1 時間に 2 本) |

バスの運行間隔の許容時間について「20 分間隔以上」と答えた方の割合が全体の 3/4 程度となっている。65 歳以上ではさらに高くなっており、約 8 割となっている。

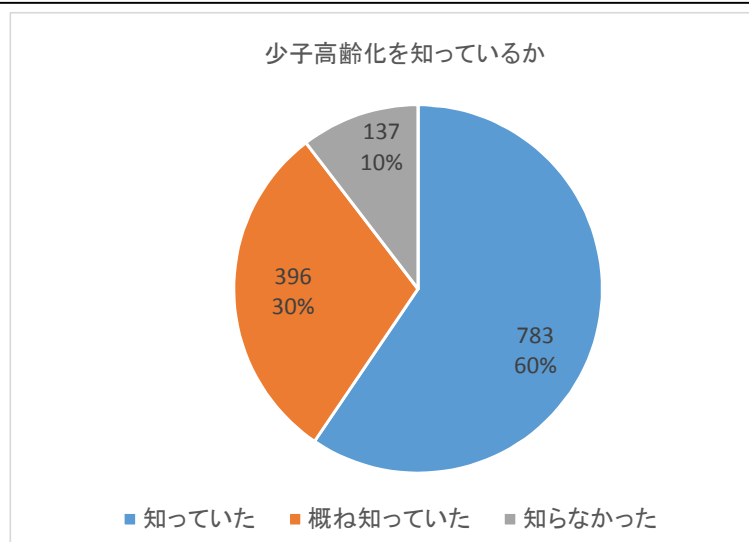


■問 11 人口減少・少子高齢化の進展についての認知度

問 11 あなたは、三原市の人口が将来減少見込みであること、また少子高齢化が進展見込みであることについて知っていましたか。該当する番号を 1つ 選んで○をつけてください。

- |          |            |           |
|----------|------------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 概ね知っていた | 3. 知らなかった |
|----------|------------|-----------|

人口減少、少子高齢化の進展についての認知度は 9 割となっている。

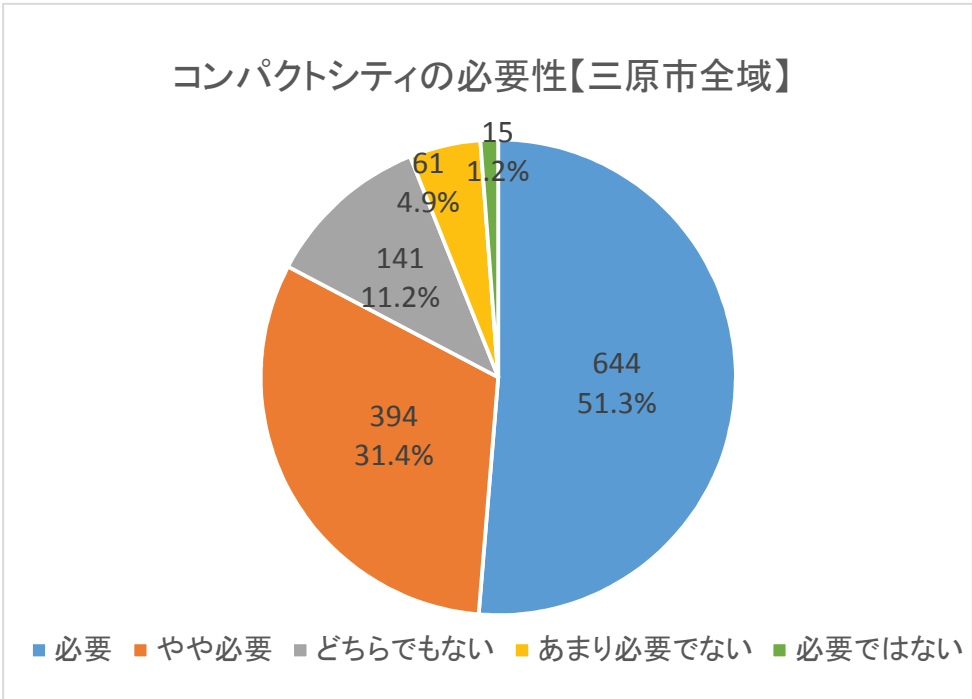


■問 12 人口減少・超高齢社会に対するコンパクトシティの必要性

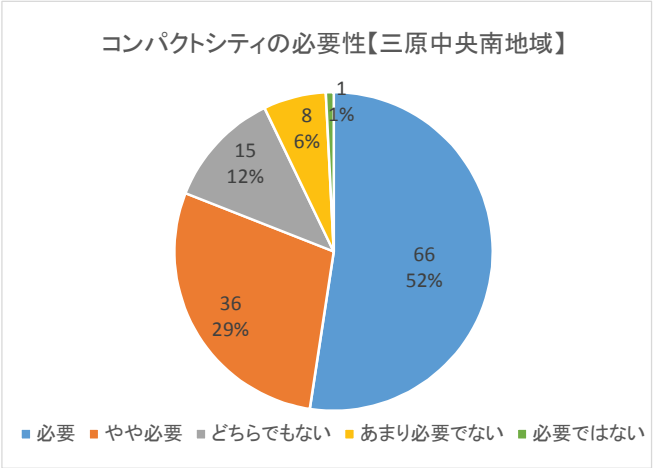
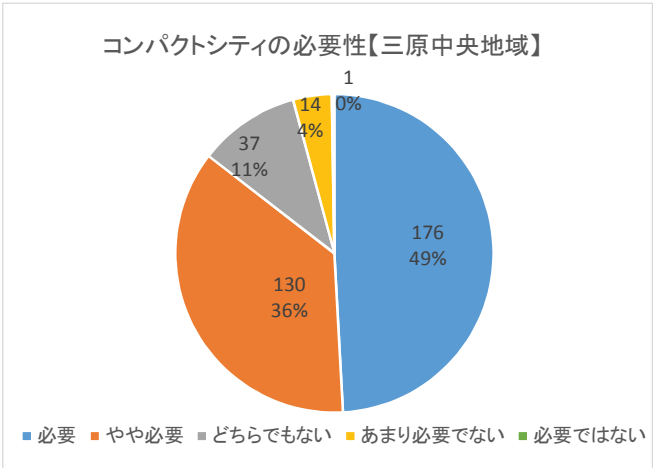
問 12 人口減少・超高齢社会のまちづくりの問題への対応として「医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、公共交通によってこれらの施設にアクセスができ、日常生活に必要なサービスが身近に存在する」ようなコンパクトシティが有効といわれています。コンパクトシティの必要性についてどのように思われますか。該当する番号を 1つ選んで ○をつけてください。

1. 必要    2. やや必要    3. どちらでもない    4. あまり必要でない    5. 必要ではない

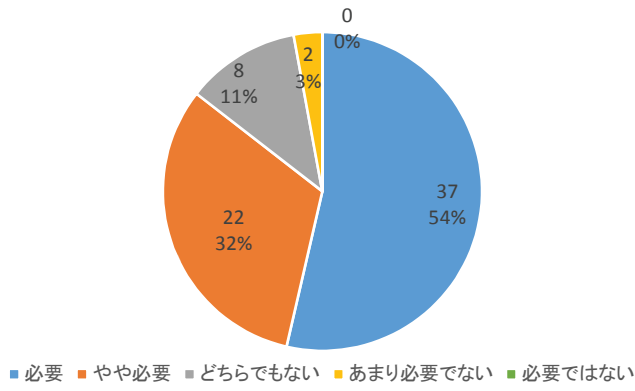
コンパクトシティについて「必要」、「やや必要」と答えた方が全体の 8 割を占める。



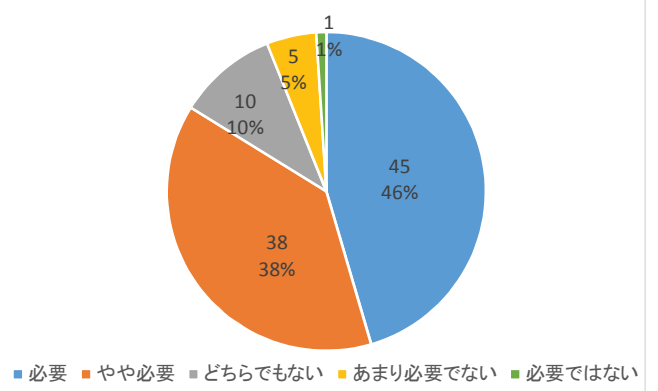
地域別に見てもコンパクトシティについて「必要」、「やや必要」と答えた方は内訳には差が若干あるものの概ね 8 割を占める。



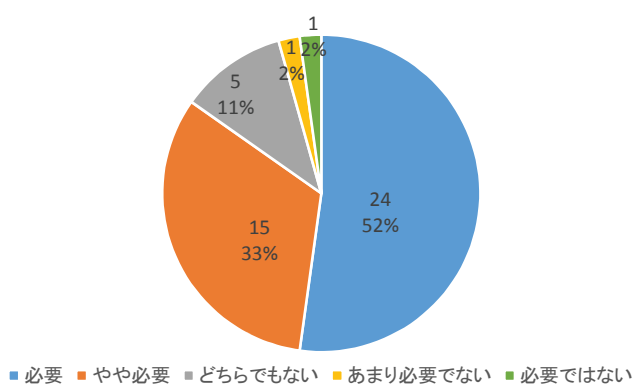
コンパクトシティの必要性【三原東部地域】



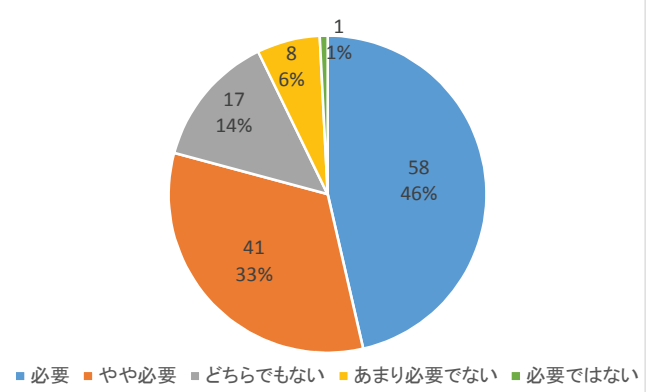
コンパクトシティの必要性【三原北東部地域】



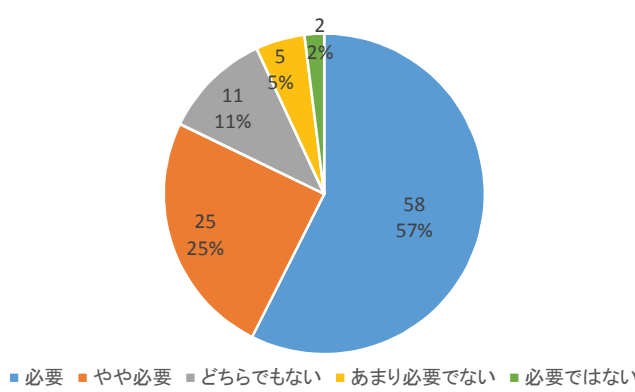
コンパクトシティの必要性【三原北西部地域】



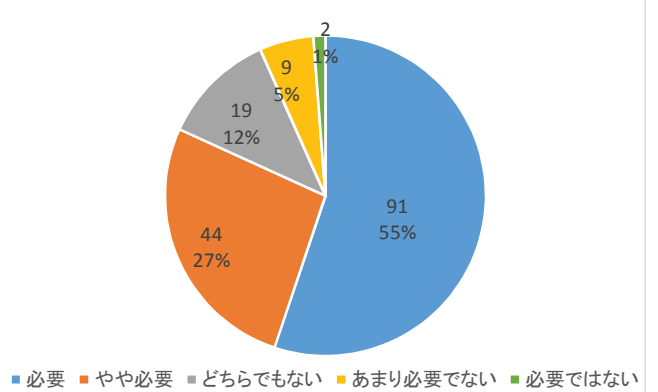
コンパクトシティの必要性【三原西部地域】



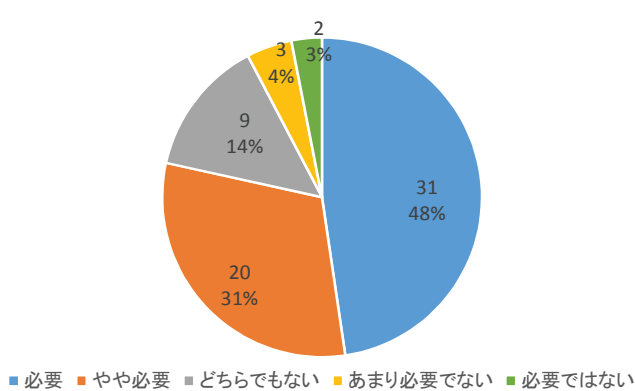
コンパクトシティの必要性【三原南部地域】



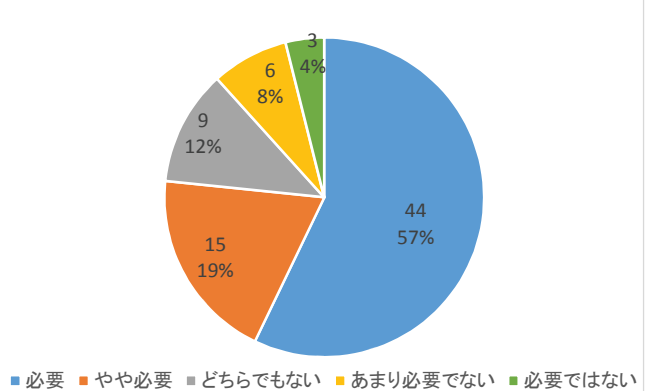
コンパクトシティの必要性【本郷地域】



コンパクトシティの必要性【久井地域】



コンパクトシティの必要性【大和地域】

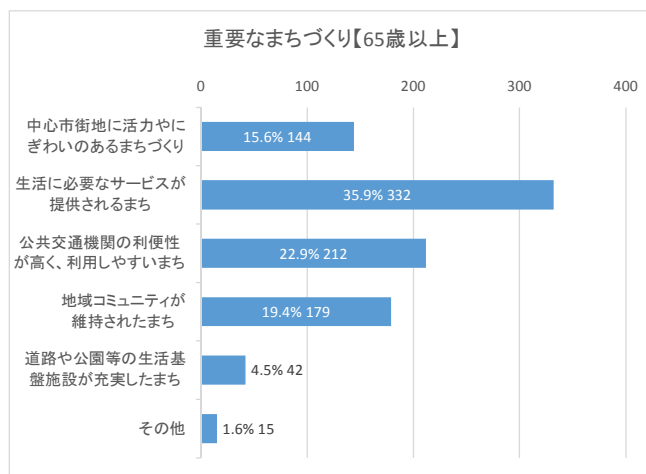
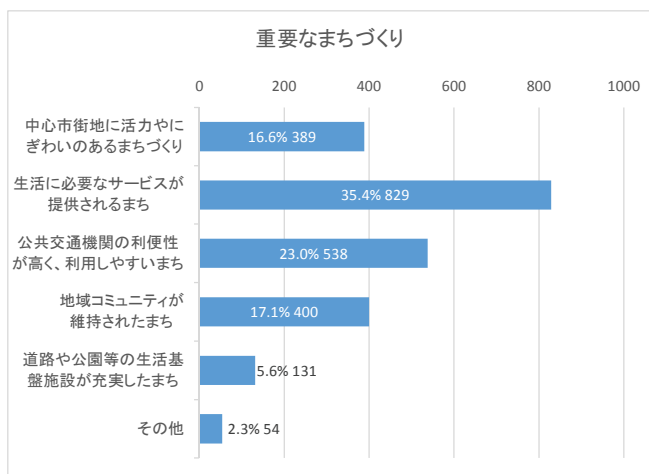


## ■問 13 人口減少・超高齢社会における今後のまちづくり

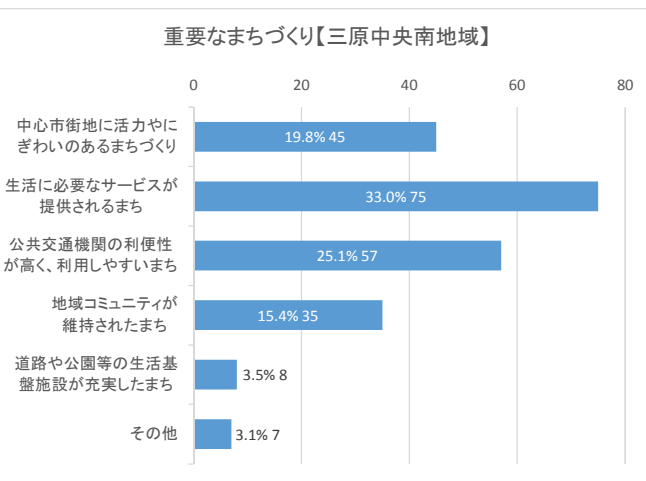
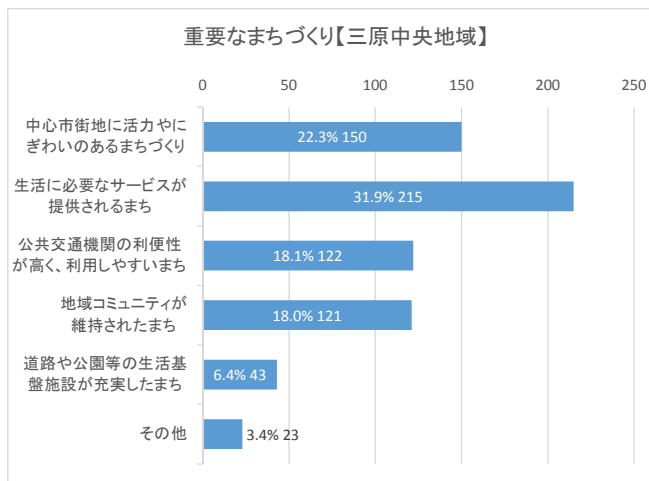
問 13 あなたは、人口減少・超高齢社会の進展が見込まれる中、今後どのようなまちづくりが重要だと思いますか。該当する番号を2つまで選んで○をつけてください。

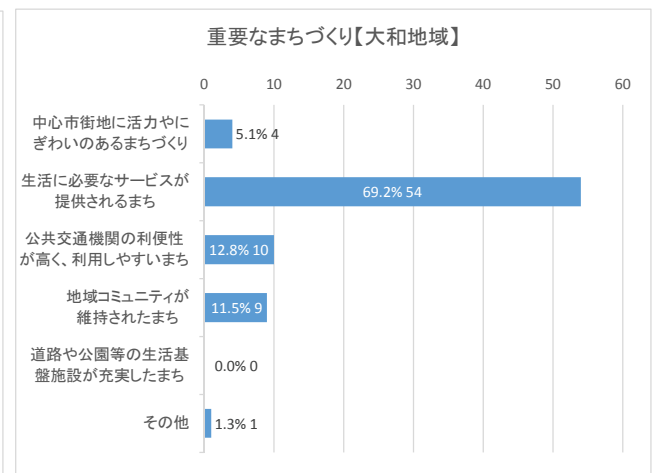
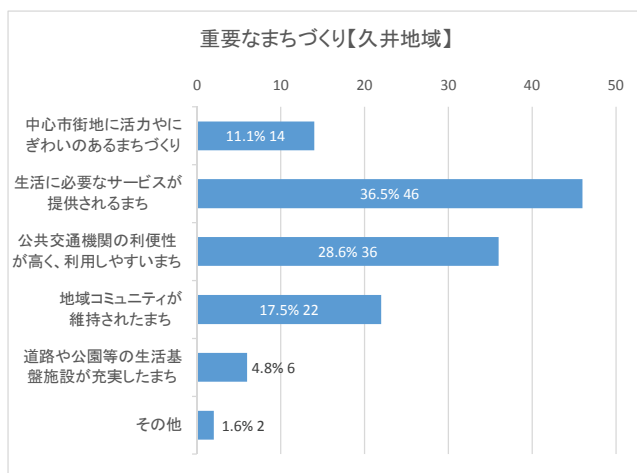
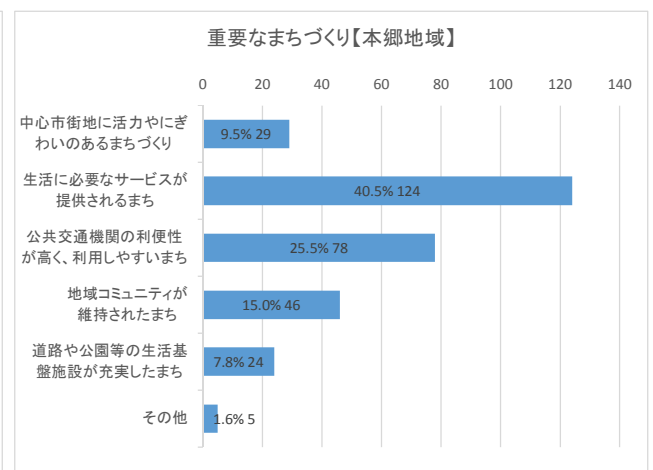
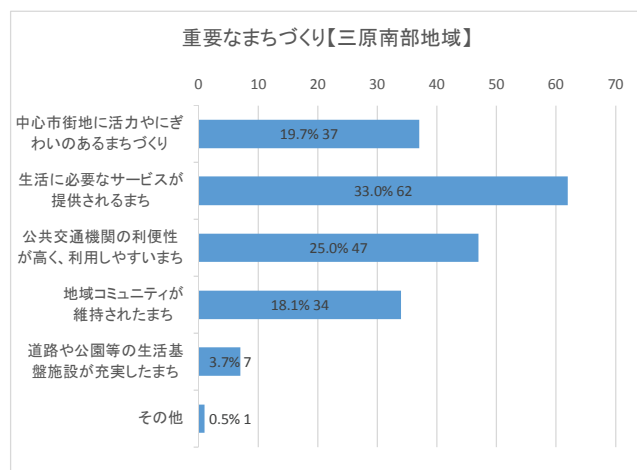
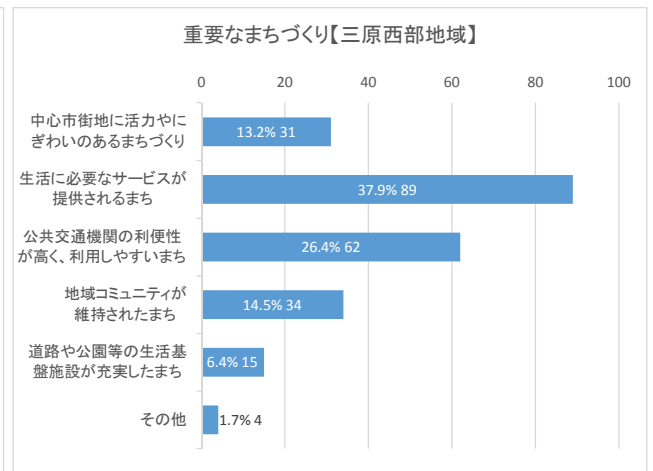
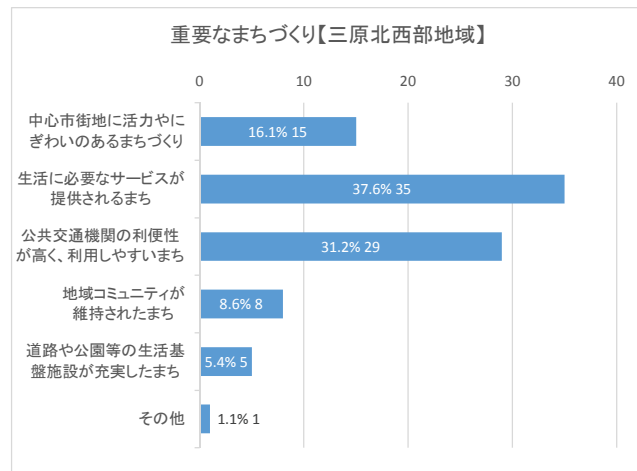
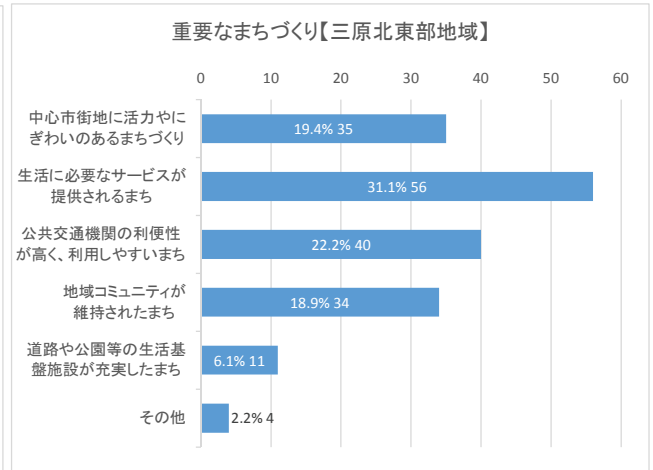
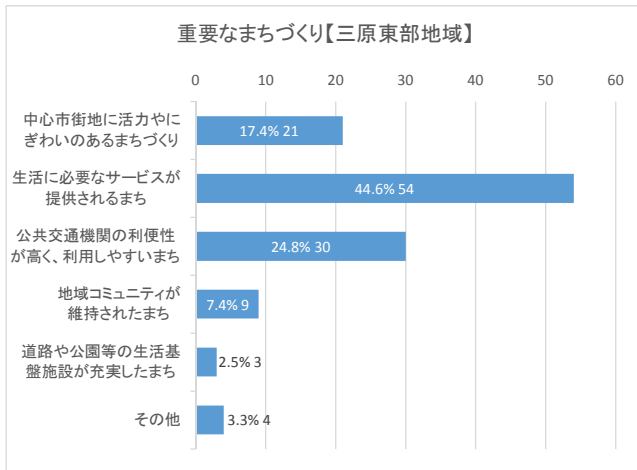
1. 中心市街地（JR 三原駅の周辺地域）に活力やにぎわいのあるまちづくり。
2. 生活に必要なサービス（スーパー等の買い物施設，診療所等の医療施設など）が住まいの身近で提供されるまちづくり。
3. バス等の公共交通機関の利便性（便数や路線数など）が高く，公共交通機関が利用しやすいまちづくり。
4. 地域に一定の人が住んでおり，地域コミュニティが維持されたまちづくり。
5. 道路や公園等の生活基盤施設が充実したまちづくり。
6. その他（ ）

人口減少・超高齢社会における今後のまちづくりとして「生活に必要なサービスが提供されるまち」と答えた方が最も多く，次いで「公共交通機関の利便性が高く，利用しやすいまち」となっている。高齢者では「地域コミュニティが維持されたまち」の回答割合が多い。



地域別に見ると「生活に必要なサービスが提供されるまち」と答えた方がいずれの地域でも最も多く，次いで概ね「公共交通機関の利便性が高く，利用しやすいまち」となっている。地域によっては「中心市街地に活力やにぎわいのあるまち」，「地域コミュニティが維持されたまち」の項目が多くなっているところもある。

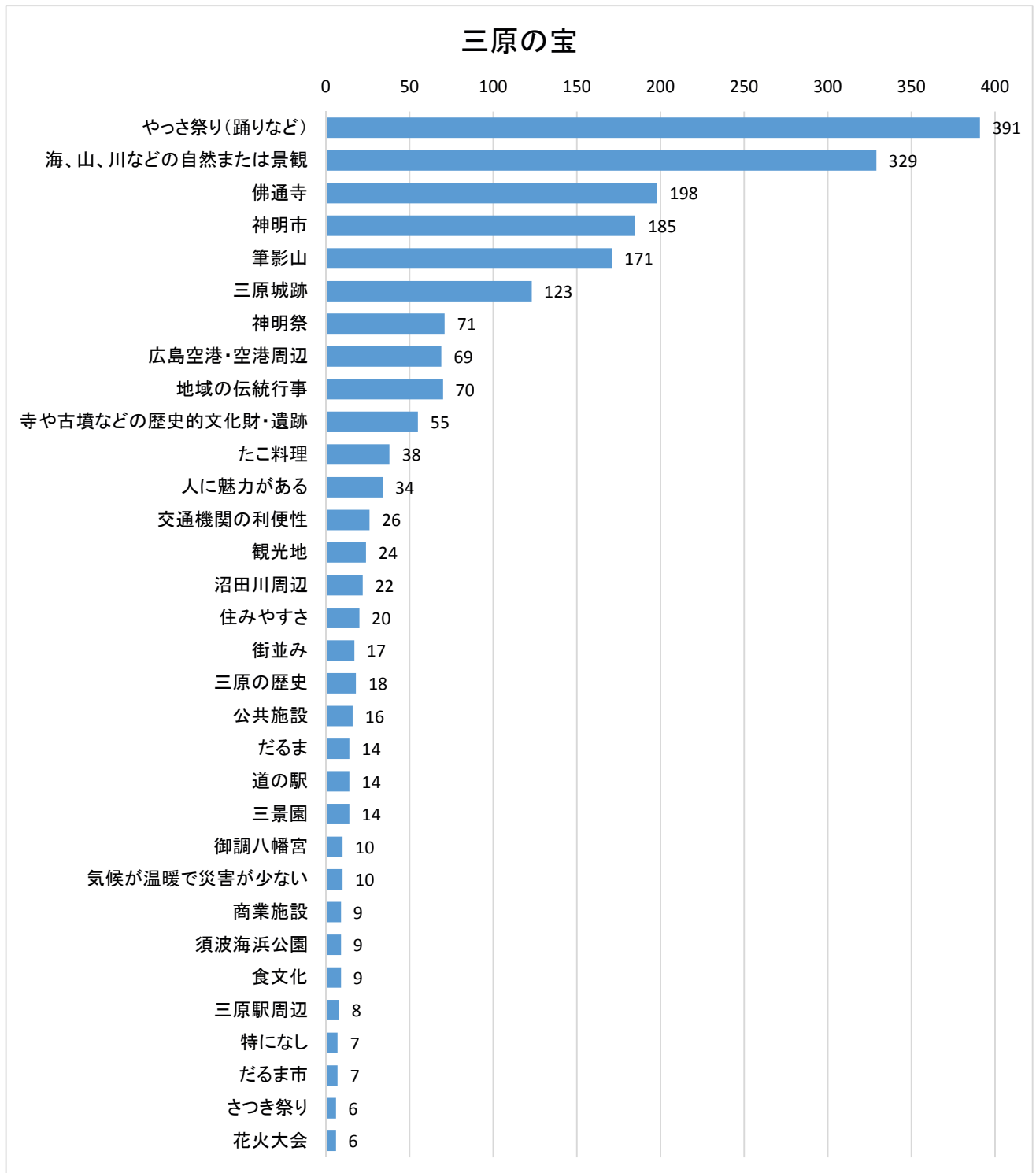




## ■問 14,15 三原市内の宝

### 問 14 三原市内で、あなたが宝だと思うものはどんなものがありますか。※記述式

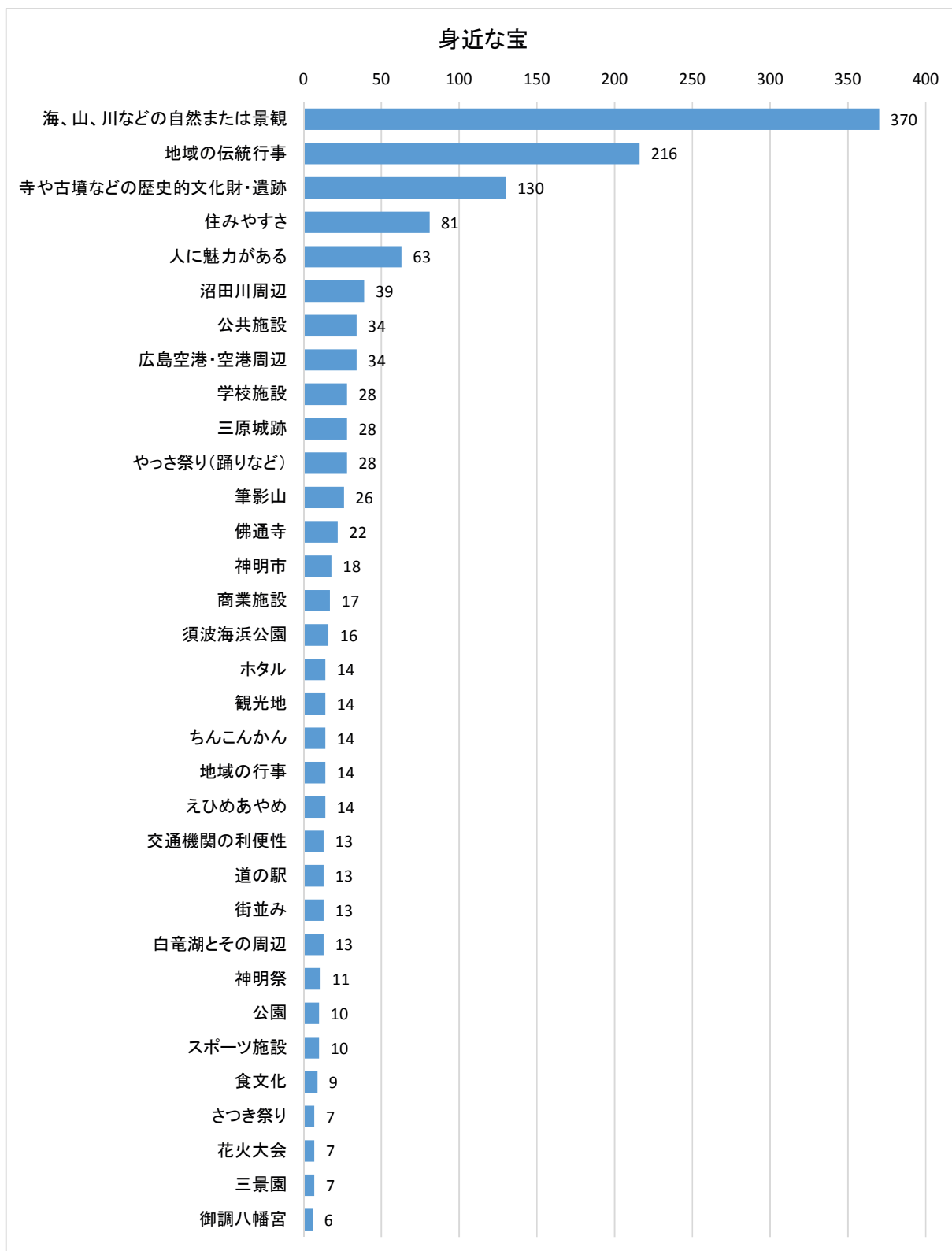
三原市内の宝として「やっさ祭り（踊りなど）」と答えた方が最も多く、次いで「海、山、川などの自然または景観」となっている。祭りや伝統行事，歴史，自然に関する宝が多い。



※集計のため、似た内容などはまとめて整理している。例えば「やっさ祭りのにぎわい」，「夏まつり（やっさ）」などは同じものとして集計。5票以下のものは未掲載。「三原港」，「学校施設」，「スポーツ施設」などがある。

問 14 お住まいの地区で、あなたが宝だと思うものはどんなものがありますか。※記述式

お住まいの地区の宝として「海、山、川などの自然または景観」と答えた方が最も多く、次いで「地域の伝統行事」となっている。「住みやすさ」や「人に魅力がある」など直接目に見えない宝も比較的多い。



※集計のため、似た内容などはまとめて整理している。5票以下のものは未掲載。「気候が温暖で災害が少ない」、「トライアスロン」、「福祉関係が充実している」などがある。



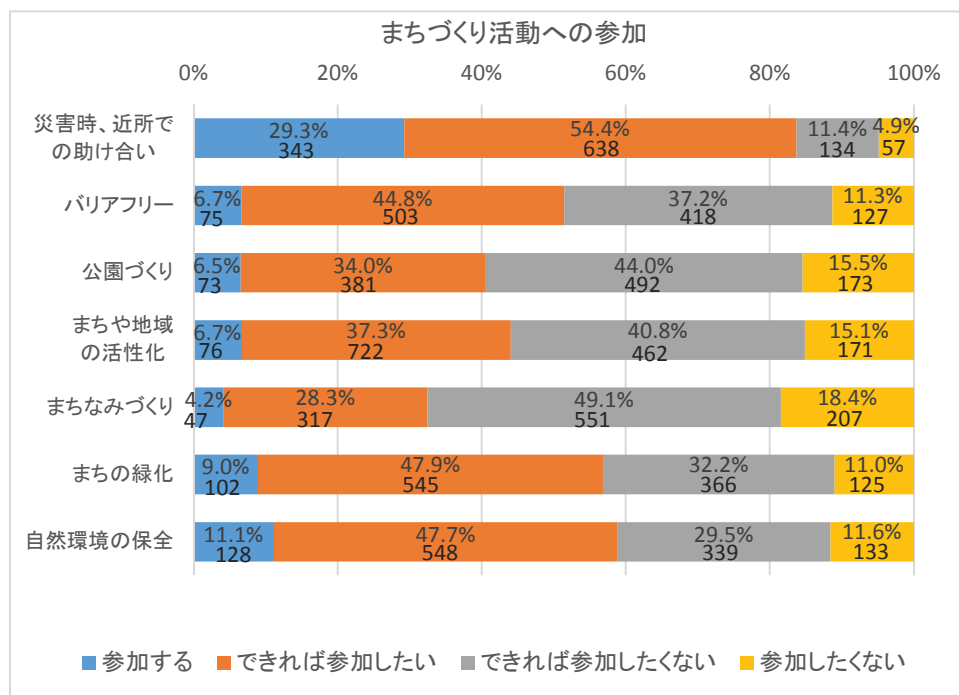
## ■問 16 まちづくりへの参加

問 16 ではまちづくりへの参加について「参加する」、「できれば参加したい」、「できれば参加したくない」、「参加したくない」のいずれかを選ぶ設問で以下に関する設問を調査した。

**問 16 以下の活動においてあなたが参加したいかどうかを、1つ選んで○をつけてください。**

(1) 災害時、近所での助け合い（初期消火・避難誘導・救助活動）
(2) バリアフリーに関する活動（段差の調査等）
(3) 公園づくりに関する活動（遊具や舗装などを決める会議等）
(4) まちや地域の活性化に関する活動（観光PR活動への参加等）
(5) まちなみづくりに関する活動（建物の色や高さ等を決める会議等）
(6) まちの緑化に関する活動（緑や花の植樹など）
(7) 自然環境の保全に関する活動（山や川の清掃など）

「災害時、近所での助け合い」への参加意向が最も高く、続いて「自然環境の保全に関する活動」、「まちの緑化に関する活動」の順となっている。「まちなみづくりに関する活動」への参加意向は比較的低い。



■問 17 今後の三原市のまちづくりについて、あなたが望むこと

問 17 今後の三原市のまちづくりについて、あなたが望むことをご記入ください。 ※記述式

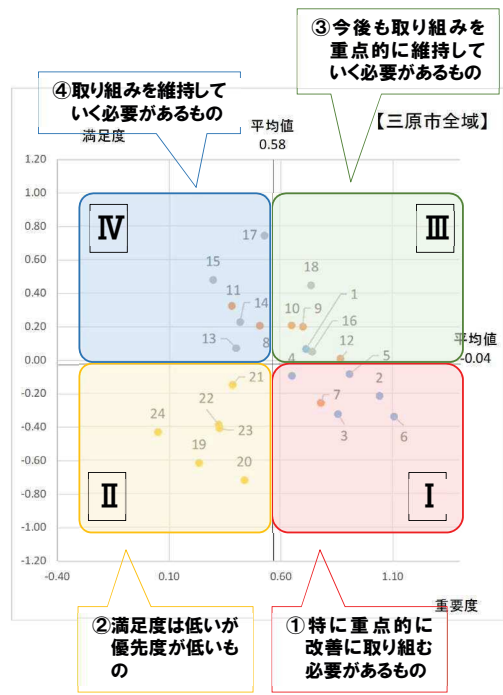
様々な意見がある中で複数ある意見を抜粋して提示する。

記述の概要項目	自由記述抜粋
駅前の整備	三原駅前開発をぜひお願いします。商店が多く楽しく生活ができるよう
	駅前が今のままでは少し寂しい気がします。何かいい方法で活用できないのでしょうか？
公共交通の充実	バスの本数は少なく、通勤に使える交通機関はありません。今は大丈夫ですが、高齢となった時のことを考えるととても不安です。車に乗らなければ病院や公共機関には行けません
	バス等公共交通機関が利用しやすいまちづくり
インフラ整備	市内のいろんな場所に公園を作って欲しい
	空港、三原駅などへの道路整備
交通渋滞の緩和	帝人通りから2号線に出る早さ、渋滞をなくしてほしい
	国道2号線が混むイメージがある
施設の誘致	アミューズメントパークやショッピングモール(大型)が近所にほしいです
	駅前開発、映画館、ボーリング場とか娯楽場ができればもっと若い人他が集まってこれると思う
雇用の創出・充実	工場、会社などを増やして人口をもっと、増やせるようにしてほしい
	子供が大学を卒業して三原に帰ってきた時の就職先があればと思います
子育て環境の充実	子育てをするのに、住み良い環境は若い人たちの定住につながると思います
	子育てのしやすい三原市になる事を希望します
行財政の健全化	行政のスリム化を今から本気で実行する必要あり
	議員定数・市職員給与などの見直し
景観・自然が美しい	三原にも美しい景観があると思います。そこを上手にアピールして、活性化してもらいたい 自然が綺麗。伝統のお祭り。もっともっと三原に人が集まるようなそんな素敵な場所になってほしいです
交流人口の拡大(観光振興)	三原の人や観光地として外からの人に入りが多いにぎやかな町に！！
	尾道市と連携した尾三地域の観光エリアの開発
福祉の充実	最後まで自分の家で過ごせる福祉体制を希望する
	今後の高齢社会に向けてバリアフリー化、コンパクトシティ化、福祉施設の充実が必要かと思われます
空家対策	空き家が多いのでさびしい。補助金をだして、処分ができるものはきれいにしてほしい
	道路に接している危険な空家があります。景観的にも見苦しい空家があります
観光振興	尾道市と連携した尾三地域の観光エリアの開発
	三原を観光地にして他県の人達にこの瀬戸内のすばらしさを見せてあげたいです。
行事・イベントの充実	色々なイベントをしてほしい
	ファミリーで参加できるイベントを増やしてほしい
定住促進	体外的なPRだけでなく、今住んでいる市民のためにお金を使い、もっと住みやすくしてほしい
	若者が定住する町にしてほしい
何も望んでいない	

# ■市民アンケート調査結果 満足度 重要度 分析用資料

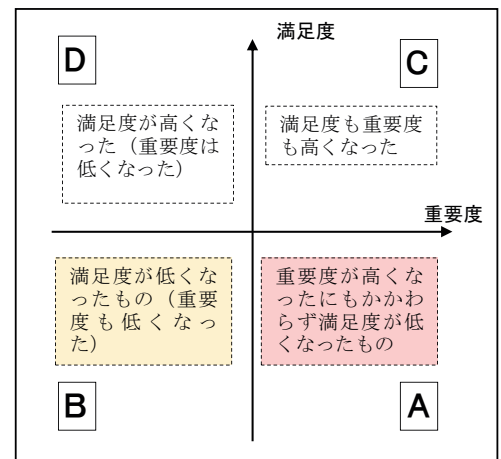
■満足度 重要度 相関関係 全地区比較

		全市	三原中央	三原中央南	三原東部	三原北東部	三原北西部	三原西部	三原南部	本郷	久井	大和
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	III	III	III	I	III	III	III	IV	III	II	IV
	2 災害対策	I	III	I	I	I	I	I	I	I	I	I
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	I	III	I	I	I	I	I	II	III	I	III
	5 道路の幅や避難路の確保	I	III	III	I	I	III	III	I	III	III	I
	6 夜間街灯による安全性	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	I	IV	I	I	IV	I	I	I	I	I	I
	8 学校等への行きやすさ	IV	IV	IV	IV	IV	I	I	I	III	I	II
	9 買い物のしやすさ	III	IV	III	I	IV	I	I	I	III	I	I
	10 金融機関への行きやすさ	III	IV	IV	I	IV	I	I	I	III	I	I
	11 公民館や集会所への行きやすさ	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	I	III
	12 病院福祉施設への行きやすさ	III	IV	III	I	III	I	I	I	III	I	I
快適性	13 身近な公園広場	IV	IV	IV	II	IV	II	II	II	II	II	II
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV
	15 自然や田園風景	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	IV	III	IV
	16 下水道等の整備状況	III	III	III	I	I	I	III	III	I	III	III
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	IV	IV	III	IV	IV	IV	IV	IV	III	III	IV
	18 公害の少なさ	III	III	III	III	III	IV	IV	IV	IV	III	III
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	II	II	II	II	II	II	II	II	I	II	II
	21 祭り・イベント等のにぎわい	II	IV	II	II	II	II	II	II	II	I	II
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	II	II	II	II	II	II	II	II	II	I	II
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
	24 キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	II	II	II	II	II	II	II	IV	II	II	II



■満足度 重要度 相関関係 全地区過年度比較

		全市	三原中央	三原中央南	三原東部	三原北東部	三原北西部	三原西部	三原南部	本郷	久井	大和
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	C	A	A	B	B	C	A	B	A	A	B
	2 災害対策	A	A	A	C	A	C	C	B	C	C	A
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	C	D	A	D	A	D	C	D	C	C	C
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	C	D	C	D	B	C	D	B	A	D	C
	5 道路の幅や避難路の確保	C	C	A	D	B	C	D	D	A	C	A
	6 夜間街灯による安全性	C	C	A	A	A	C	A	A	C	C	C
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	C	C	A	D	C	A	A	A	C	C	C
	8 学校等への行きやすさ	B	C	B	A	D	A	B	B	A	C	B
	9 買い物のしやすさ	C	C	A	C	D	C	A	A	C	A	C
	10 金融機関への行きやすさ	C	C	A	C	B	D	A	B	C	C	C
	11 公民館や集会所への行きやすさ	A	C	B	D	B	D	A	B	B	A	A
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	C	D	A	C	B	C	A	B	C	C	A
快適性	13 身近な公園広場	D	A	D	C	D	C	B	B	D	C	C
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	D	D	B	D	D	C	A	D	D	C	C
	15 自然や田園風景	D	D	B	D	D	A	A	B	D	A	A
	16 下水道等の整備状況	D	D	C	B	C	D	B	D	C	C	A
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	C	D	A	D	A	C	A	D	A	C	A
	18 公害の少なさ	C	D	C	D	C	C	A	D	C	C	B
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	A	D	A	C	C	C	B	A	A	C	C
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	A	B	A	C	D	C	B	B	A	C	A
	21 祭り・イベント等のにぎわい	A	A	A	D	D	A	B	B	A	C	A
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	A	C	B	C	D	D	B	B	A	C	A
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	A	A	A	C	C	C	A	A	A	C	C
	24 キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	B	B	A	C	D	A	B	D	B	C	A

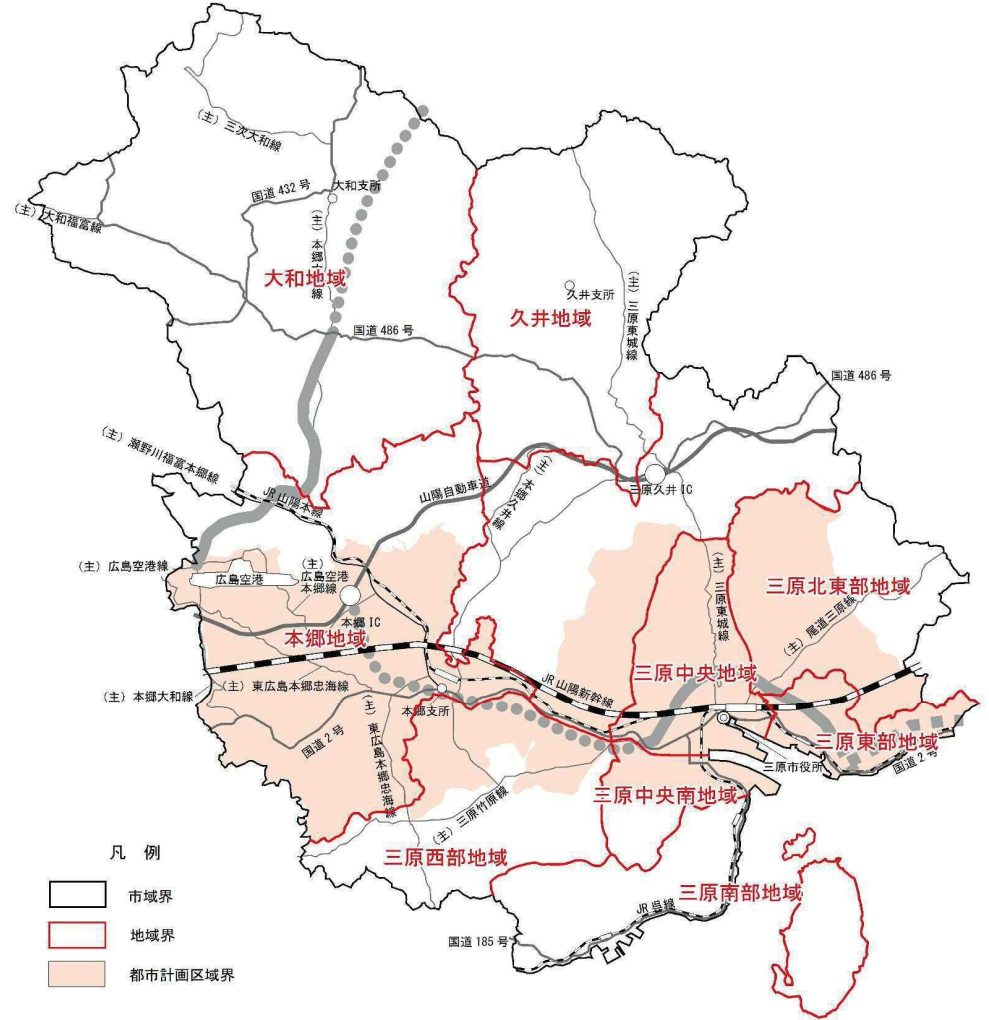
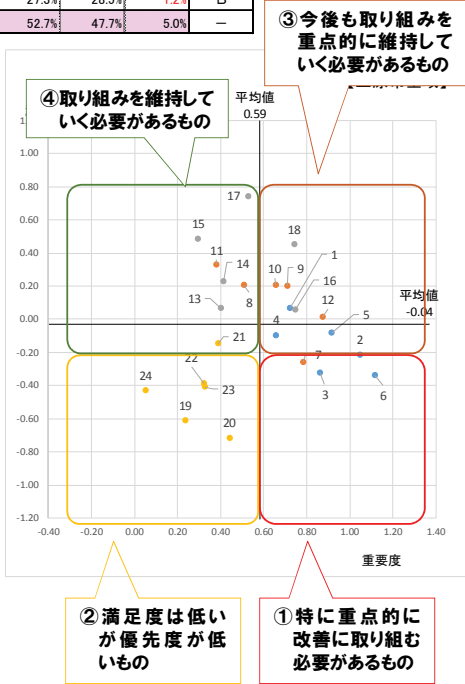




三原市全地域		満足度	満足度 (過年度)	増減	重要度	重要度 (過年度)	増減	増減
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	31.8%	27.7%	4.1%	59.1%	56.8%	2.2%	C
	2 災害対策	26.0%	27.7%	-1.7%	73.5%	65.1%	8.5%	A
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	26.9%	23.6%	3.2%	68.0%	67.1%	0.8%	C
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	26.1%	23.2%	2.9%	56.0%	55.9%	0.1%	C
	5 道路の幅や避難路の確保	34.8%	33.9%	0.9%	68.0%	66.5%	1.5%	C
	6 夜間街灯による安全性	31.4%	28.5%	2.9%	78.0%	28.5%	49.5%	C
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	32.3%	30.4%	2.0%	65.1%	62.1%	3.0%	C
	8 学校等への行きやすさ	39.6%	42.4%	-2.8%	47.8%	48.6%	-0.7%	B
	9 買い物やすさ	48.9%	47.1%	1.8%	57.8%	50.9%	6.9%	C
	10 金融機関への行きやすさ	46.3%	43.3%	2.9%	56.4%	52.2%	4.2%	C
	11 公民館や集会所への行きやすさ	43.8%	45.1%	-1.4%	43.0%	41.9%	1.1%	A
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	37.8%	36.9%	0.9%	66.4%	63.2%	3.2%	C
快適性	13 身近な公園広場	37.5%	35.2%	2.3%	44.6%	44.7%	-0.1%	D
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	37.3%	34.5%	2.8%	44.1%	46.6%	-2.5%	D
	15 自然や田園風景	48.1%	40.5%	7.6%	39.5%	40.9%	-1.4%	D
	16 下水道等の整備状況	37.7%	32.7%	5.0%	59.2%	60.8%	-1.6%	D
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	63.3%	59.9%	3.4%	50.7%	48.6%	2.1%	C
	18 公害の少なさ	52.7%	45.9%	6.8%	58.0%	55.8%	2.2%	C
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	8.5%	9.6%	-1.1%	35.6%	31.2%	4.4%	A
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	6.4%	7.9%	-1.5%	46.2%	42.8%	3.4%	A
	21 祭り・イベント等のにぎわい	19.7%	23.0%	-3.3%	41.8%	38.3%	3.5%	A
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	9.4%	10.8%	-1.3%	39.4%	37.0%	2.4%	A
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	9.8%	11.3%	-1.5%	40.3%	11.3%	29.0%	A
	24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	9.7%	11.2%	-1.6%	27.3%	28.5%	-1.2%	B
全体平均	31.9%	30.5%	1.4%	52.7%	47.7%	5.0%	-	

		満足度	重要度	満足度 重要度
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	0.07	0.72	III
	2 災害対策	-0.22	1.05	I
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.33	0.86	I
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	-0.10	0.66	I
	5 道路の幅や避難路の確保	-0.08	0.92	I
	6 夜間街灯による安全性	-0.34	1.11	I
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	-0.26	0.79	I
	8 学校等への行きやすさ	0.21	0.51	IV
	9 買い物やすさ	0.20	0.71	III
	10 金融機関への行きやすさ	0.21	0.65	III
	11 公民館や集会所への行きやすさ	0.33	0.38	IV
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	0.01	0.87	III
快適性	13 身近な公園広場	0.07	0.40	IV
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	0.23	0.42	IV
	15 自然や田園風景	0.48	0.30	IV
	16 下水道等の整備状況	0.05	0.75	III
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	0.74	0.53	IV
	18 公害の少なさ	0.45	0.74	III
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.61	0.24	II
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.72	0.44	II
	21 祭り・イベント等のにぎわい	-0.15	0.39	II
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.39	0.32	II
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.41	0.33	II
	24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	-0.43	0.05	II
全体平均	-0.04	0.59		

赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの





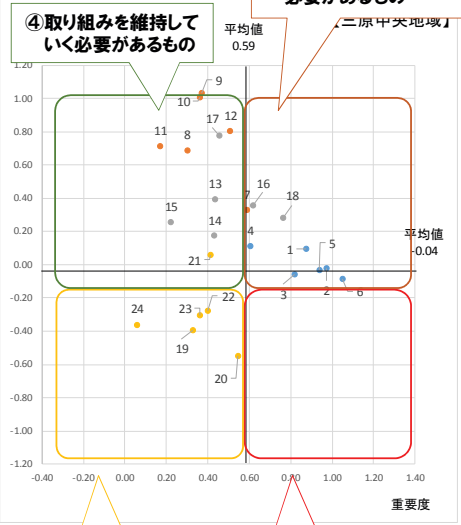
□比較的満足度の高い地域（三原中央地域）

三原中央地域		満足度	満足度 (過年度)	増減	重要度	重要度 (過年度)	増減	増減
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	12.4%	30.4%	-18.0%	65.4%	62.2%	3.3%	A
	2 災害対策	29.2%	32.6%	-3.4%	70.3%	61.3%	9.0%	A
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	34.3%	29.8%	4.5%	68.2%	68.8%	-0.6%	D
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	32.2%	31.2%	1.0%	53.7%	55.0%	-1.3%	D
	5 道路の幅や避難路の確保	39.0%	36.2%	2.8%	68.5%	65.7%	2.7%	C
	6 夜間街灯による安全性	37.7%	28.2%	9.5%	75.7%	28.2%	47.5%	C
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	48.5%	44.2%	4.3%	56.1%	53.3%	2.8%	C
	8 学校等への行きやすさ	54.8%	54.3%	0.6%	38.9%	38.8%	0.1%	C
	9 買い物のしやすさ	76.3%	73.5%	2.9%	44.0%	39.5%	4.5%	C
	10 金融機関への行きやすさ	75.3%	68.2%	7.0%	45.3%	40.9%	4.4%	C
	11 公民館や集会所への行きやすさ	57.5%	56.1%	1.4%	34.4%	32.0%	2.4%	C
12 病院・福祉施設への行きやすさ	65.2%	59.9%	5.3%	51.1%	51.1%	0.0%	D	
快適性	13 身近な公園広場	47.4%	48.6%	-1.2%	47.6%	46.4%	1.2%	A
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	34.2%	30.9%	3.3%	45.6%	51.9%	-6.4%	D
	15 自然や田園風景	35.2%	9.7%	25.6%	34.4%	37.8%	-3.4%	D
	16 下水道等の整備状況	49.1%	38.4%	10.7%	53.2%	58.0%	-4.8%	D
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	62.7%	55.0%	7.7%	47.5%	50.3%	-2.8%	D
	18 公害の少なさ	46.1%	32.6%	13.5%	59.0%	64.1%	-5.0%	D
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	13.5%	12.2%	1.3%	36.9%	37.6%	-0.7%	D
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	9.6%	9.9%	-0.4%	51.7%	53.9%	-2.1%	B
	21 祭り・イベント等のにぎわい	26.7%	28.2%	-1.5%	41.8%	41.4%	0.3%	A
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	10.7%	9.9%	0.8%	43.3%	42.5%	0.7%	C
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	9.9%	10.8%	-0.8%	40.3%	10.8%	29.5%	A
	24 キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	8.5%	9.9%	-1.4%	25.1%	30.7%	-5.5%	B
全体平均	38.2%	35.0%	3.1%	49.9%	46.8%	3.2%	C	

「建築物の不燃化・耐震性の確保」満足度が大きく下がっています。

③ 今後も取り組みを重点的に維持していく必要があるもの

		満足度	重要度	満足度 重要度
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	0.10	0.88	Ⅲ
	2 災害対策	-0.02	0.97	Ⅲ
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.06	0.82	I
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	0.11	0.60	Ⅲ
	5 道路の幅や避難路の確保	-0.03	0.94	Ⅲ
	6 夜間街灯による安全性	-0.08	1.05	I
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	0.33	0.59	Ⅳ
	8 学校等への行きやすさ	0.68	0.30	Ⅳ
	9 買い物のしやすさ	1.03	0.37	Ⅳ
	10 金融機関への行きやすさ	1.01	0.36	Ⅳ
	11 公民館や集会所への行きやすさ	0.71	0.17	Ⅳ
12 病院・福祉施設への行きやすさ	0.80	0.51	Ⅳ	
快適性	13 身近な公園広場	0.40	0.43	Ⅳ
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	0.17	0.43	Ⅳ
	15 自然や田園風景	0.25	0.22	Ⅳ
	16 下水道等の整備状況	0.36	0.62	Ⅲ
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	0.78	0.46	Ⅳ
	18 公害の少なさ	0.28	0.76	Ⅲ
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.39	0.33	Ⅱ
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.55	0.55	Ⅱ
	21 祭り・イベント等のにぎわい	0.06	0.41	Ⅳ
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.28	0.40	Ⅱ
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.31	0.36	Ⅱ
	24 キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	-0.36	0.06	Ⅱ
全体平均	0.21	0.52	Ⅳ	



④ 取り組みを維持していく必要があるもの

② 満足度は低いが優先度が低いもの

① 特に重点的に改善に取り組む必要があるもの

赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの





満足度が市域平均と同程度の高い地域（三原北東地域、三原中央南地域、本郷地域）

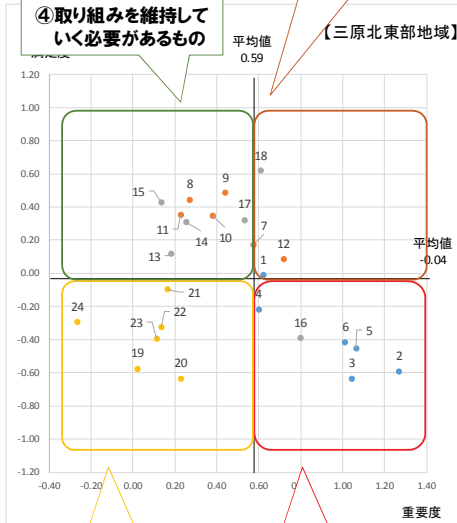
三原北東地域		満足度	満足度 (過年度)	増減	重要度	重要度 (過年度)	増減	増減
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	8.6%	27.3%	-18.7%	58.8%	65.5%	-6.7%	B
	2 災害対策	16.7%	24.5%	-7.9%	84.2%	73.6%	10.5%	A
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	23.1%	30.9%	-7.8%	74.5%	67.3%	7.2%	A
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	22.8%	23.6%	-0.8%	53.6%	61.8%	-8.2%	B
	5 道路の幅や避難路の確保	22.1%	23.9%	-1.8%	75.3%	77.1%	-1.8%	B
	6 夜間街灯による安全性	29.0%	30.0%	-1.0%	76.5%	30.0%	46.5%	A
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	44.2%	39.1%	5.1%	58.2%	55.5%	2.7%	C
	8 学校等への行きやすさ	47.8%	47.3%	0.5%	40.9%	47.3%	-6.4%	D
	9 買い物のしやすさ	53.8%	46.4%	7.4%	46.9%	48.2%	-1.2%	D
	10 金融機関への行きやすさ	43.5%	47.3%	-3.8%	46.9%	50.0%	-3.1%	B
	11 公民館や集会所への行きやすさ	43.6%	43.6%	0.0%	38.1%	45.5%	-7.3%	B
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	34.4%	35.5%	-1.0%	59.6%	62.7%	-3.1%	B
快適性	13 身近な公園広場	42.1%	30.0%	12.1%	37.4%	44.5%	-7.2%	D
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	44.7%	36.4%	8.3%	40.4%	46.4%	-6.0%	D
	15 自然や田園風景	54.3%	30.0%	24.3%	36.7%	38.2%	-1.4%	D
	16 下水道等の整備状況	23.9%	19.1%	4.8%	63.6%	62.7%	0.9%	C
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	47.3%	50.0%	-2.7%	58.2%	50.9%	7.3%	A
	18 公害の少なさ	57.4%	41.8%	15.6%	55.7%	54.5%	1.1%	C
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	6.5%	5.5%	1.1%	27.8%	26.4%	1.5%	C
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	7.7%	4.5%	3.1%	34.0%	39.1%	-5.1%	D
	21 祭り・イベント等のにぎわい	20.2%	19.1%	1.1%	28.6%	35.5%	-6.9%	D
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	10.9%	5.5%	5.4%	32.0%	34.5%	-2.6%	D
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	8.6%	7.3%	1.3%	33.0%	7.3%	25.7%	C
	24 キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	11.0%	6.4%	4.6%	15.3%	26.4%	-11.1%	D
全体平均	30.2%	28.1%	2.1%	49.0%	47.9%	1.1%	C	

安全性の項目の満足度が全て下がっています。

③ 今後も取り組みを重点的に維持していく必要があるもの

	満足度	重要度	満足度 重要度
1 建築物の不燃化・耐震性の確保	-0.01	0.62	Ⅲ
2 災害対策	-0.59	1.27	I
3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.64	1.04	I
4 公共施設のバリアフリー化の状況	-0.22	0.60	I
5 道路の幅や避難路の確保	-0.45	1.06	I
6 夜間街灯による安全性	-0.42	1.01	I
7 公共交通機関の利用のしやすさ	0.17	0.57	Ⅳ
8 学校等への行きやすさ	0.44	0.27	Ⅳ
9 買い物のしやすさ	0.48	0.44	Ⅳ
10 金融機関への行きやすさ	0.35	0.38	Ⅳ
11 公民館や集会所への行きやすさ	0.35	0.23	Ⅳ
12 病院・福祉施設への行きやすさ	0.09	0.72	Ⅲ
13 身近な公園広場	0.12	0.18	Ⅳ
14 身近な住まいのまちなみの美しさ	0.31	0.25	Ⅳ
15 自然や田園風景	0.43	0.13	Ⅳ
16 下水道等の整備状況	-0.39	0.80	I
17 日当たりなどの周辺環境の良さ	0.32	0.53	Ⅳ
18 公害の少なさ	0.62	0.61	Ⅲ
19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.58	0.02	Ⅱ
20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.64	0.23	Ⅱ
21 祭り・イベント等のにぎわい	-0.10	0.16	Ⅱ
22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.33	0.13	Ⅱ
23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.40	0.11	Ⅱ
24 キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	-0.30	-0.27	Ⅱ
全体平均	-0.06	0.46	Ⅱ

赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの



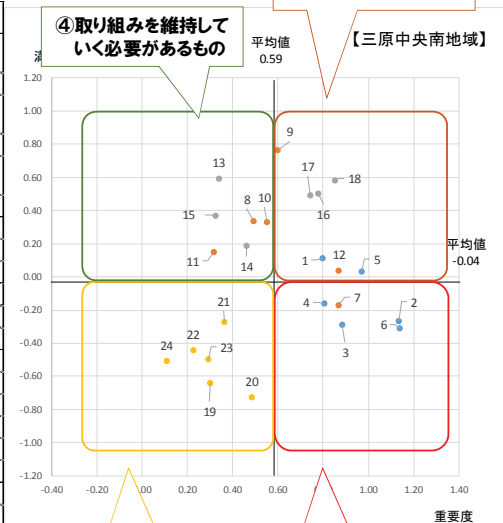
三原中央南地域		満足度	満足度 (過年度)	増減	重要度	重要度 (過年度)	増減	増減
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	11.2%	28.3%	-17.1%	62.0%	59.8%	2.2%	A
	2 災害対策	25.0%	30.7%	-5.7%	73.5%	63.0%	10.5%	A
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	25.0%	32.3%	-7.3%	66.2%	63.0%	3.2%	A
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	25.0%	22.8%	2.2%	63.3%	57.5%	5.8%	C
	5 道路の幅や避難路の確保	38.3%	40.9%	-2.6%	68.0%	60.6%	7.3%	A
	6 夜間街灯による安全性	30.2%	30.7%	-0.5%	78.1%	30.7%	47.4%	A
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	30.1%	32.3%	-2.2%	66.9%	62.2%	4.7%	A
	8 学校等への行きやすさ	44.4%	48.0%	-3.7%	46.1%	47.2%	-1.2%	B
	9 買い物のしやすさ	68.0%	69.3%	-1.3%	52.3%	44.1%	8.2%	A
	10 金融機関への行きやすさ	47.1%	52.0%	-4.9%	51.9%	46.5%	5.5%	A
	11 公民館や集会所への行きやすさ	39.3%	44.1%	-4.8%	40.0%	39.4%	0.6%	B
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	35.5%	40.9%	-5.5%	64.6%	57.5%	7.1%	A
快適性	13 身近な公園広場	56.0%	53.5%	2.5%	40.8%	48.0%	-7.3%	D
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	37.1%	43.3%	-6.2%	44.6%	48.0%	-3.4%	B
	15 自然や田園風景	44.4%	44.9%	-0.5%	36.2%	47.3%	-11.0%	B
	16 下水道等の整備状況	54.8%	50.4%	4.4%	60.0%	54.3%	5.7%	C
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	56.3%	56.7%	-0.3%	56.3%	53.5%	2.7%	A
	18 公害の少なさ	54.0%	53.5%	0.5%	63.1%	54.3%	8.7%	C
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	5.6%	10.3%	-4.7%	34.9%	28.6%	6.3%	A
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	4.0%	9.4%	-5.4%	46.2%	39.4%	6.8%	A
	21 祭り・イベント等のにぎわい	16.7%	22.0%	-5.4%	41.1%	35.4%	5.7%	A
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	6.5%	10.2%	-3.8%	34.1%	34.6%	-0.5%	B
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	7.2%	14.2%	-7.0%	40.3%	14.2%	26.1%	A
	24 キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	5.6%	15.0%	-9.3%	31.0%	30.7%	0.3%	A
全体平均	32.0%	35.7%	-3.7%	52.6%	46.7%	5.9%	A	

満足度が概ねの項目で下がっています。

③ 今後も取り組みを重点的に維持していく必要があるもの

	満足度	重要度	満足度 重要度
1 建築物の不燃化・耐震性の確保	0.11	0.80	Ⅲ
2 災害対策	-0.27	1.14	I
3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.29	0.88	I
4 公共施設のバリアフリー化の状況	-0.16	0.80	I
5 道路の幅や避難路の確保	0.03	0.97	Ⅲ
6 夜間街灯による安全性	-0.31	1.14	I
7 公共交通機関の利用のしやすさ	-0.17	0.87	I
8 学校等への行きやすさ	0.34	0.49	Ⅳ
9 買い物のしやすさ	0.76	0.60	Ⅲ
10 金融機関への行きやすさ	0.33	0.55	Ⅳ
11 公民館や集会所への行きやすさ	0.15	0.32	Ⅳ
12 病院・福祉施設への行きやすさ	0.04	0.87	Ⅲ
13 身近な公園広場	0.59	0.34	Ⅳ
14 身近な住まいのまちなみの美しさ	0.19	0.46	Ⅳ
15 自然や田園風景	0.37	0.32	Ⅳ
16 下水道等の整備状況	0.50	0.78	Ⅲ
17 日当たりなどの周辺環境の良さ	0.49	0.74	Ⅲ
18 公害の少なさ	0.58	0.85	Ⅲ
19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.64	0.30	Ⅱ
20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.73	0.48	Ⅱ
21 祭り・イベント等のにぎわい	-0.27	0.36	Ⅱ
22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.44	0.22	Ⅱ
23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.50	0.29	Ⅱ
24 キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	-0.51	0.11	Ⅱ
全体平均	0.01	0.61	Ⅲ

赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの





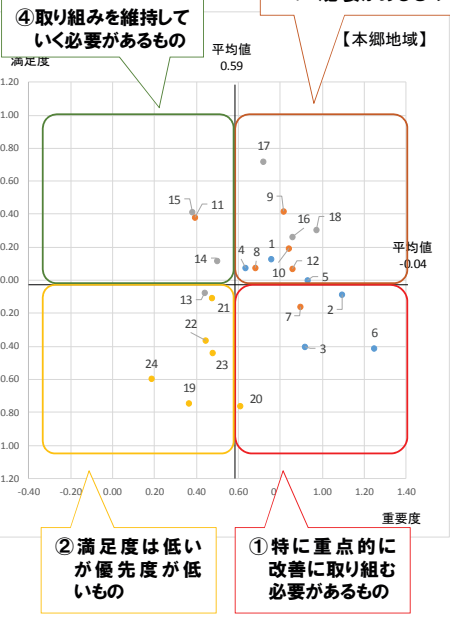
		本郷地域	満足度	満足度 (過年度)	増減	重要度	重要度 (過年度)	増減	増減
安全性	1	建築物の不燃化・耐震性の確保	12.1%	27.3%	-15.2%	60.7%	52.9%	7.8%	A
	2	災害対策	29.5%	24.8%	4.7%	75.0%	70.2%	4.8%	C
	3	広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	24.2%	11.6%	12.7%	68.9%	66.9%	1.9%	C
	4	公共施設のバリアフリー化の状況	26.4%	28.1%	-1.7%	54.2%	50.4%	3.8%	A
	5	道路の幅や避難路の確保	31.7%	33.9%	-2.2%	70.5%	60.3%	10.2%	A
	6	夜間街灯による安全性	30.7%	30.6%	0.1%	84.1%	30.6%	53.5%	C
利便性	7	公共交通機関の利用のしやすさ	36.7%	26.4%	10.3%	68.2%	62.0%	6.3%	C
	8	学校等への行きやすさ	34.4%	34.7%	-0.4%	56.0%	54.5%	1.4%	A
	9	買い物しやすさ	56.9%	50.4%	6.5%	64.7%	50.4%	14.3%	C
	10	金融機関への行きやすさ	46.4%	37.2%	9.2%	61.9%	57.9%	4.1%	C
	11	公民館や集会所への行きやすさ	47.6%	50.4%	-2.8%	42.9%	43.8%	-0.9%	B
	12	病院・福祉施設への行きやすさ	40.1%	39.7%	0.5%	65.9%	65.3%	0.6%	C
快適性	13	身近な公園広場	30.5%	23.1%	7.4%	48.8%	50.4%	-1.6%	D
	14	身近な住まいのまちなみの美しさ	32.3%	24.8%	7.5%	45.9%	48.8%	-2.9%	D
	15	自然や田園風景	41.8%	33.1%	8.8%	42.9%	50.4%	-7.6%	D
	16	下水道等の整備状況	43.6%	36.4%	7.3%	68.2%	66.9%	1.2%	C
	17	日当たりなどの周辺環境の良さ	61.1%	61.2%	-0.1%	58.3%	53.7%	4.6%	A
	18	公害の少なさ	47.0%	40.5%	6.5%	66.1%	57.9%	8.2%	C
にぎわい	19	娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	6.7%	14.0%	-7.4%	42.7%	29.8%	12.9%	A
	20	商業地・商店街の人通りのにぎわい	6.6%	9.1%	-2.5%	53.3%	41.3%	12.0%	A
	21	祭り・イベント等のにぎわい	19.2%	24.8%	-5.6%	46.1%	43.0%	3.1%	A
	22	文化財・史跡・文化施設のにぎわい	12.0%	14.9%	-2.8%	42.5%	38.0%	4.5%	A
	23	スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	10.2%	13.2%	-3.0%	45.2%	13.2%	32.0%	A
	24	キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	5.4%	5.8%	-0.4%	26.9%	31.4%	-4.5%	B
全体平均		30.6%	29.0%	1.6%	56.7%	49.6%	7.1%	C	

にぎわいの項目の満足度が全て下がっています。

③ 今後も取り組みを重点的に維持していく必要があるもの

		満足度	重要度	満足度 重要度	
安全性	1	建築物の不燃化・耐震性の確保	0.13	0.76	Ⅲ
	2	災害対策	-0.08	1.10	Ⅰ
	3	広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.40	0.92	Ⅰ
	4	公共施設のバリアフリー化の状況	0.08	0.63	Ⅲ
	5	道路の幅や避難路の確保	0.00	0.93	Ⅲ
	6	夜間街灯による安全性	-0.41	1.25	Ⅰ
利便性	7	公共交通機関の利用のしやすさ	-0.16	0.89	Ⅰ
	8	学校等への行きやすさ	0.07	0.68	Ⅲ
	9	買い物しやすさ	0.42	0.82	Ⅲ
	10	金融機関への行きやすさ	0.19	0.84	Ⅲ
	11	公民館や集会所への行きやすさ	0.38	0.39	Ⅳ
	12	病院・福祉施設への行きやすさ	0.07	0.86	Ⅲ
快適性	13	身近な公園広場	-0.07	0.44	Ⅱ
	14	身近な住まいのまちなみの美しさ	0.12	0.50	Ⅳ
	15	自然や田園風景	0.41	0.38	Ⅳ
	16	下水道等の整備状況	0.26	0.86	Ⅲ
	17	日当たりなどの周辺環境の良さ	0.72	0.72	Ⅲ
	18	公害の少なさ	0.31	0.97	Ⅲ
にぎわい	19	娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.75	0.37	Ⅱ
	20	商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.76	0.61	Ⅰ
	21	祭り・イベント等のにぎわい	-0.11	0.47	Ⅱ
	22	文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.36	0.44	Ⅱ
	23	スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.44	0.48	Ⅱ
	24	キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	-0.60	0.19	Ⅱ
全体平均		-0.04	0.69	Ⅲ	

赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの





満足度が市域平均よりも若干低い地域（三原西部地域、三原南部地域、大和地域）

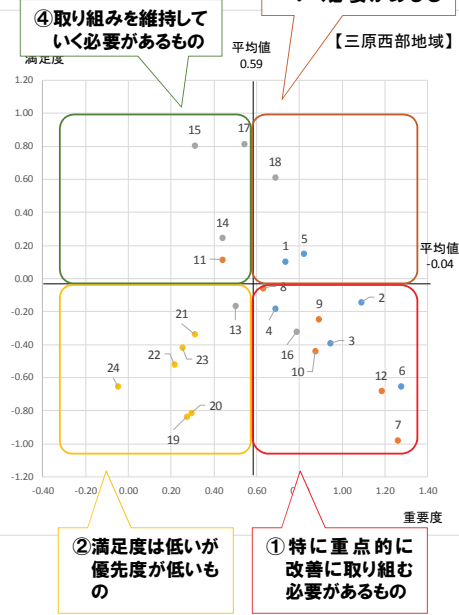
三原西部地域		満足度	満足度 (過年度)	増減	重要度	重要度 (過年度)	増減	増減
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	12.1%	28.6%	-16.5%	57.5%	50.4%	7.1%	A
	2 災害対策	29.3%	26.1%	3.3%	75.4%	63.0%	12.4%	C
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	27.1%	24.4%	2.7%	71.5%	66.4%	5.2%	C
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	23.7%	18.5%	5.2%	56.0%	58.8%	-2.8%	D
	5 道路の幅や避難路の確保	42.1%	39.5%	2.7%	62.5%	63.0%	-0.5%	D
利便性	6 夜間街灯による安全性	21.6%	28.6%	-7.0%	81.1%	28.6%	52.5%	A
	7 公共交通機関の利用のしやすさ	9.6%	18.5%	-8.8%	82.3%	73.1%	9.1%	A
	8 学校等への行きやすさ	28.1%	42.9%	-14.8%	54.0%	56.3%	-2.3%	B
	9 買い物やすさ	29.1%	43.7%	-14.6%	65.6%	56.3%	9.3%	A
	10 金融機関への行きやすさ	20.7%	31.1%	-10.4%	64.0%	52.1%	11.9%	A
快適性	11 公民館や集会所への行きやすさ	31.9%	43.7%	-11.8%	48.4%	44.5%	3.9%	A
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	13.4%	24.4%	-10.9%	79.5%	72.3%	7.3%	A
	13 身近な公園広場	29.3%	36.1%	-6.8%	43.7%	52.1%	-8.5%	B
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	33.3%	37.8%	-4.5%	42.4%	38.7%	3.7%	A
	15 自然や田園風景	63.2%	74.8%	-11.5%	39.8%	37.8%	2.0%	A
にぎわい	16 下水道等の整備状況	23.5%	33.6%	-10.1%	57.9%	60.5%	-2.6%	B
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	68.9%	69.7%	-0.8%	50.0%	42.9%	7.1%	A
	18 公害の少なさ	60.5%	63.9%	-3.4%	56.7%	49.6%	7.1%	A
	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	3.4%	11.8%	-8.3%	37.1%	37.8%	-0.7%	B
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	2.6%	10.9%	-8.3%	37.4%	42.9%	-5.5%	B
21 祭り・イベント等のにぎわい	16.4%	24.4%	-8.0%	37.4%	39.5%	-2.1%	B	
22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	6.1%	15.1%	-9.0%	34.4%	39.5%	-5.1%	B	
23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	13.0%	22.7%	-9.6%	39.0%	22.7%	16.3%	A	
24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	6.2%	12.6%	-6.4%	25.4%	28.6%	-3.2%	B	
全体平均		25.6%	32.6%	-7.0%	54.1%	49.1%	5.1%	A

全体的に満足度が下がっています。特に利便性項目が顕著に現れています。

③ 今後も取り組みを重点的に維持していく必要があるもの

	満足度	重要度	満足度 重要度
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	0.10	0.73
	2 災害対策	-0.15	1.09
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.39	0.94
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	-0.18	0.69
	5 道路の幅や避難路の確保	0.15	0.82
利便性	6 夜間街灯による安全性	-0.66	1.28
	7 公共交通機関の利用のしやすさ	-0.98	1.26
	8 学校等への行きやすさ	-0.06	0.63
	9 買い物やすさ	-0.25	0.89
	10 金融機関への行きやすさ	-0.44	0.87
快適性	11 公民館や集会所への行きやすさ	0.11	0.44
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	-0.68	1.18
	13 身近な公園広場	-0.16	0.50
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	0.25	0.44
	15 自然や田園風景	0.80	0.31
にぎわい	16 下水道等の整備状況	-0.32	0.79
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	0.82	0.54
	18 公害の少なさ	0.61	0.69
	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.84	0.27
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.82	0.29
21 祭り・イベント等のにぎわい	-0.34	0.31	
22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.52	0.21	
23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.42	0.25	
24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	-0.65	-0.05	
全体平均	-0.21	0.64	

赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの



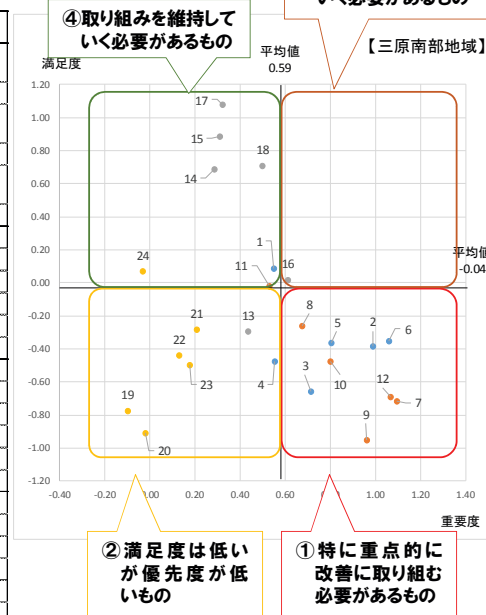
三原南部地域		満足度	満足度 (過年度)	増減	重要度	重要度 (過年度)	増減	増減
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	5.9%	30.5%	-24.6%	49.0%	53.1%	-4.1%	B
	2 災害対策	20.2%	32.8%	-12.6%	70.2%	73.4%	-3.2%	B
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	16.7%	15.6%	1.0%	59.4%	69.5%	-10.1%	D
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	12.9%	13.3%	-0.4%	49.5%	58.6%	-9.1%	B
	5 道路の幅や避難路の確保	26.9%	25.8%	1.1%	61.2%	74.2%	-13.1%	D
利便性	6 夜間街灯による安全性	30.4%	32.0%	-1.6%	77.7%	32.0%	45.6%	A
	7 公共交通機関の利用のしやすさ	20.0%	29.7%	-9.7%	73.8%	73.4%	0.3%	A
	8 学校等への行きやすさ	25.0%	32.0%	-7.0%	57.6%	60.9%	-3.4%	B
	9 買い物やすさ	10.6%	16.4%	-5.8%	70.9%	65.6%	5.2%	A
	10 金融機関への行きやすさ	21.0%	23.4%	-2.5%	61.4%	65.6%	-4.2%	B
快適性	11 公民館や集会所への行きやすさ	32.7%	42.2%	-9.5%	45.1%	48.4%	-3.3%	B
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	15.4%	18.8%	-3.4%	76.2%	76.6%	-0.3%	B
	13 身近な公園広場	21.0%	28.9%	-8.0%	45.6%	49.2%	-3.6%	B
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	58.1%	46.9%	11.2%	38.5%	47.7%	-9.2%	D
	15 自然や田園風景	70.9%	82.8%	-11.9%	41.7%	53.1%	-11.4%	B
にぎわい	16 下水道等の整備状況	36.9%	30.5%	6.4%	51.5%	63.3%	-11.8%	D
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	77.9%	74.2%	3.7%	39.8%	46.9%	-7.1%	D
	18 公害の少なさ	65.4%	59.4%	6.0%	45.2%	49.2%	-4.0%	D
	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	2.9%	6.3%	-3.3%	22.8%	21.9%	0.9%	A
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	2.9%	6.3%	-3.3%	27.0%	34.4%	-7.4%	B
21 祭り・イベント等のにぎわい	12.6%	26.6%	-13.9%	32.7%	34.4%	-1.7%	B	
22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	6.0%	14.1%	-8.1%	27.0%	32.0%	-5.0%	B	
23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	5.1%	8.6%	-3.5%	30.7%	8.6%	22.1%	A	
24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	28.7%	28.9%	-0.2%	24.0%	32.0%	-8.0%	D	
全体平均		26.1%	30.2%	-4.2%	49.1%	51.0%	-1.9%	B

全体的に満足度が下がっています。特に利便性項目が顕著に現れています。

③ 今後も取り組みを重点的に維持していく必要があるもの

	満足度	重要度	満足度 重要度
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	0.09	0.55
	2 災害対策	-0.38	0.99
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.66	0.71
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	-0.48	0.55
	5 道路の幅や避難路の確保	-0.36	0.81
利便性	6 夜間街灯による安全性	-0.35	1.06
	7 公共交通機関の利用のしやすさ	-0.71	1.10
	8 学校等への行きやすさ	-0.26	0.68
	9 買い物やすさ	-0.95	0.96
	10 金融機関への行きやすさ	-0.48	0.80
快適性	11 公民館や集会所への行きやすさ	-0.02	0.53
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	-0.69	1.07
	13 身近な公園広場	-0.30	0.44
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	0.69	0.29
	15 自然や田園風景	0.88	0.31
にぎわい	16 下水道等の整備状況	0.02	0.61
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	1.08	0.32
	18 公害の少なさ	0.71	0.50
	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.77	-0.10
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.91	-0.02
21 祭り・イベント等のにぎわい	-0.28	0.21	
22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.44	0.13	
23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.49	0.18	
24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	0.07	-0.03	
全体平均	-0.21	0.53	

赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの



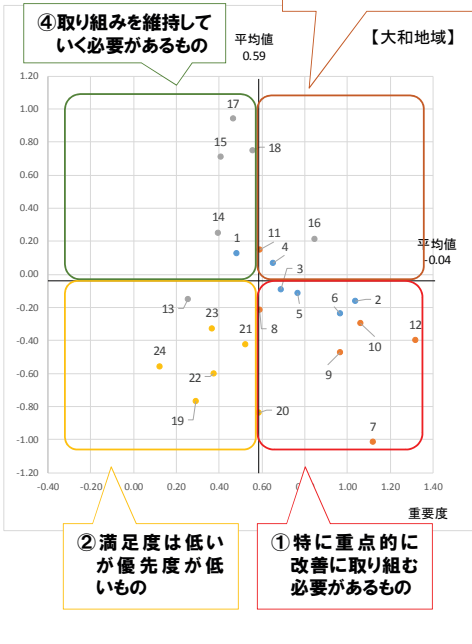


大和地域		満足度	満足度 (過年度)	増減	重要度	重要度 (過年度)	増減	増減
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	13.8%	29.5%	-15.8%	49.4%	59.1%	-9.7%	B
	2 災害対策	32.9%	34.1%	-1.2%	75.9%	64.8%	11.1%	A
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	33.8%	22.7%	11.1%	65.1%	61.4%	3.7%	C
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	38.2%	27.3%	10.9%	62.5%	42.0%	20.5%	C
	5 道路の幅や避難路の確保	37.2%	43.2%	-6.0%	65.1%	62.5%	2.6%	A
	6 夜間街灯による安全性	30.9%	25.0%	5.9%	71.1%	25.0%	46.1%	C
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	11.1%	6.8%	4.3%	77.6%	70.5%	7.2%	C
	8 学校等への行きやすさ	22.8%	27.3%	-4.5%	52.6%	59.1%	-6.5%	B
	9 買い物やすさ	23.8%	22.7%	1.0%	64.6%	62.5%	2.1%	C
	10 金融機関への行きやすさ	30.9%	30.7%	0.2%	76.2%	58.0%	18.2%	C
	11 公民館や集会所への行きやすさ	36.3%	39.8%	-3.5%	54.2%	46.6%	7.6%	A
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	23.8%	25.0%	-1.3%	83.5%	72.7%	10.8%	A
快適性	13 身近な公園広場	26.9%	21.6%	5.3%	34.9%	29.5%	5.4%	C
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	39.2%	38.6%	0.6%	44.4%	40.9%	3.5%	C
	15 自然や田園風景	58.2%	67.0%	-8.8%	50.0%	45.5%	4.5%	A
	16 下水道等の整備状況	38.0%	40.9%	-2.9%	63.9%	54.5%	9.3%	A
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	68.3%	73.9%	-5.6%	51.2%	45.5%	5.7%	A
	18 公害の少なさ	58.8%	62.5%	-3.8%	47.0%	51.1%	-4.1%	B
にぎわい	19 娯楽・アムusement施設のにぎわい	7.8%	5.7%	2.1%	39.0%	31.8%	7.2%	C
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	3.8%	5.7%	-1.9%	51.2%	43.2%	8.0%	A
	21 祭り・イベント等のにぎわい	11.5%	17.0%	-5.5%	50.0%	38.6%	11.4%	A
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	5.0%	9.1%	-4.1%	44.6%	29.5%	15.0%	A
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	13.9%	12.5%	1.4%	39.0%	12.5%	26.5%	C
	24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	3.9%	8.0%	-4.1%	31.7%	27.3%	4.4%	A
全体平均	27.9%	29.0%	-1.1%	56.0%	47.3%	8.8%	A	

全体的に満足度が下がっています。

③ 今後も取り組みを重点的に維持していく必要があるもの

	満足度	重要度	満足度 重要度	
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	0.13	0.48	IV
	2 災害対策	-0.16	1.04	I
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.09	0.69	I
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	0.07	0.65	III
	5 道路の幅や避難路の確保	-0.12	0.77	I
	6 夜間街灯による安全性	-0.23	0.96	I
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	-1.01	1.12	I
	8 学校等への行きやすさ	-0.22	0.59	II
	9 買い物やすさ	-0.48	0.96	I
	10 金融機関への行きやすさ	-0.30	1.06	I
	11 公民館や集会所への行きやすさ	0.15	0.59	III
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	-0.40	1.32	I
快適性	13 身近な公園広場	-0.15	0.25	II
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	0.25	0.40	IV
	15 自然や田園風景	0.71	0.40	IV
	16 下水道等の整備状況	0.22	0.84	III
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	0.94	0.46	IV
	18 公害の少なさ	0.75	0.55	IV
にぎわい	19 娯楽・アムusement施設のにぎわい	-0.77	0.29	II
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.84	0.59	II
	21 祭り・イベント等のにぎわい	-0.42	0.52	II
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.60	0.37	II
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.33	0.37	II
	24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	-0.56	0.12	II
全体平均	-0.14	0.64	I	



赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの





満足度が市域平均よりも低い地域（三原北西地域、三原東部地域、久井）

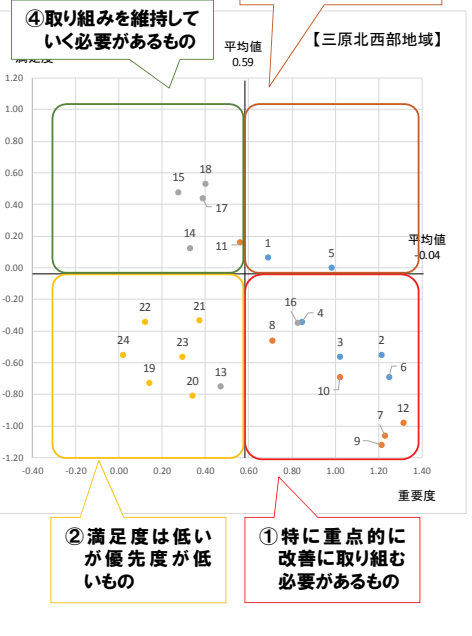
三原北西部地域		満足度	満足度(過年度)	増減	重要度	重要度(過年度)	増減	増減
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	20.8%	16.4%	4.5%	56.9%	47.3%	9.6%	C
	2 災害対策	20.4%	14.5%	5.9%	80.8%	63.6%	17.1%	C
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	20.8%	10.9%	9.9%	69.4%	70.9%	-1.5%	D
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	17.0%	9.1%	7.9%	63.5%	58.2%	5.3%	C
	5 道路の幅や避避路の確保	36.4%	30.9%	5.5%	73.1%	69.1%	4.0%	C
	6 夜間街灯による安全性	30.6%	18.2%	12.4%	80.8%	18.2%	62.6%	C
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	10.4%	14.5%	-4.1%	82.7%	76.4%	6.3%	A
	8 学校等への行きやすさ	22.9%	27.3%	-4.4%	52.9%	52.7%	0.2%	A
	9 買い物のしやすさ	14.3%	10.9%	3.4%	73.1%	69.1%	4.0%	C
	10 金融機関への行きやすさ	22.4%	10.9%	11.5%	68.6%	69.1%	-0.5%	D
快適性	11 公民館や集会所への行きやすさ	36.7%	16.4%	20.4%	50.0%	50.9%	-0.9%	D
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	14.3%	5.5%	8.8%	84.3%	80.0%	4.3%	C
	13 身近な公園広場	20.8%	12.7%	8.1%	51.0%	41.8%	9.2%	C
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	39.6%	38.2%	1.4%	44.2%	40.0%	4.2%	C
	15 自然や田園風景	54.2%	60.0%	-5.8%	47.1%	14.5%	32.5%	A
	16 下水道等の整備状況	21.7%	20.0%	1.7%	62.7%	67.3%	-4.5%	D
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	52.1%	45.5%	6.6%	44.2%	36.4%	7.9%	C
	18 公害の少なさ	59.2%	45.5%	13.7%	44.0%	40.0%	4.0%	C
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	10.4%	3.6%	6.8%	42.0%	25.5%	16.5%	C
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	4.3%	3.6%	0.8%	48.0%	30.9%	17.1%	C
	21 祭り・イベント等のにぎわい	12.5%	12.7%	-0.2%	45.1%	38.2%	6.9%	A
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	12.8%	10.9%	1.9%	34.0%	40.0%	-6.0%	D
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	8.3%	5.5%	2.9%	41.2%	5.5%	35.7%	C
	24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	8.5%	9.1%	-0.6%	32.0%	25.5%	6.5%	A
全体平均	23.8%	18.9%	5.0%	57.1%	47.1%	10.0%	C	

概ねの項目で一定の改善がみられますが満足度は比較的低いままとなっています

③ 今後も取り組みを重点的に維持していく必要があるもの

	満足度	重要度	満足度重要度
1 建築物の不燃化・耐震性の確保	0.06	0.69	Ⅲ
2 災害対策	-0.55	1.21	I
3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.56	1.02	I
4 公共施設のバリアフリー化の状況	-0.34	0.85	I
5 道路の幅や避避路の確保	0.00	0.98	Ⅲ
6 夜間街灯による安全性	-0.69	1.25	I
7 公共交通機関の利用のしやすさ	-1.06	1.23	I
8 学校等への行きやすさ	-0.46	0.71	I
9 買い物のしやすさ	-1.12	1.21	I
10 金融機関への行きやすさ	-0.69	1.02	I
11 公民館や集会所への行きやすさ	0.16	0.56	Ⅳ
12 病院・福祉施設への行きやすさ	-0.98	1.31	I
13 身近な公園広場	-0.75	0.47	Ⅱ
14 身近な住まいのまちなみの美しさ	0.13	0.33	Ⅳ
15 自然や田園風景	0.48	0.27	Ⅳ
16 下水道等の整備状況	-0.35	0.82	I
17 日当たりなどの周辺環境の良さ	0.44	0.38	Ⅳ
18 公害の少なさ	0.53	0.40	Ⅳ
19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.73	0.14	Ⅱ
20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.81	0.34	Ⅱ
21 祭り・イベント等のにぎわい	-0.33	0.37	Ⅱ
22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.34	0.12	Ⅱ
23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.56	0.29	Ⅱ
24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	-0.55	0.02	Ⅱ
全体平均	-0.38	0.67	I

赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの



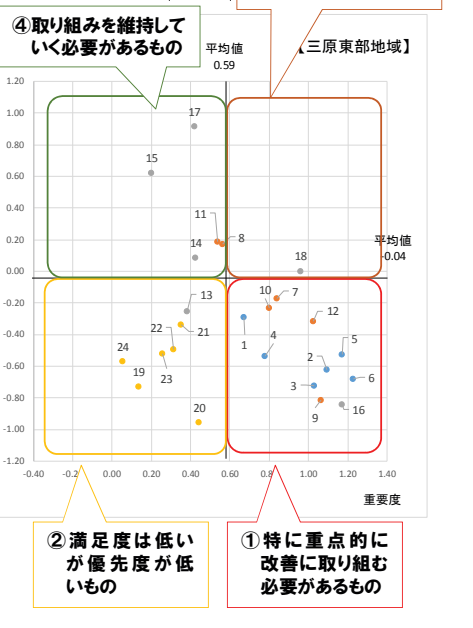
三原東部地域		満足度	満足度(過年度)	増減	重要度	重要度(過年度)	増減	増減
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	1.4%	22.7%	-21.2%	60.0%	64.0%	-4.0%	B
	2 災害対策	16.9%	16.0%	0.9%	75.3%	74.7%	0.7%	C
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	18.8%	14.7%	4.2%	79.5%	84.0%	-4.5%	D
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	16.4%	13.3%	3.1%	60.3%	64.0%	-3.7%	D
	5 道路の幅や避避路の確保	16.4%	13.3%	3.0%	76.3%	77.3%	-1.0%	D
	6 夜間街灯による安全性	21.7%	28.0%	-6.3%	82.7%	28.0%	54.7%	A
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	39.1%	30.7%	8.5%	63.5%	64.0%	-0.5%	D
	8 学校等への行きやすさ	41.5%	46.7%	-5.1%	47.9%	42.7%	5.2%	A
	9 買い物のしやすさ	21.4%	21.3%	0.1%	73.7%	56.0%	17.7%	C
	10 金融機関への行きやすさ	37.1%	28.0%	9.1%	65.8%	62.7%	3.1%	C
快適性	11 公民館や集会所への行きやすさ	40.0%	37.3%	2.7%	53.9%	54.7%	-0.7%	D
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	25.7%	24.0%	1.7%	76.3%	66.7%	9.6%	C
	13 身近な公園広場	35.3%	29.3%	6.0%	39.7%	37.3%	2.4%	C
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	34.3%	26.7%	7.6%	46.7%	53.3%	-6.7%	D
	15 自然や田園風景	59.2%	30.7%	28.5%	33.8%	50.7%	-16.9%	D
	16 下水道等の整備状況	10.0%	10.7%	-0.7%	74.7%	76.0%	-1.3%	B
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	75.7%	61.3%	14.4%	44.6%	56.0%	-11.4%	D
	18 公害の少なさ	44.3%	33.3%	11.0%	66.2%	70.7%	-4.5%	D
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	9.1%	6.7%	2.4%	33.8%	33.3%	0.5%	C
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	7.4%	2.7%	4.7%	51.4%	38.7%	12.7%	C
	21 祭り・イベント等のにぎわい	17.6%	14.7%	2.9%	45.9%	46.7%	-0.7%	D
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	10.4%	6.7%	3.8%	42.5%	38.7%	3.8%	C
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	13.4%	6.7%	6.8%	45.9%	6.7%	39.3%	C
	24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	12.3%	6.7%	5.6%	34.2%	24.0%	10.2%	C
全体平均	26.1%	22.2%	3.9%	57.3%	52.9%	4.3%	C	

概ねの項目で一定の改善がみられますが満足度は比較的低いままとなっています

③ 今後も取り組みを重点的に維持していく必要があるもの

	満足度	重要度	満足度重要度
1 建築物の不燃化・耐震性の確保	-0.29	0.67	I
2 災害対策	-0.62	1.10	I
3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.72	1.03	I
4 公共施設のバリアフリー化の状況	-0.54	0.78	I
5 道路の幅や避避路の確保	-0.53	1.17	I
6 夜間街灯による安全性	-0.68	1.23	I
7 公共交通機関の利用のしやすさ	-0.17	0.84	I
8 学校等への行きやすさ	0.17	0.56	Ⅳ
9 買い物のしやすさ	-0.81	1.07	I
10 金融機関への行きやすさ	-0.23	0.80	I
11 公民館や集会所への行きやすさ	0.19	0.54	Ⅳ
12 病院・福祉施設への行きやすさ	-0.31	1.03	I
13 身近な公園広場	-0.25	0.38	Ⅱ
14 身近な住まいのまちなみの美しさ	0.09	0.43	Ⅳ
15 自然や田園風景	0.62	0.20	Ⅳ
16 下水道等の整備状況	-0.84	1.17	I
17 日当たりなどの周辺環境の良さ	0.91	0.42	Ⅳ
18 公害の少なさ	0.00	0.96	Ⅲ
19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.73	0.14	Ⅱ
20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.96	0.44	Ⅱ
21 祭り・イベント等のにぎわい	-0.34	0.35	Ⅱ
22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.49	0.32	Ⅱ
23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.52	0.26	Ⅱ
24 キャンプ場・海水浴場などのにぎわい	-0.57	0.05	Ⅱ
全体平均	-0.32	0.66	I

赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの



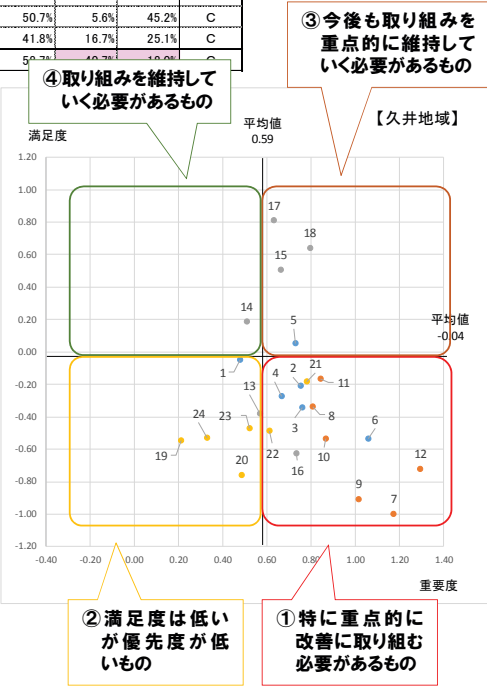


久井地域		満足度	満足度 (過年度)	増減	重要度	重要度 (過年度)	増減	増減
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	9.5%	20.8%	-11.3%	52.2%	36.1%	16.1%	A
	2 災害対策	24.2%	18.1%	6.2%	65.2%	50.0%	15.2%	C
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	20.9%	20.8%	0.1%	64.2%	54.2%	10.0%	C
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	24.2%	16.7%	7.6%	57.6%	58.3%	-0.8%	D
	5 道路の幅や避難路の確保	38.3%	43.1%	-4.7%	65.2%	61.1%	4.0%	A
	6 夜間街灯による安全性	28.4%	25.0%	3.4%	72.9%	25.0%	47.9%	C
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	16.4%	13.9%	2.5%	80.0%	58.3%	21.7%	C
	8 学校等への行きやすさ	27.7%	25.0%	2.7%	58.2%	50.0%	8.2%	C
	9 買い物のしやすさ	17.9%	19.4%	-1.5%	69.6%	58.3%	11.2%	A
	10 金融機関への行きやすさ	25.4%	22.2%	3.2%	62.7%	59.7%	3.0%	C
	11 公民館や集会所への行きやすさ	27.7%	33.3%	-5.6%	58.0%	45.8%	12.1%	A
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	20.0%	19.4%	0.6%	83.8%	68.1%	15.8%	C
快適性	13 身近な公園広場	23.8%	13.9%	9.9%	49.3%	29.2%	20.1%	C
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	33.8%	26.4%	7.5%	44.8%	31.9%	12.8%	C
	15 自然や田園風景	44.6%	50.0%	-5.4%	54.4%	23.6%	30.8%	A
	16 下水道等の整備状況	15.6%	15.3%	0.3%	62.5%	59.7%	2.8%	C
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	65.1%	56.9%	8.1%	57.4%	38.9%	18.5%	C
	18 公害の少なさ	59.4%	58.3%	1.0%	64.7%	41.7%	23.0%	C
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	10.9%	8.3%	2.6%	34.8%	22.2%	12.6%	C
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	9.1%	6.9%	2.1%	48.5%	33.3%	15.2%	C
	21 祭り・イベント等のにぎわい	23.1%	18.1%	5.0%	58.8%	22.2%	36.6%	C
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	12.1%	9.7%	2.4%	52.2%	26.4%	25.8%	C
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	12.5%	5.6%	6.9%	50.7%	5.6%	45.2%	C
	24 キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	12.9%	4.2%	8.7%	41.8%	16.7%	25.1%	C
全体平均	25.2%	23.0%	2.2%	57.7%	49.7%	8.0%		

概ねの項目で一定の改善がみられますが満足度は比較的低いままとなっています

	満足度	重要度	満足度 重要度	
安全性	1 建築物の不燃化・耐震性の確保	-0.05	0.48	II
	2 災害対策	-0.21	0.75	I
	3 広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.34	0.76	I
	4 公共施設のバリアフリー化の状況	-0.27	0.67	I
	5 道路の幅や避難路の確保	0.05	0.73	III
	6 夜間街灯による安全性	-0.54	1.06	I
利便性	7 公共交通機関の利用のしやすさ	-1.00	1.17	I
	8 学校等への行きやすさ	-0.34	0.81	I
	9 買い物のしやすさ	-0.91	1.01	I
	10 金融機関への行きやすさ	-0.54	0.87	I
	11 公民館や集会所への行きやすさ	-0.17	0.84	I
	12 病院・福祉施設への行きやすさ	-0.72	1.29	I
快適性	13 身近な公園広場	-0.38	0.57	II
	14 身近な住まいのまちなみの美しさ	0.18	0.51	IV
	15 自然や田園風景	0.51	0.66	III
	16 下水道等の整備状況	-0.63	0.73	I
	17 日当たりなどの周辺環境の良さ	0.81	0.63	III
	18 公害の少なさ	0.64	0.79	III
にぎわい	19 娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.55	0.21	II
	20 商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.76	0.49	II
	21 祭り・イベント等のにぎわい	-0.18	0.78	I
	22 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.48	0.61	I
	23 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.47	0.52	II
	24 キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	-0.53	0.33	II
全体平均	-0.29	0.72	I	

赤色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの





## ■市民説明会

○市民説明会の実施状況（都市計画マスタープラン及び立地適正化計画）

（１）開催日時等

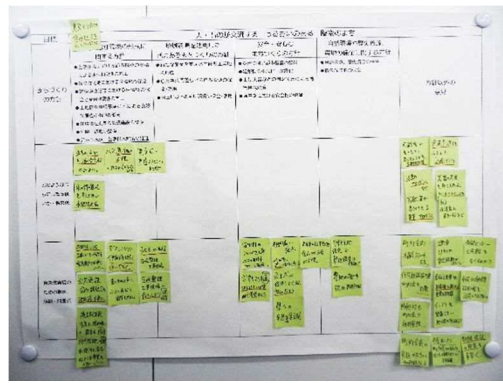
開催日時	5月22日 (月) 18:30~ 20:25	5月23日 (火) 18:30~ 20:20	5月25日 (木) 18:30~ 19:50	5月26日 (金) 18:30~ 20:15	5月29日 (月) 18:30~ 20:40
対象地域	三原中央地域	三原南部地域	久井地域	大和地域	本郷地域
会場	中央公民館	中央公民館	久井保健福祉センター	神田公民館	本郷生涯学習センター
参加者数	18人	14人	5人	24人	40人

（２）説明会次第

ア) 内容説明

- ・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について
- ・都市計画マスタープラン地域別構想（素案）について

イ) まちづくりに関する意見交換



市民説明会における意見及び対応方針（立地適正化計画分）

【三原中央地域】

番号	意見内容	対応方針
1	誘導施策が重要である（誘導区域内の税金の引き下げなど）。	意見を踏まえ「6-2事業方策の検討」において「良好な住環境の形成」「災害の発生の恐れがある土地における土地利用規制」「空き家等活用事業」などの具体的な誘導施策を位置付けています。
2	若者の集う娯楽施設の誘致などは行わないのか。	意見を踏まえ「5-3誘導施設の設定」において三原地域の誘導施設として、中心市街地の活性化に資する高次都市機能である大規模商業施設とこれに併設される映画館、多目的活動ホール、また図書館及び賑わいにつながる民間施設との複合施設を位置付けています。

【三原南部地域】

番号	意見内容	対応方針
3	居住誘導区域外への対応はどうなるのか？現在の居住地に住み続けるにはどうすればよい？	意見を踏まえ「3-4立地適正化計画区域外の地域への対応」において、都市計画区域外の地域や居住誘導区域を設定できない市街化調整区域等の地域では（地域の）維持・存続に向けて地域住民と行政が一体となって取り組んでいくことを定めています。

【本郷地域】

番号	意見内容	対応方針
4	居住の誘導は財産に関わる重要な問題である。今後インフラを整備しない地域も生まれるのではないのか。市民が納得する区域設定をお願いしたい。	居住誘導区域外においても必要な行政サービスは継続していきます。「3-4立地適正化計画区域外の地域への対応」において、都市計画区域外の地域や居住誘導区域を設定できない市街化調整区域等の地域では（地域の）維持・存続に向けて地域住民と行政が一体となって取り組んでいくことを定めています。
5	公共施設の集約統廃合は拠点が減少し、不便になるのではないのか。また、保健センター、公民館は廃止されるのか。	本市では、将来の世代に過大な負担を残さない公共施設等の最適な配置を実現することを目的に公共施設等総合管理計画を策定しています。「6-3公的不動産（PRE）の活用方針」でも本計画で示す将来のまちのあり方を見据えた公共施設等の再配置を進めていく方針を示しており、引き続き市民の理解が得られるよう努力します。
6	居住誘導区域設定基準の「災害リスク」について沼田川の水害リスクも考慮すべきではないか。また、沼田川の維持管理（竹林伐採や浚渫工事など）や、崩壊寸前の空き家への対策をお願いしたい。	浸水想定区域は一定量の降雨により、指定の河川が氾濫した場合等に、市街地が浸水することを想定したシミュレーションであり、事前対策（避難勧告・命令等）が可能なリスクであることから、居住誘導区域に含めることとしました。また、意見を踏まえ「6-2事業方策の検討」において、地域防災力の向上に向けた取り組み、災害を防止又は軽減する施設整備の推進及び危険な空き家の解体・撤去を方針として示しています。

【久井地域】

番号	意見内容	対応方針
7	「コンパクトシティ」の概念には賛成する。施設・設備の集約化が必要である。	本市では、将来の世代に過大な負担を残さない公共施設等の最適な配置を実現することを目的に公共施設等総合管理計画を策定しています。「6-3公的不動産（PRE）の活用方針」でも本計画で示す将来のまちのあり方を見据えた公共施設等の再配置を進めていく方針を示しています。
8	公共交通を充実させ住みやすい環境をつくる必要がある。またあわせて公共交通に替わるサービスも検討していく必要がある。	「6-2事業方策の検討、3. まちづくりと連携した公共交通ネットワークの形成に関する施策」に合致する意見です。また、三原市地域公共交通網形成計画では「①機能集約されたコンパクトなまちづくりを支える地域公共交通の維持・活性化を図る」「②人口減少・高齢化社会において市民生活を支える地域公共交通手段を確保する」「③地域公共交通を守る市民意識の醸成と利用環境整備を推進する」こととしています。

【大和地域】

番号	意見内容	対応方針
9	地域生活拠点 コンパクトシティ⇒集落切捨てか？	意見を踏まえ「3-4立地適正化計画区域外の地域への対応」において、都市計画区域外の地域や居住誘導区域を設定できない市街化調整区域等の地域では（地域の）維持・存続に向けて地域住民と行政が一体となって取り組んでいくこととしています。
10	商店、銀行、病院、理美容店、楽しめる施設等ここがあれば生活に必要な機能がそろえるような拠点を形成する必要がある。	「3-2集約型の都市構造に向けて」に合致する意見であります。
11	三原市の中心部との道路ネットワークを強化する必要がある。（通勤しやすくする）	「3-2集約型の都市構造に向けて」に合致する意見であります。
12	公共交通を充実させ住みやすい環境をつくる必要がある	「6-2事業方策の検討、3. まちづくりと連携した公共交通ネットワークの形成に関する施策」に合致する意見です。また、三原市地域公共交通網形成計画では「①機能集約されたコンパクトなまちづくりを支える地域公共交通の維持・活性化を図る」「②人口減少・高齢化社会において市民生活を支える地域公共交通手段を確保する」「③地域公共交通を守る市民意識の醸成と利用環境整備を推進する」こととしています。

## ■パブリックコメントの実施結果

意見募集期間	平成 29 年 10 月 2 日（月）～10 月 20 日（金）	
計画公表場所	1 都市開発課（円一町庁舎 3 階） 2 各市所の地域振興課 3 情報公開コーナー 4 市ホームページ	
公表内容	1 【本編】三原市立地適正化計画（案） 2 【資料編】三原市立地適正化計画（案） 3 【概要版】三原市立地適正化計画 4 計画の体系	} 資料添付
意見書の提出件数	意見なし	
提出方法		
意見の内容		





## 資料② 居住誘導区域



参考 日常生活サービス施設（医療施設，商業施設，金融施設）及び鉄道駅から800m圏域又はバス停から300m圏域（三原）

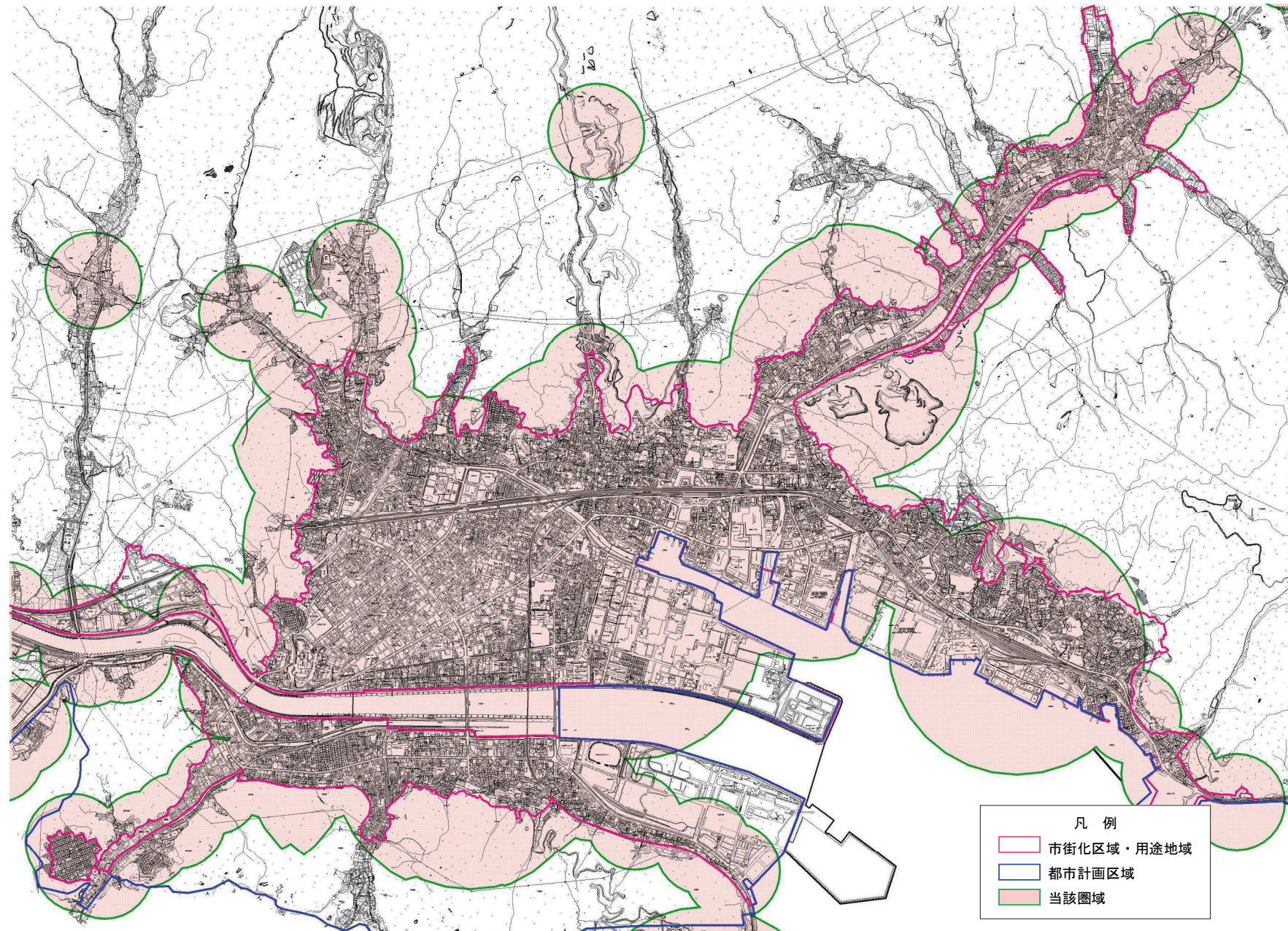


図 日常生活サービス施設（医療施設，商業施設，金融施設）及び鉄道駅から800m圏域又はバス停から300m圏域（三原地域）



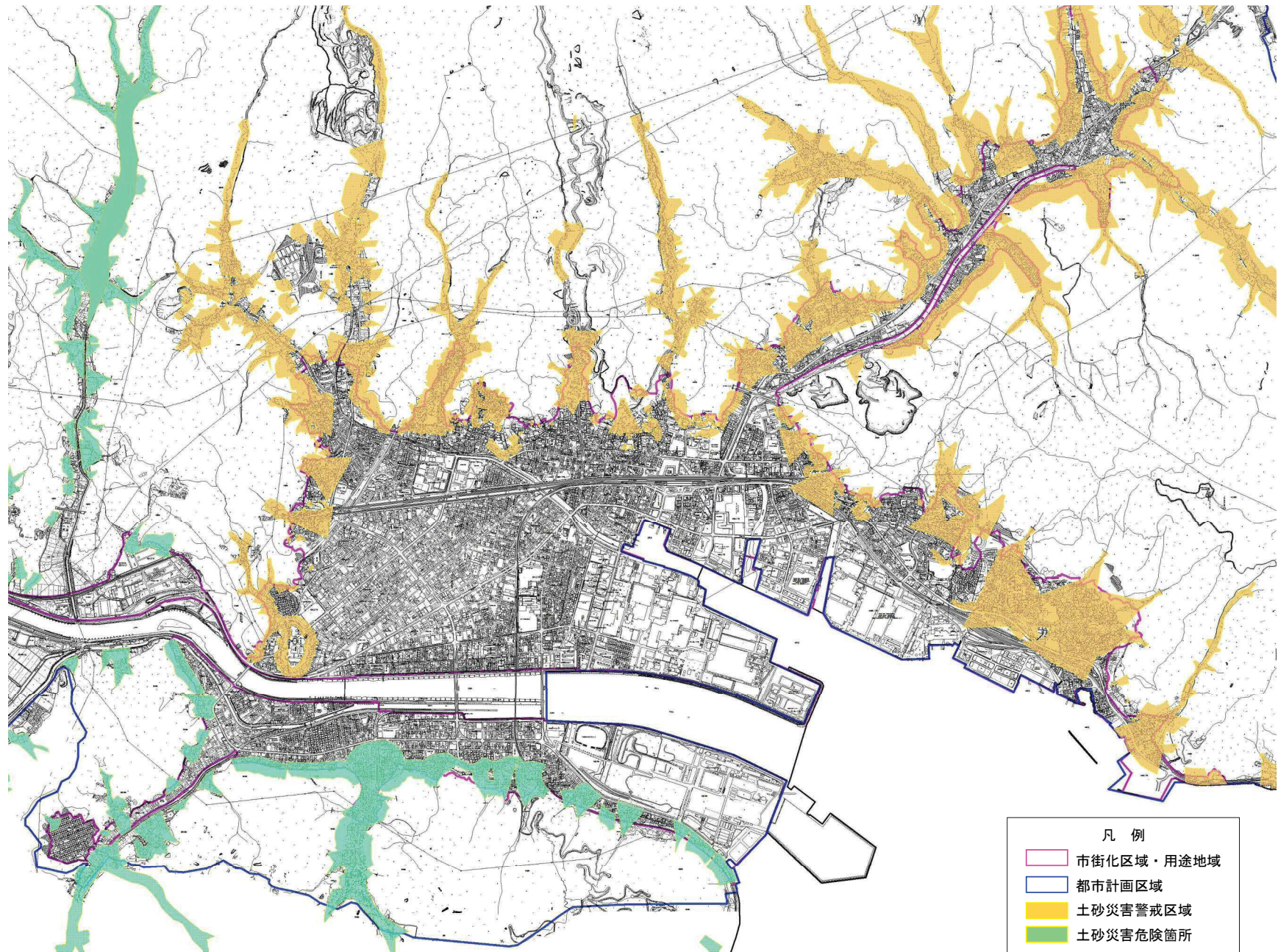


図 災害の危険のあるエリア 土砂災害警戒区域・土砂災害危険箇所（三原地域）



参考 災害の危険のあるエリア 浸水想定区域（三原）

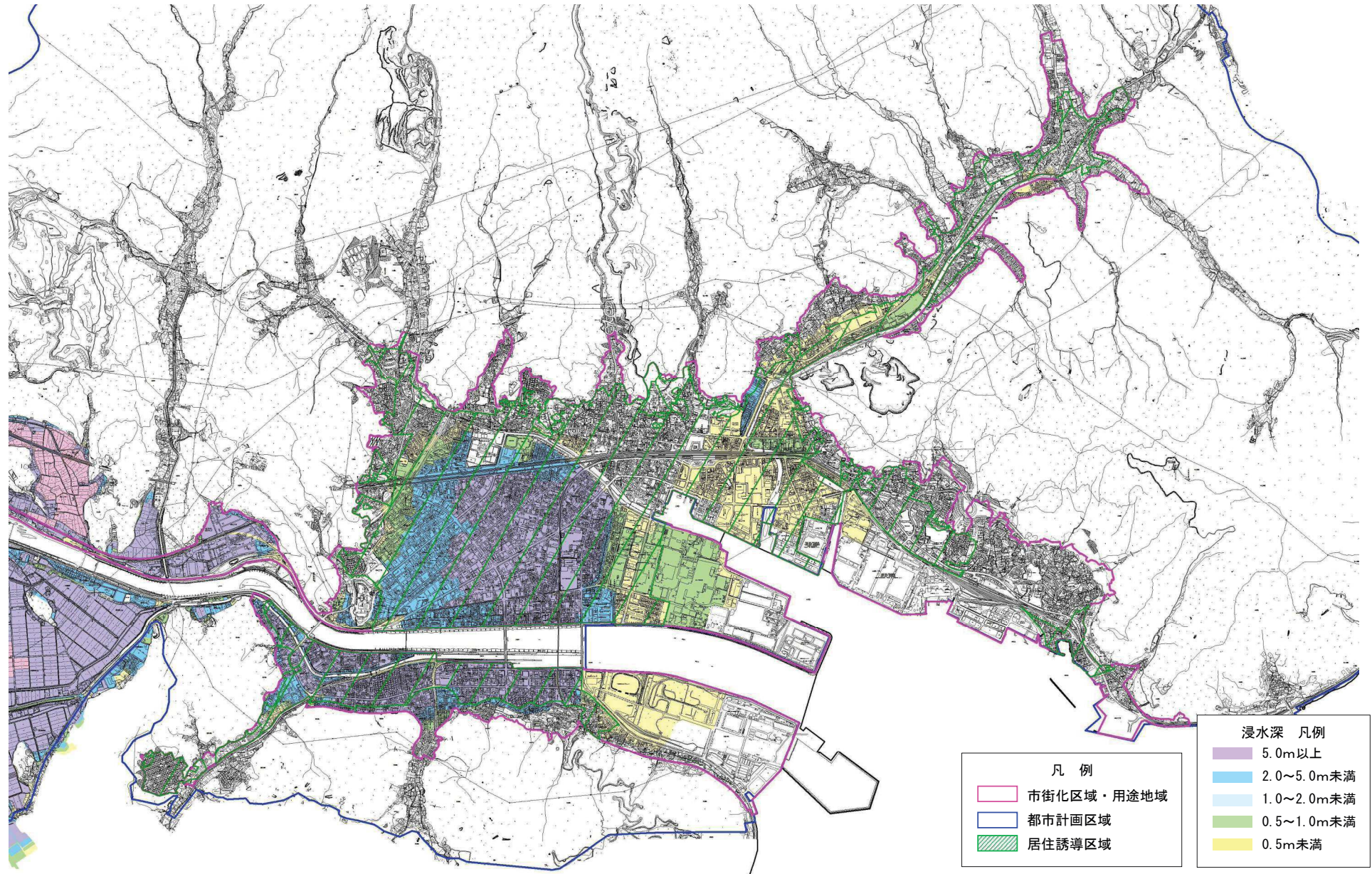


図 災害の危険のあるエリア 浸水想定区域（三原地域）





参考 日常生活サービス施設（医療施設，商業施設，金融施設）及び鉄道駅から800m圏域又はバス停から300m圏域（本郷）

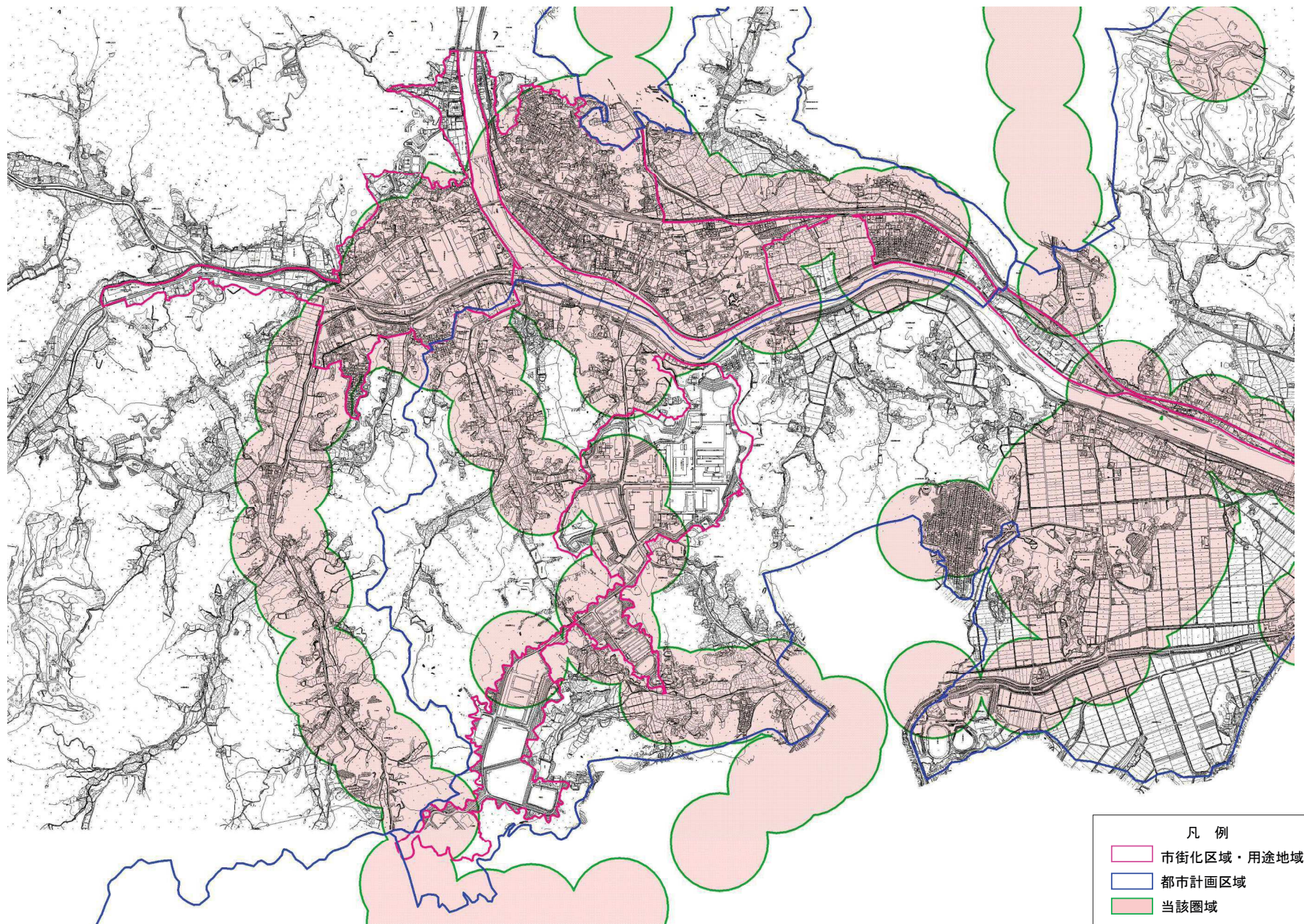


図 日常生活サービス施設（医療施設，商業施設，金融施設）及び鉄道駅から800m圏域又はバス停から300m圏域（本郷地域）



参考 災害の危険のあるエリア 土砂災害危険箇所（本郷）

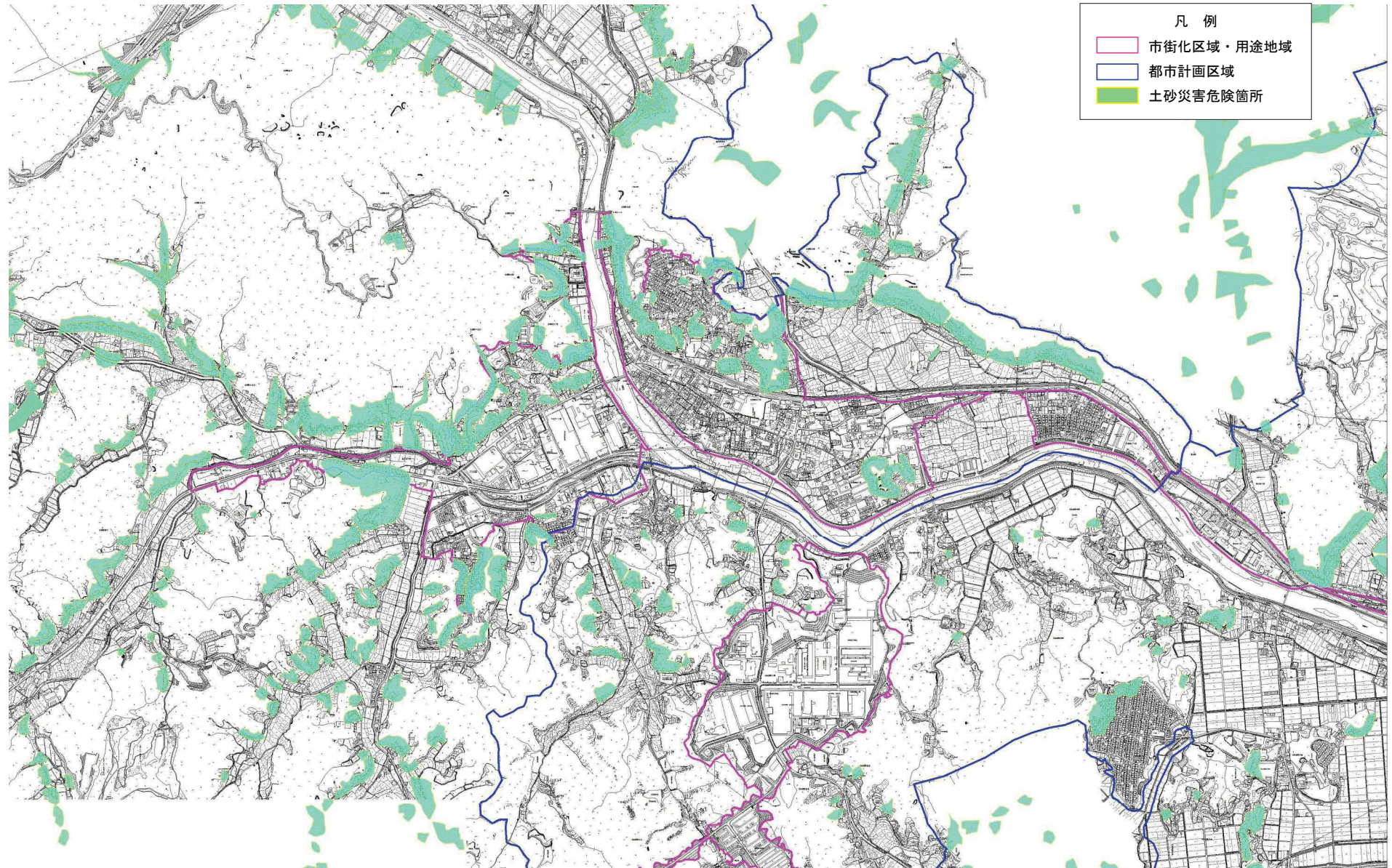


図 災害の危険のあるエリア 土砂災害危険箇所（本郷地域）



## 参考 災害の危険のあるエリア 浸水想定区域（本郷）

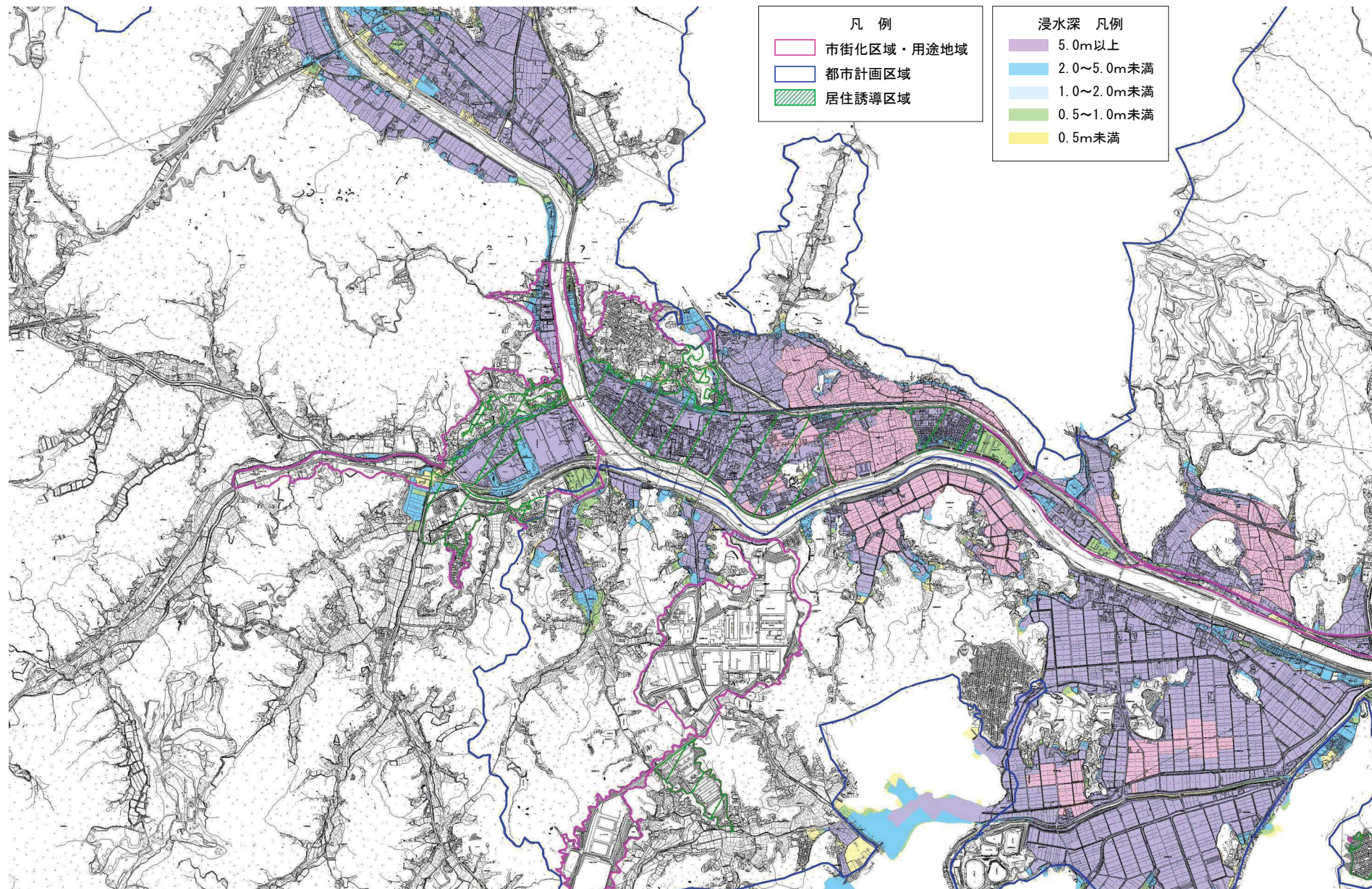


図 災害の危険のあるエリア 浸水想定区域（本郷地域）



## 資料③ 都市機能誘導区域と誘導施設





# 1. 三原地域都市機能誘導区域

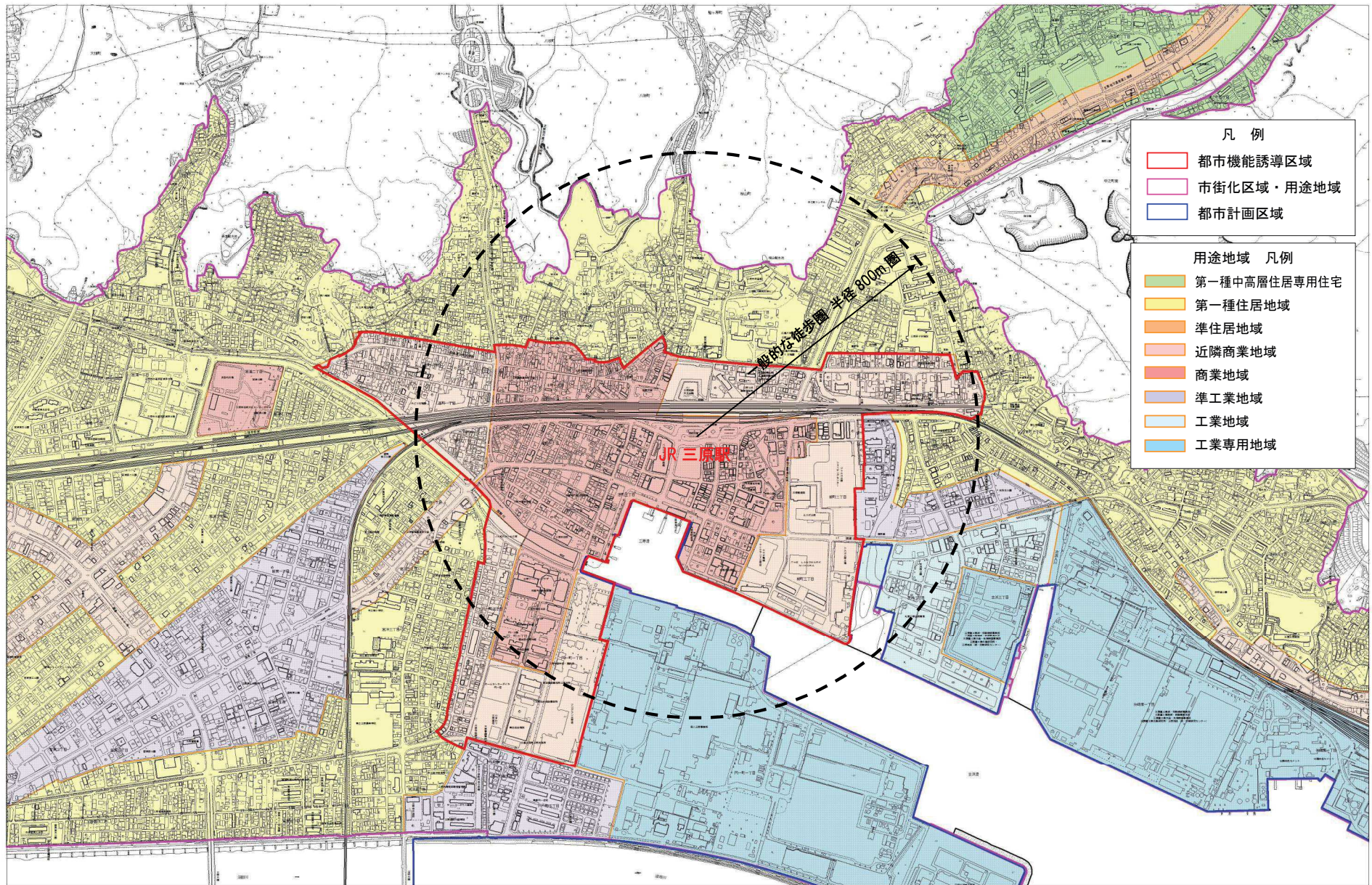


図 都市機能誘導区域（三原地域）



## 2. 本郷地域都市機能誘導区域

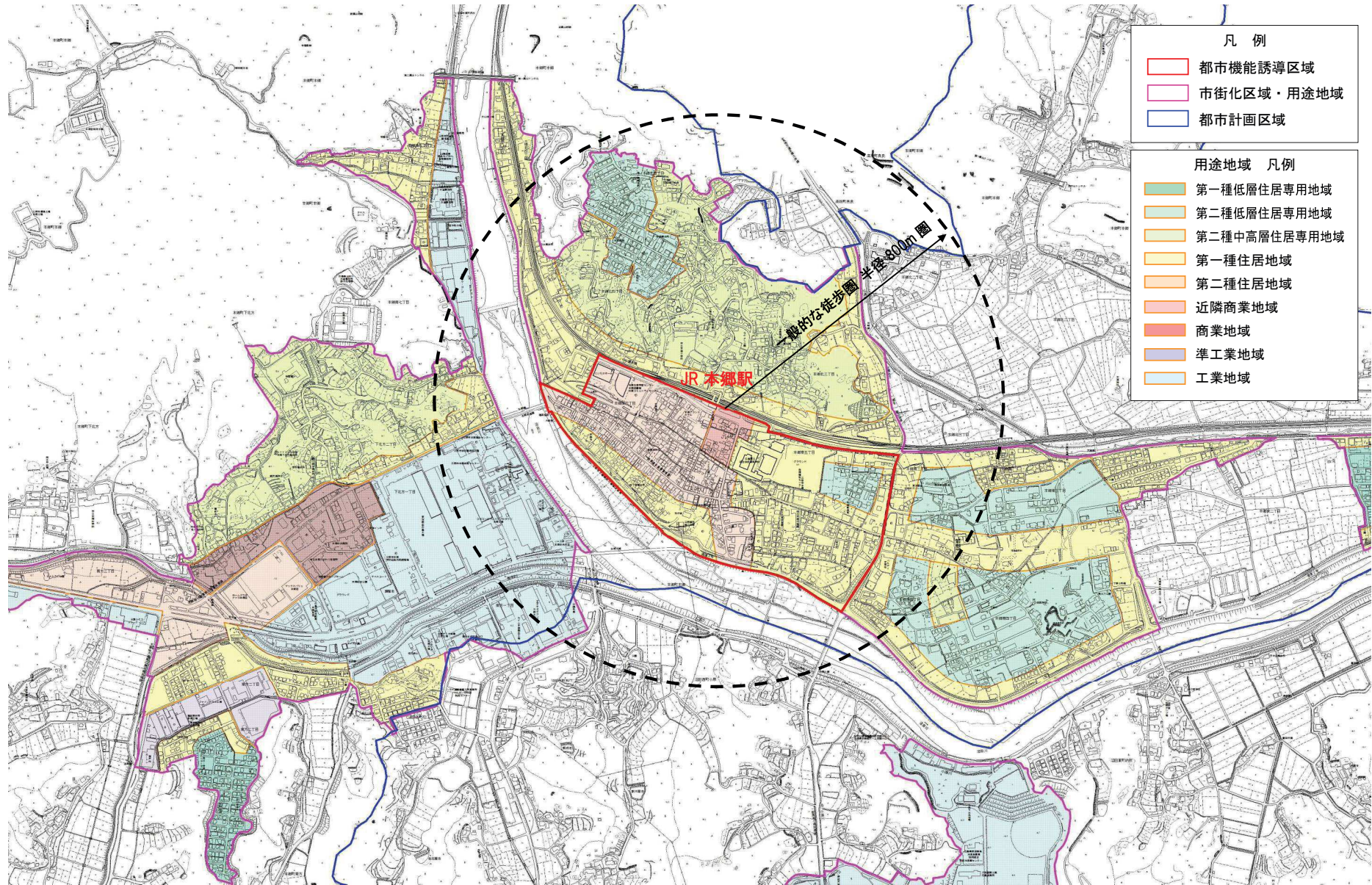


図 都市機能誘導区域（本郷地域）



## 参考 都市機能誘導区域の選定

### (1) 都市機能誘導区域の中心となる主要な交通施設の選定

都市生活拠点の選定により抽出した箇所のうち、拠点内のバス停及び駅から、半径 800m 圏内の日常生活サービス等の施設を集計するとともに、市内外からの利用が見込まれる高次な都市機能や集客の拠点となる公共施設（ホール機能を有する施設、図書館）の集積状況により、都市機能誘導区域の中心となる交通施設を選定する。

抽出基準		数値基準
1) 施設の重み付け評価 ・抽出したメッシュ内にあるバス停及び駅毎に、施設の集積状況を評価		都市生活拠点の中心に位置付けるバス停又は駅から、半径 800m 圏内にある日常生活サービス施設等を集計し、施設に応じて点数を付与して集積状況を評価 ○「②三原市街地」はバス停、「⑧本郷」は本郷駅を中心として設定 (評価点数) ・医療施設 病院 3 点, 診療所・歯科診療所 1 点 ・商業施設 10,000 m <sup>2</sup> 以上 5 点, 1,000 m <sup>2</sup> 以上 3 点, 1,000 m <sup>2</sup> 未満 1 点 ・金融機関 1 点 ・公共施設 市役所・支所 3 点, 保健福祉センター3 点
2) 高次都市機能の集積状況 ・高次都市機能については、市内外からの利用が想定される高度医療施設、大規模集客施設 ・集客拠点となるホール機能を有する施設、図書館		都市生活拠点の中心に位置付けるバス停又は駅から、半径 800m 圏内にある高度医療施設、大規模集客施設、集客の拠点となる公共施設の数を集計 ○高度医療施設 「広島県保健医療計画 地域計画 尾三二次保健医療圏(H25.3 月)」における二次救急医療機関 [二次救急医療機関] 興生総合病院, 三原城町病院, 三原赤十字病院, 三原市医師会病院, 本郷中央病院, 山田記念病院 ○大規模集客施設(床面積 10,000 m <sup>2</sup> を超える集客施設) [大規模集客施設] イオン三原店, フジグラン三原店 ○集客の施設 ・ホール機能を有する施設 リージョンプラザ, ポポロ, 本郷生涯学習センター ・図書館
(参考)	医療・商業施設, 金融機関の数	医療施設, 商業施設, 金融機関の数を集計
	その他の施設の数	その他の施設の数を集計 福祉施設, 公共施設, 幼稚園・学校, 調剤薬局
	人口・人口密度	サービス水準の高いバス停から半径 800m 圏内に含まれるメッシュの人口, 人口密度



都市生活拠点の細分 「②三原市街地」内の選定を行うバス停

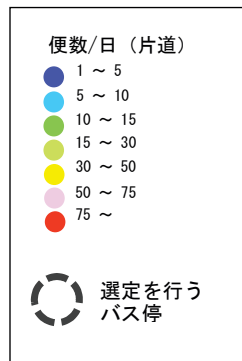






表 都市機能誘導区域の中心となる交通施設の選定（拠点候補の施設の集積状況）

番号	バス停名称	H22						H52						公共交通						主要施設 重み付け 点数										主要施設 施設数										主要施設 施設数内訳										順位					高次都市機能				
		人口密度		人口	人口比率	人口密度		人口	人口比率	バス			JR			有無	医療施設	診療所	商業施設			金融施設	役所	保健福祉センター	合計	主要施設 施設数					主要施設 施設数内訳					主要施設			参考	高次都市機能	大規模商業	商業	合計																
		人/ha	人	99,757	人/ha	人	72,176	片道30本以上/日	階段/バス停との距離	バス停名	有無	便数/日(上下)	10,000㎡	大型店	コンビニ				医療	商業	金融					役所	保健福祉センター	合計	医療	商業	金融	役所	保健福祉センター	合計	コンビニ	10,000㎡	大型店	診療所						病院	合計	重み付け(点数)	無し(施設数)	その他施設	H52人口	高次都市機能	大規模商業	商業	合計						
		H22		H52		公共交通			主要施設 重み付け 点数										主要施設 施設数										主要施設 施設数内訳										順位					高次都市機能															
1	大橋	44.5	10,016	10.0%	27.8	6,251	8.7%	34便	800m	瀧宮神社前			3	9	32	5	9	0	10	3	3	71	51	5	10	1	1	68	0	1	4	32	3	40	7	7	7	3	2	1	0	3																	
2	臥竜橋	46.6	10,477	10.5%	31.6	7,113	9.9%	41便	800m	宮沖五丁目			3	6	36	5	9	1	12	3	3	75	58	6	12	1	1	78	1	1	4	36	2	44	6	3	4	1	1	1	2	4																	
3	帝人通	44.5	10,016	10.0%	27.8	6,251	8.7%	75便	500m	西港町			3	6	36	5	9	1	13	3	3	76	57	6	13	1	1	78	1	1	4	36	2	44	5	3	1	3	1	1	2	4																	
4	西港町	41.7	9,391	9.4%	28.2	6,353	8.8%	46.5便	500m	帝人通			3	0	31	0	12	1	10	3	3	60	45	5	10	1	1	62	1	0	4	31	0	36	8	8	8	2	0	0	3	3																	
5	三原駅(西口)	44.5	10,016	10.0%	27.8	6,251	8.7%	51便	350m	三原小前	有	128便	3	9	38	5	12	1	11	3	3	82	60	7	11	1	1	80	1	1	5	38	3	48	2	2	2	3	2	1	2	5																	
6	三原駅前	44.5	10,016	10.0%	27.8	6,251	8.7%	118便	500m	城町	有	128便	3	9	36	5	12	1	12	3	3	81	57	7	12	1	1	78	1	1	5	36	3	46	3	3	3	3	2	1	2	5																	
7	三原棧橋	39.0	8,776	8.8%	26.6	5,979	8.3%	36便	600m	臥竜橋			3	9	43	10	12	1	13	3	3	94	65	9	13	1	1	89	1	2	6	43	3	55	1	1	5	8	2	2	2	6																	
8	三原小前	44.5	10,016	10.0%	27.8	6,251	8.7%	34便	350m	三原駅(西口)			3	9	35	5	12	1	9	3	3	77	56	7	9	1	1	74	1	1	5	35	3	45	4	6	6	3	2	1	0	3																	
9	糸崎駅前	17.9	4,026	4.0%	8.24	1,854	2.6%				有	121便	2	3	3	0	0	0	2	0	0	8	8	0	2	0	0	10	0	0	0	3	1	4	0	10	10	10	0	0	0	0																	
10	本郷駅前	15.3	3,433	3.4%	9.6	2,160	3.0%				有	68便	3	0	5	0	0	1	3	3	3	15	7	1	3	1	1	13	1	0	0	5	0	6	0	9	9	9	0	0	2	2																	



### 3. 主な都市機能の施設数

表 主な都市機能の施設数

			市内全域				
			三原地域 居住誘導区域			本郷地域 居住誘導区域	
				都市機能 誘導区域			都市機能 誘導区域
商業施設	大規模 商業施設	店舗面積 10,000 m <sup>2</sup> 超		2	2		2
		同 1,000-10,000 m <sup>2</sup>	12	10	6	2	0
	スーパー（同 1,000 m <sup>2</sup> 未満）		13	7	1	2	0
	コンビニエンスストア		41	20	4	3	0
医療施設	病院		13	8	3	1	0
	診療所		106	76	34	6	5
	調剤薬局		57	39	16	3	2
金融機関	銀行・郵便局		48	21	8	2	2
	農協・信用金庫・信用組合等		16	11	3	1	1
	キャッシュサービス（大規模商業+コンビニ）		55	32	12	5	0
公共施設	市役所（本庁）		1	1	1	0	0
	支所・住民窓口		4	0	0	1	1
	保健福祉センター		4	1	1	1	1
	国・県の機関		17	6	3	0	0
社会福祉施設	障害者福祉施設		9	5	3	1	1
	老人福祉施設		435	220	74	20	0
	高齢者相談センター（地域包括支援センター）		8	2	1	0	0
	児童福祉施設		2	2	1	0	0
子育て支援施設	保育所（園）		16	7	3	2	1
	放課後児童クラブ		27	6	3	1	1
	認定こども園		5	0	0	1	0
	地域子育て支援センター		12	6	3	1	0
	幼稚園（市立）		14	2	0	1	1
教育・文化施設	小学校・中学校		32	5	0	0	0
	高等学校（中高一貫校含む）		5	2	1	1	1
	大学		1	0	0	0	0
	各種学校		3	2	0	0	0
	図書館		5	1	1	2	2
	ホール機能を有する施設		5	1	1	1	1

※別表参照

別表 各施設の調査出典

施設	出典
大型店舗	全国大型小売店総覧 2014
スーパーマーケット	iタウンページ
コンビニ	iタウンページ
病院, 診療所, 薬局	三原市調査資料
銀行, 郵便局	iタウンページ
信用金庫, 信用組合, 労働金庫	iタウンページ
J Aバンク	J AバンクHP
社会福祉施設	介護保険福祉・保健サービス利用のてびき 2014年版
市役所(本庁), 支所・住民窓口, 保健福祉センター	三原市HP
国・県の機関	iタウンページ
地域センター	三原福祉協議会HP
障がい者福祉施設	三原福祉協議会HP
高齢者福祉施設	三原福祉協議会HP
高齢者相談センター(地域包括支援センター)	三原市HP
児童福祉施設	三原市HP
地域子育て支援センター	三原市HP
保育園	三原市HP
放課後児童クラブ	三原市HP
認定こども園	三原市HP
幼稚園	三原市HP
専門学校	iタウンページ
小中学校	三原市HP
高等学校	三原市HP・iタウンページ
大学・専門学校	三原市HP・iタウンページ
図書館	三原市HP
博物館	三原市HP
ホール	三原市HP・iタウンページ

## 資料④ 事業効果の評価指標の設定



# 1. 目標値の設定

## ○ 居住誘導に関する目標値の算出方法

### □ 三原市の人口と施設数の関係

#### 【商業施設】

- ・中国地方の自治体の人口と 1,000 m<sup>2</sup>以上の商業施設の関係は以下の図に示すような人口との正の相関関係にあります。これによると三原市は人口に対する商業施設の施設数は少ない状況です。
- ・平成 42 年の社人研の推計では人口が約 8.2 万人に減少すると予測されており、この相関関係に近づくとすると、1,000 m<sup>2</sup>以上の商業施設は維持される可能性があります。

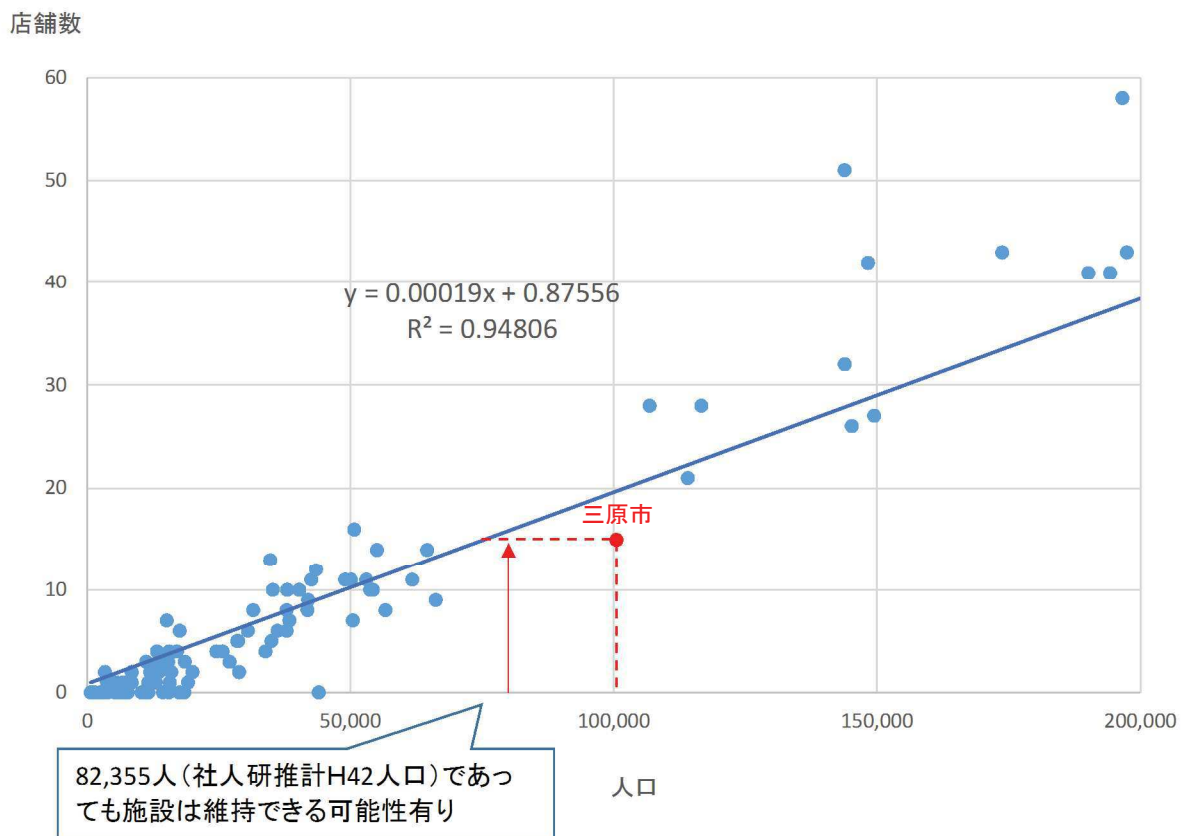


図 中国地方の自治体人口と 1,000 m<sup>2</sup>以上の商業施設数の関係

※自治体の人口は平成 22 (2010) 年国勢調査, 商業施設は 2014 年全国大型小売店総覧

### 【医療施設】

- ・中国地方の自治体の人口と医療施設（病院，診療所）の関係は以下の図に示すような人口との正の相関関係にあります。これによると三原市は人口に対する医療施設の施設数は少ない状況です。
- ・平成 42 年の社人研の推計では人口が約 8.2 万人に減少すると予測されており，この相関関係から医療施設が現状より 10 施設程度無くなる可能性があります。
- ・社人研推計値よりも人口を 8%増加させることができれば現状の医療施設の数を維持できる可能性があります。

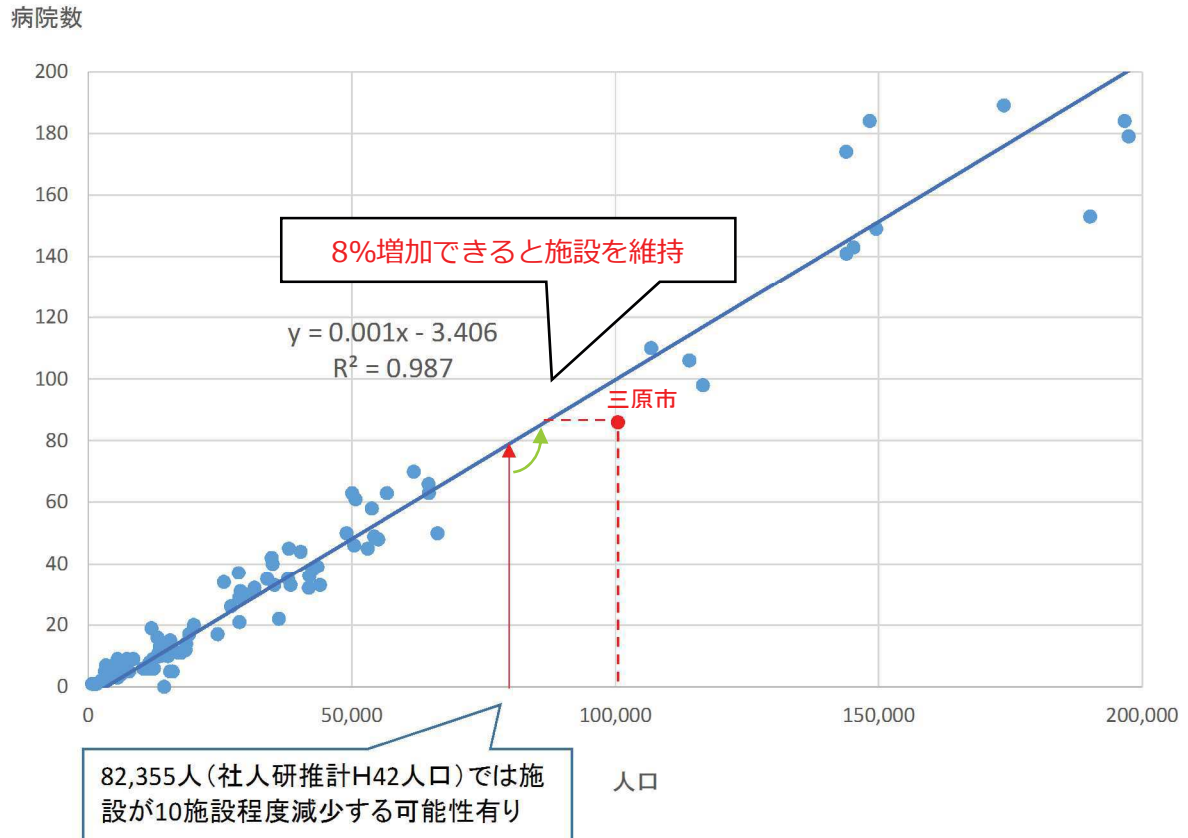


図 中国地方の自治体人口と医療施設数の関係

※自治体の人口は平成 22（2010）年国勢調査，医療施設は平成 26（2014）年度医療施設（静態・動態）調査



【銀行】

- 中国地方の自治体の人口と銀行の関係は以下の図に示すような人口との正の相関関係にあります。これによると三原市は人口に対する銀行の施設数は少ない状況です。
- 平成 42 年の社人研の推計では人口が約 8.2 万人に減少すると予測されており、この相関関係に近づくとすると、銀行は維持される可能性があります。

銀行数

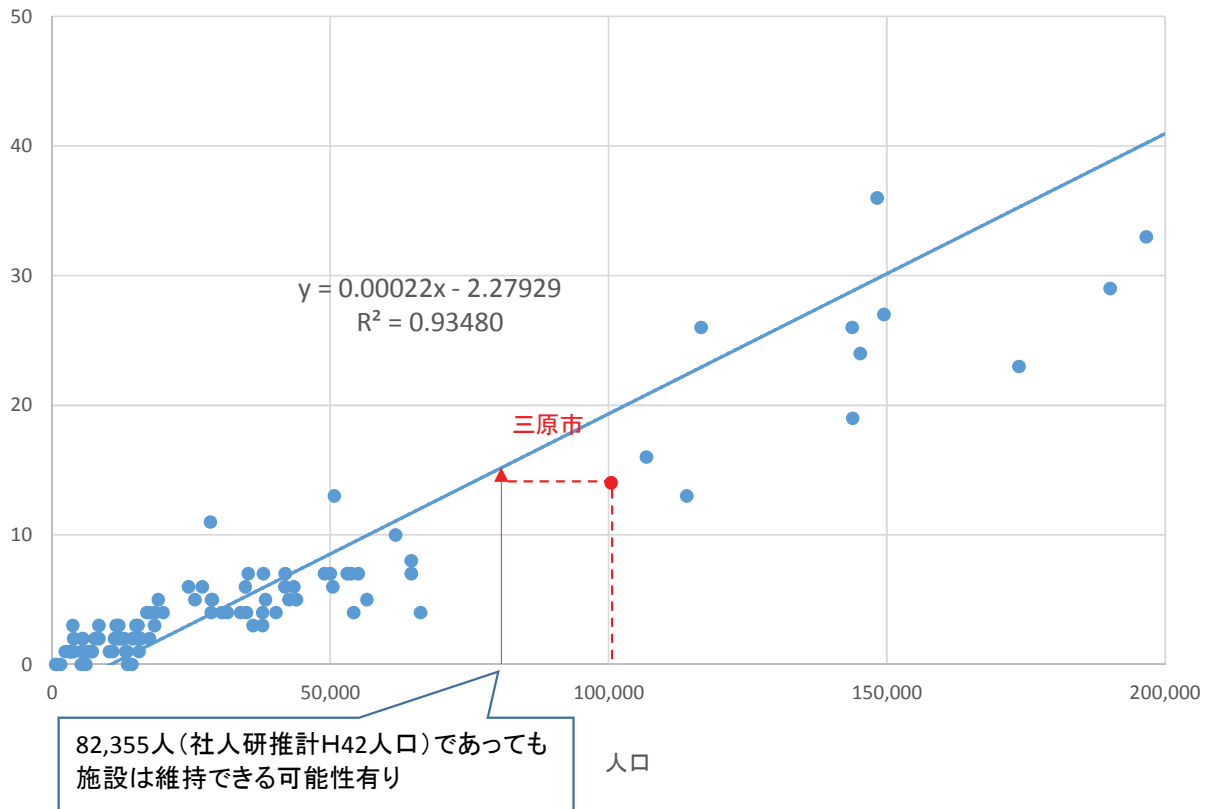


図 中国地方の自治体人口と銀行の関係

※自治体の人口は平成 22 (2010) 年国勢調査, 銀行は平成 28 (2016) 年 12 月 i タウンページより検索

【居住誘導区域の人口の目標値の考え方】

以上より、居住誘導区域の人口については日常生活に必要な施設である商業施設や医療施設、銀行の施設数が維持されるように、H42の人口目標を社人研の推計から概ね8%増加を目指すこととします。

三原全域 居住誘導区域 現状

	面積	ha	面積比率※	人口	人口/ha	人口比率※
三原	6,422,595	642.3		37,993		
本郷	1,749,715	175.0		5,274		
合計	8,172,310	817.2	1.7%	43,267	52.9	43.0%

※比率は対市域(都市計画基礎調査)

三原全域H42 居住誘導区域人口推計(社人研 地区別人口減少率反映)

	H22			H42			減少数	増減比率	人口比率
	人口	面積	人口密度	人口	人口密度	人口密度			
三原市	100,509	47,084.9	2.1	82,355	1.7	-18,154	81.9%		
居住誘導	43,090	817.2	52.7	39,153	47.9	-3,937	90.9%	47.5%	
居住誘導区域外									
市街化区域	12,255	702.2	17.5	10,041	14.3	-2,214	81.9%		
用途地域	957	109.8	8.7	784	7.1	-173	81.9%		
その他	44,207	45,455.6	1.0	32,376	0.7	-11,831	73.2%		

久井大和分を上乗せ

社人研の三原市全体の減少率より算出

社人研の久井、大和地域の減少率より算出

三原全域H42 居住誘導区域人口推計(居住誘導区域の人口のみ社人研から8%増加させる)

	H22			H42			減少数	増減比率	人口比率
	人口	面積	人口密度	人口	人口密度	人口密度			
三原市	100,509	47,084.9	2.1	82,355	1.7	-18,154	81.9%		
居住誘導	43,090	817.2	52.7	42,285	51.7	-805	98.1%	51.3%	
居住誘導区域外									
市街化区域	12,255	702.2	17.5	9,313	13.3	-2,942	76.0%		
用途地域	957	109.8	8.7	727	6.6	-230	76.0%		
その他	44,207	45,455.6	1.0	30,029	0.7	-14,178	67.9%		

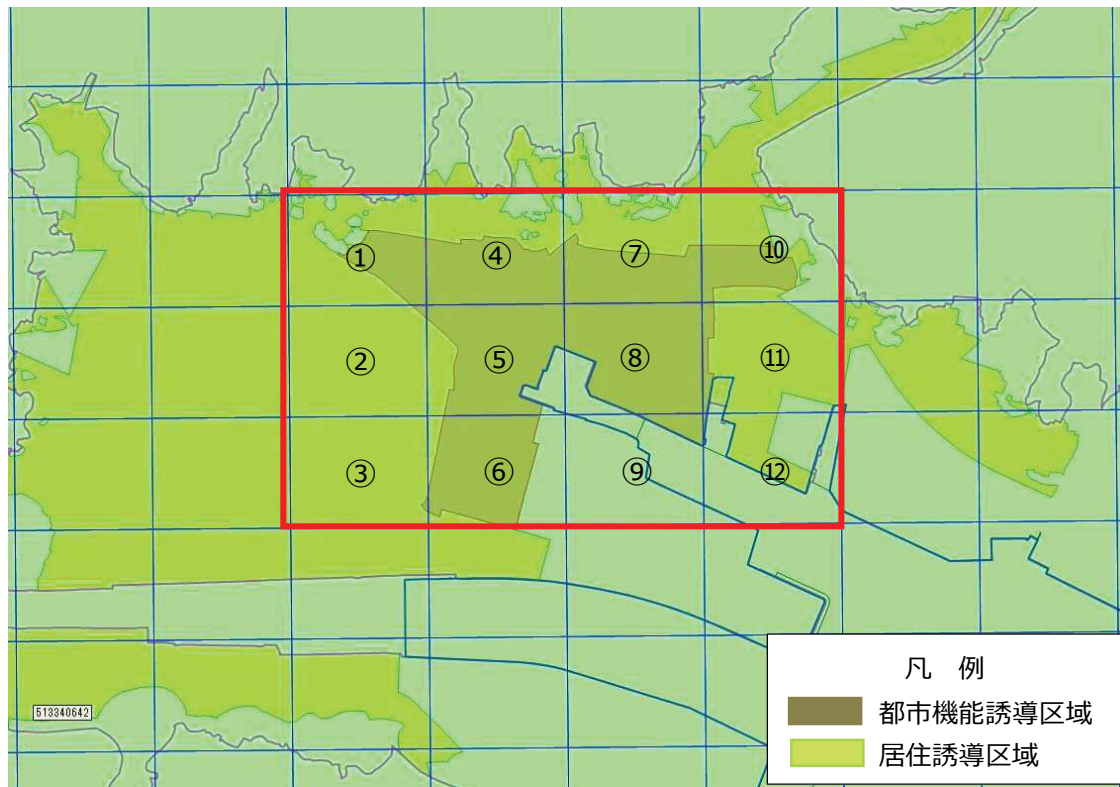
市全体は社人研の数値

施設維持の考え方から社人研から8%増とする

人数に応じて居住誘導区域増分を按分して減少

○ 三原地域における都市機能誘導区域の小売業年間販売額の算出方法

- ・平成 26 年商業統計メッシュデータより整理  
(平成 28 年 12 月 28 日公表)



■ 集計結果と目標額

	年間販売額 (千万円)	対象区域 の可否
①	15	○
②	(272)	×
③	(162)	×
④	155	○
⑤	139	○
⑥	881	○
⑦	189	○
⑧	1,165	○
⑨	(0)	×
⑩	79	○
⑪	(335)	×
⑫	(秘匿)	×
合計	2,623	
目標値	2,643	
増加額	20	

※都市機能誘導区域の割合が少ないメッシュは除外しています。

本郷地域は、データの大部分が公表されていないため、対象外としています。

## 2. 施策の達成状況に関する評価方法の設定例

「都市構造の評価に関するハンドブック」(平成 26(2014)年 8 月：国土交通省都市局都市計画課)に示されている生活の利便性、健康・福祉など6つの分野から評価する手法

表 都市構造の評価に関するハンドブックに示されている主な評価手法

評価分野	評価軸	主な評価例
① 生活利便性	<b>■ 適切な居住機能の誘導</b> ・ 都市機能誘導区域など生活利便性の高い区域及びその周辺に居住が誘導され、徒歩圏で必要な生活機能等を享受できること	◇ 居住を誘導する区域における人口密度 ◇ 日常生活サービス機能等を徒歩圏で享受できる人口の総人口に占める比率(医療、福祉、商業及び公共交通)
	<b>■ 都市機能の適正配置</b> ・ 都市機能が生活の拠点など適切な区域に立地、集積していること	◇ 日常生活サービス施設の徒歩圏における平均人口密度
	<b>■ 公共交通サービス水準の向上</b> ・ 公共交通のサービス水準が高まり利用率が向上していること	◇ 公共交通の機関分担率 ◇ 公共交通沿線地域の人口密度
② 健康・福祉	<b>■ 徒歩行動の増加と健康の増進</b> ・ 高齢者等の社会活動が活発化し徒歩等の移動が増大すること ・ それにより市民の健康が増進すること	◇ マトリックソームとその予備軍の受診者に占める割合 ◇ 徒歩、自転車の機関分担率
	<b>■ 都市生活の利便性の向上</b> ・ 日常生活サービス機能や公共交通サービスが徒歩圏域で充足していること	◇ 福祉施設を中学校区程度の範囲内で享受できる高齢者人口の割合 ◇ 保育所の徒歩圏に居住する幼児人口の総幼児人口に占める割合
	<b>■ 歩きやすい環境の形成</b> ・ 歩行者空間が充実し、公園緑地も住まいの近くに配置されるなど歩きやすい環境が整備されていること	◇ 歩行者に配慮した道路延長の割合 ◇ 高齢者徒歩圏内に公園がない住宅の割合

③安全・安心	災害や事故等による被害を受ける危険性が少ない街を実現すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全性の高い地域への居住の誘導</li> <li>・災害危険性の少ない地域等に適切に居住が誘導されていること</li> </ul>	◇防災上危険性が懸念される地域に居住する人口の割合
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■歩行環境の安全性の向上</li> <li>・都市内において安全な歩行環境が確保されていること</li> </ul>	◇歩行者に配慮した道路延長の割合
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■市街地の安全性の確保</li> <li>・オープンスペースの適切な確保など、市街地の災害や事故に対する安全性が確保されていること</li> </ul>	◇公共空間率 ◇最寄り緊急避難場所までの平均距離 ◇人口あたりの交通事故死亡者数
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■市街地の荒廃化の抑制</li> <li>・空き家等が減少し、荒廃化や治安悪化が抑制されていること</li> </ul>	◇空き家率
④地域経済	都市サービス産業が活発で健全な不動産市場が形成されている街を実現すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ビジネス環境の向上とサービス産業の活性化</li> <li>・都市機能誘導区域における昼間人口等の集積が高まり、医療、福祉、商業等のサービス産業が活性化すること</li> </ul>	◇従業者一人あたりの第三次産業売上高 ◇従業人口密度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■健全な不動産市場の形成</li> <li>・地価や賃料水準が維持、向上し、空き家など未利用不動産の発生が抑制されること</li> </ul>	◇平均住宅宅地価格
⑤行政運営	市民が適切な行政サービスを楽しめるよう、自治体財政が健全に運営されている街を実現すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■都市経営の効率化</li> <li>・人口密度の維持、公共交通の持続性向上、高齢者の外出機会の拡大などにより行政経営の効率化が図られていること</li> </ul>	◇市民一人当たりの行政コスト ◇居住を誘導する区域における人口密度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■安定的な税収の確保</li> <li>・医療、福祉、商業等の第三次産業が活発となること</li> <li>・地価が維持、増進すること</li> </ul>	◇市民一人当たりの税収額 ◇従業者一人当たりの第三次産業売上高 ◇平均住宅宅地価格
⑥エネルギー／低炭素	エネルギー効率が高く、エネルギー消費量、二酸化炭素排出量が少ない街を実現すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■運輸部門における省エネ・低炭素化</li> <li>・公共交通の利用率が向上するとともに、日常生活における市民の移動距離が短縮すること</li> </ul>	◇市民一人当たりの自動車CO <sub>2</sub> 排出量 ◇公共交通の機関分担率
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■民生部門における省エネ・低炭素化</li> <li>・民生部門におけるエネルギー利用効率が向上し、エネルギー消費量が減少すること</li> </ul>	◇家庭部門における市民一人当たりのCO <sub>2</sub> 排出量 ◇業務部門における従業者一人当たりのCO <sub>2</sub> 排出量



## 資料⑤ 届出様式





(都市再生特別措置法施行規則第35条第1項第1号関係)

開 発 行 為 届 出 書

都市再生特別措置法第88条第1項の規定に基づき、開発行為について、下記により届け出ます。

年 月 日

三原市長 様

届出者 住 所  
氏 名 印

開 発 行 為 の 概 要	1 開発区域に含まれる地域の名称	
	2 開 発 区 域 の 面 積	平方メートル
	3 住 宅 等 の 用 途	
	4 工 事 の 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日
	5 工 事 の 完 了 予 定 年 月 日	年 月 日
	6 そ の 他 必 要 な 事 項	(住宅用区画数)  (代理人連絡先)

- 注1 届出者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 届出者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。

(都市再生特別措置法施行規則第35条第1項第2号関係)

住宅等を新築し、又は建築物を改築し、若しくはその用途を変更して住宅等とする行為の届出書

<p>都市再生特別措置法第88条第1項の規定に基づき、</p> <p> <span style="font-size: 2em;">[</span> <span style="display: inline-block; vertical-align: middle;">           住宅等の新築            建築物を改築して住宅等とする行為            建築物の用途を変更して住宅等とする行為         </span> <span style="font-size: 2em;">]</span>         について、下記により届け出ます。       </p> <p>年 月 日</p> <p>三原市長 様</p> <p style="text-align: right;">届出者 住所 氏 名</p> <p style="text-align: right;">印</p>	
1 住宅等を新築しようとする土地 又は改築若しくは用途の変更をしようとする建築物の存する土地の 所在、地番、地目及び面積	(所在・地番) (地 目) (面 積)
2 新築しようとする住宅等又は改築 若しくは用途の変更後の住宅等の 用途	
3 改築又は用途の変更をしようとする 場合は既存の建築物の用途	
4 その他必要な事項	(着手予定年月日) (完了予定年月日) (戸 数 )  (代理人連絡先)

注1 届出者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。

2 届出者の氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。

(都市再生特別措置法施行規則第38条第1項関係)

行 為 の 変 更 届 出 書

年 月 日

三原市長 様

届出者 住 所  
氏 名 印

都市再生特別措置法第88条第2項の規定に基づき、届出事項の変更について、下記により届け出ます。

記

1 当初の届出年月日 年 月 日

2 変更の内容

3 変更部分に係る行為の着手予定日 年 月 日

4 変更部分に係る行為の完了予定日 年 月 日

- 注1 届出者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。  
2 届出者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。  
3 変更の内容は、変更前及び変更後の内容を対照させて記載すること。

(都市再生特別措置法施行規則第52条第1項第1号関係)

## 開 発 行 為 届 出 書

<p>都市再生特別措置法第108条第1項の規定に基づき、開発行為について、下記により届け出ます。</p> <p>年 月 日</p> <p>三原市長 様</p> <p style="text-align: right;">届出者 住 所 氏 名 印</p>		
開 発 行 為 の 概 要	1 開発区域に含まれる地域の名称	
	2 開 発 区 域 の 面 積	平方メートル
	3 建 築 物 の 用 途	
	4 工 事 の 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日
	5 工 事 の 完 了 予 定 年 月 日	年 月 日
	6 そ の 他 必 要 な 事 項	<p>(誘導施設以外の 用途がある場合 その用途と面積)</p> <p>(代理人連絡先)</p>

- 注1 届出者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 届出者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。

(都市再生特別措置法施行規則第52条第1項第2号関係)

誘導施設を有する建築物を新築し、又は建築物を改築し、若しくはその用途を変更して誘導施設を有する建築物とする行為の届出書

<p>都市再生特別措置法第108条第1項の規定に基づき、</p> <p> <span style="font-size: 2em;">}</span>             誘導施設を有する建築物の新築                       建築物を改築して誘導施設を有する建築物とする行為                       建築物の用途を変更して誘導施設を有する建築物とする行為             <span style="font-size: 2em;">}</span> </p> <p>について、下記により届け出ます。</p> <p style="text-align: center;">年　　月　　日</p> <p>三原市長　様</p> <p style="text-align: right;">届出者 住　所 氏　名</p> <p style="text-align: right;">印</p>	
<p>1 建築物を新築しようとする土地又は改築若しくは用途の変更をしようとする建築物の存する土地の所在、地番、地目及び面積</p>	<p>(所在・地番) (地　目) (面　積)</p>
<p>2 新築しようとする建築物又は改築若しくは用途の変更後の建築物の用途</p>	
<p>3 改築又は用途の変更をしようとする場合は既存の建築物の用途</p>	
<p>4 その他必要な事項</p>	<p>(着手予定年月日) (完了予定年月日)</p> <p>(誘導施設以外の用途がある場合その用途と面積)</p> <p>(代理人連絡先)</p>

注1 届出者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。

2 届出者の氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。

(都市再生特別措置法施行規則第55条第1項関係)

行 為 の 変 更 届 出 書

年 月 日

三原市長 様

届出者 住 所  
氏 名 印

都市再生特別措置法第108条第2項の規定に基づき、届出事項の変更について、下記により届け出ます。

記

1 当初の届出年月日 年 月 日

2 変更の内容

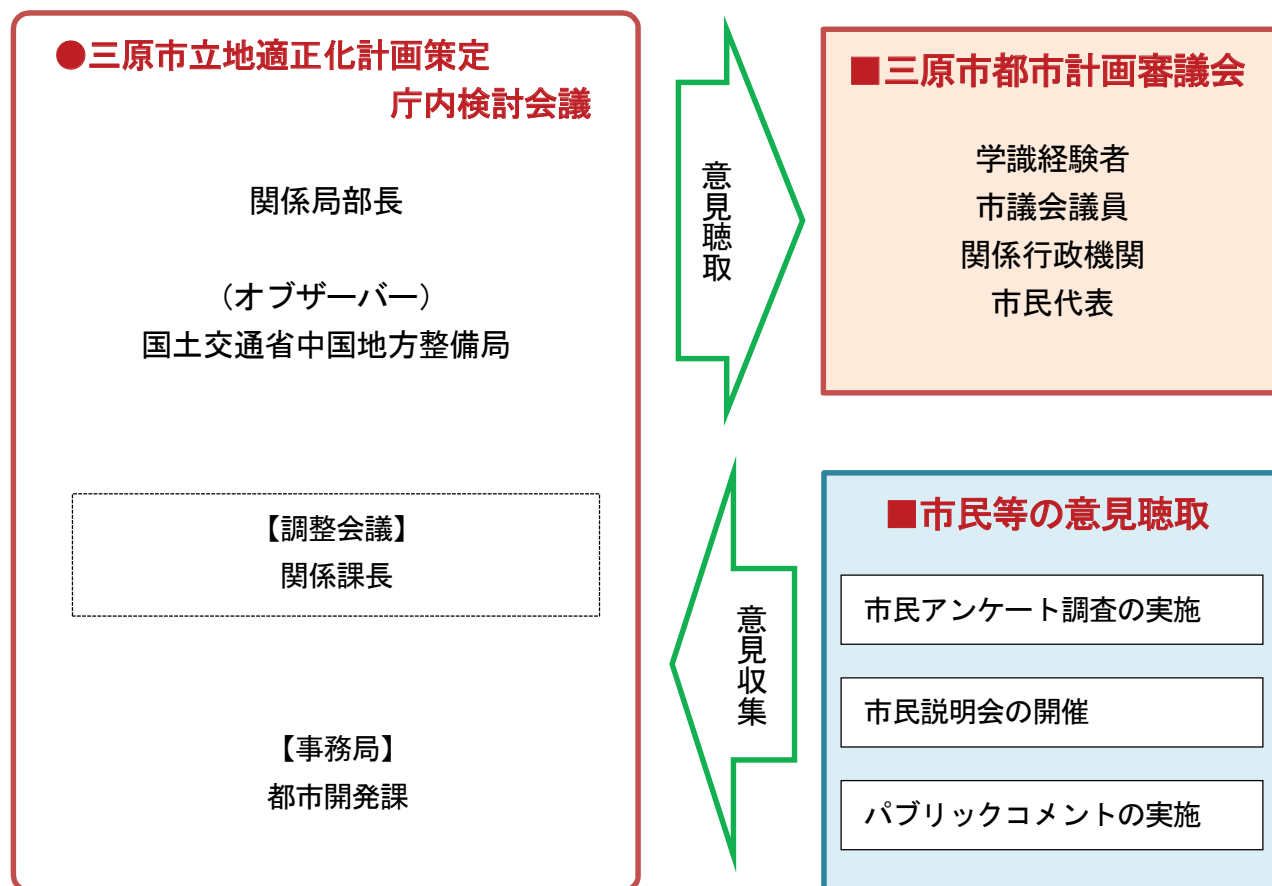
3 変更部分に係る行為の着手予定日 年 月 日

4 変更部分に係る行為の完了予定日 年 月 日

- 注1 届出者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。  
2 届出者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。  
3 変更の内容は、変更前及び変更後の内容を対照させて記載すること。

## 資料⑥ 検討体制とスケジュール

# 1 検討体制





## 2 三原市立地適正化計画策定に係る会議等の開催状況

会議の名称	開催日	主な議題項目
第1回庁内検討調整会議	平成27(2015)年7月14日	・立地適正化計画 概要説明
第17回都市計画審議会	平成27(2015)年9月2日	・立地適正化計画 概要説明(諮問)
市民アンケート調査	平成27(2015)年10月23日～ 12月31日	・立地適正化計画, 都市計画マスタープランに関する意見収集
第1回職員ワークショップ (係長・主任級)	平成27(2015)年12月1日	・立地適正化計画 概要説明 ・アンケート結果報告
第2回職員ワークショップ (係長・主任級)	平成27(2015)年12月22日	・分析内容の報告・整理 ・関連施策の報告・整理
第2回庁内検討調整会議	平成28(2016)年1月19日	・現況分析結果の報告, 都市構造上の課題 ・アンケート調査結果の報告
第3回庁内検討調整会議	平成28(2016)年3月24日	・立地適正化に関する基本的な方針 ・関連施策の抽出について
第4回庁内検討調整会議	平成28(2016)年7月14日	・原案について
第1回庁内検討会議	平成28(2016)年8月24日	
第19回都市計画審議会	平成28(2016)年10月12日	・人口密度及び都市機能維持・確保のための具体的な施策について ・取組事項の検討・評価指標の設定 ・原案について
第5回庁内検討調整会議	平成28(2016)年11月28日	
第2回庁内検討会議	平成29(2017)年2月3日	
市議会議員全員協議会	平成29(2017)年3月15日	・策定状況説明
市民説明会	平成29(2017)年5月22日～ 5月29日	・原案に対する意見収集
第20回都市計画審議会	平成29(2017)年7月13日	・市民説明会の結果の報告 ・素案について
第6回庁内検討調整会議	平成29(2017)年8月3日	
第3回庁内検討会議	平成29(2017)年8月22日	・素案について
市議会議員全員協議会	平成29(2017)年9月19日	
パブリックコメント	平成29(2017)年10月2日～ 20日	・素案に対する意見収集
第7回庁内検討調整会議	平成29(2017)年10月30日	・パブリックコメント実施結果の報告 ・最終案について(答申)
第4回庁内検討会議	平成29(2017)年11月20日	
第21回都市計画審議会	平成29(2017)年11月29日	

…都市計画審議会

…市民意向の把握

…市議会



## 資料⑦ 庁内検討会議設置要綱

## 三原市立地適正化計画策定庁内検討会議設置要綱

平成27年5月25日

三原市要綱第60号

### (設置)

第1条 都市再生特別措置法（平成14年法律第22号。以下「法」という。）第81条第1項の規定に基づく住宅及び都市機能増進施設（医療施設，福祉施設，商業施設その他の都市の居住者の共同の福祉又は利便のため必要な施設であつて，都市機能の増進に著しく寄与するものをいう。以下同じ。）の立地の適正化を図るための計画（以下「立地適正化計画」という。）の策定に関し必要な事項を検討するため，三原市立地適正化計画策定庁内検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 検討会議は，次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 法第81条第2項各号に規定する立地適正化計画に定める必要のある事項についての検討に関すること。
- (2) 立地適正化計画策定のための調査分析に関すること。
- (3) その他検討会議が必要と認める事項に関すること。

### (組織)

第3条 検討会議は，別表第1の職にある者をもって組織する。

### (会長及び副会長)

第4条 検討会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は，担当副市長をもって充てる。
- 3 副会長は，担当副市長以外の副市長をもって充てる。
- 4 会長は，検討会議を代表し，会務を総理する。
- 5 副会長は会長を補佐し，会長に事故があるとき，又は会長が欠けたときは，その職務を代理する。

### (会議)

第5条 検討会議の会議（以下「会議」という。）は，会長が必要に応じて招集し，会議の議長となる。

(調整会議)

第6条 第2条に掲げる検討会議の所掌事務を円滑に処理するため、別表第2の職にある者をもって構成する調整会議を置く。

2 調整会議の会議は、都市開発課長が長を務め、議長となる。

(関係者の出席)

第7条 会長又は調整会議の長は、必要があると認めるときは、検討会議又は調整会議に委員以外の関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 検討会議の庶務は、都市開発課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、公布の日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、三原市立地適正化計画が策定されたときに、その効力を失う。

附 則 (平成28年4月28日三原市要綱第71号)

この要綱は、平成28年5月1日から施行する。

附 則 (平成29年11月17日三原市要綱第112号)

この要綱は、公布の日から施行する。

別表第1（第3条関係）

担当副市長  
担当副市長以外の副市長  
危機管理監  
経営企画担当部長  
総務企画部長  
財務部長  
保健福祉部長  
生活環境部長  
経済部長  
建設部長  
都市部長  
教育部長  
消防長  
水道部長

別表第2（第6条関係）

経営企画課長  
地域調整課長  
管財課長  
保健福祉課長  
高齢者福祉課長  
子育て支援課長  
生活環境課長  
危機管理課長  
商工振興課長  
農林水産課長  
土木管理課長  
都市開発課長  
建築指導課長  
教育振興課長  
予防課長  
管理課長



## 三原市立地適正化計画

発 行／平成 29 年 12 月  
編 集／三原市都市部都市開発課

〒723-0015 広島県三原市円一町二丁目 3 番 4 号  
電話：0848-67-6113  
FAX：0848-64-6057  
電子メール：toshikaihatsu@city.mihara.hiroshima.jp  
ホームページ URL：http://www.city.mihara.hiroshima.jp/